NTT

ISDN

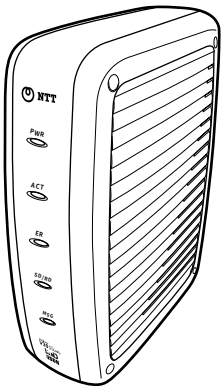
L.モード 対応

ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

INSメイトV30Slim
取扱説明書

このたびは、INSメイトV30Slimをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のアナログポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 98 Second Editionは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Editionの略です。
Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
Windows NT® 4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0の略です。
Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。
Hayesは米国Hayes Microcomputer Products, Inc.の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。
付属品のCD-ROMはソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠危険

- 乾電池のアルカリ液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 本商品のそばに花びん、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。

⚠警告

- 電源アダプタコードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、ぬれた手で乾電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアース線をとり付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは､必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠注意

- **直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。**
- **調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。**
- **ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。**
- **振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。**
- **本商品をあおむけに置かないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。**
- **本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。**
- **高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。**

お使いのとき

⚠注意

- **近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。**
- **本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。**
- **本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災の原因となることがあります。**
- **本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。**
  - じゅうたんや布団の上に置く。
  - テーブルクロスなどを掛ける。
  - 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
  - 紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

お使いのとき

⚠注意

● **長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。**

● **電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。**

● **お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。**

● **半年に1回程度、電源アダプタと電源コンセント間のほこりを取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。**

● **本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。**

● **乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。以下のことを必ず守ってください。**
- 保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
（アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。）
- 乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- 乾電池のプラス（＋）、マイナス（－）の方向を確認して入れてください。
- 乾電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。
- 外装ラベルがはがれたり、傷付いた乾電池を使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池などを混用しないでください。
- 使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
- 消耗した乾電池は、すぐに交換してください。

● **停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままでご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。**

● **乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池をなめたり、誤って飲むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かない所に置いてください。**

● **乾電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。**

● **乾電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

● **停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなってやけどをするおそれがありますので、確認してから交換してください。**

● **S/Tユニットを取り付けるときおよび取り外すときは、電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。**

● **付属品のCD-ROMをオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。**

取り扱いについて

STOP お願い

- **ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。**
- **落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。**
- **S/Tユニットのはんだ面に直接手を触れないように注意してください。けがの原因となります。**

置き場所について

STOP お願い

- **製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。**
- **電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。**
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- **硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。**

お使いのとき

STOP お願い

- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。故障の原因となることがあります。
- INSナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ……2
サービスガイド ……16
マニュアルの読み進めかた ……20

お使いになる前に

セットを確認してください ……24
各部の名前 ……25
停電になったときのために ……27
接続します ……29
1 INSネット64回線の接続……29
2 動作の確認 ……30
3 電話機などの接続 ……31
4 電話がかけられることの確認 ……33

パソコン準備編

1 通信をする準備

パソコンとの接続について ……36
ご使用のOSを確認するには ……37

2 Windows®

ユーティリティをインストールするには ……38
USBポートを使うには ……41
RS-232Cポートを使うには ……46
アナログポートの設定を行うには ……50
アナログポートの簡単設定を開始する ……50
i・ナンバーを設定する ……53
ダイヤルインを設定する ……54

3 Mac OS

必要なソフトウェアをインストールするには
（Mac OS 8.1／8.5／8.6／9／9.1／9.2）……55
必要なソフトウェアをインストールするには（Mac OS X）……59
アナログポートの設定を行うには ……62
アナログポートの簡単設定を開始する ……62

i・ナンバーを設定する ……65
ダイヤルインを設定する ……66

4 設定ユーティリティの利用

設定ユーティリティを起動するには……67
Windows®の場合 ……67
Mac OS 8.1／8.5／8.6／9／9.1／9.2の場合 ……69
Mac OS Xの場合 ……70
設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合 ……72
設定ユーティリティの基本操作……73
メニュー画面からの操作 ……73
設定画面の基本操作 ……75
カレンダを設定するには……76

5 パソコンの活用

「パソコン活用編」について……77

電話／ファクス編

1 すぐに使えます

電話をかける／ファクスを送るには（発信）……80
電話を受ける／ファクスを受けるには（着信）……82
内線でお話しするには（内線通話）……84
外からの電話を取りつぐには（内線転送）……86

2 電話のいろいろな使いかた

着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）……87
お話し中にかかってきた電話を受けるには
（INSキャッチホン／疑似キャッチホン）……88
INSキャッチホン……88
INSキャッチホンを設定する……88
疑似キャッチホン ……89
疑似キャッチホンを設定する ……89
お話し中にかかってきた電話に出る ……90
特定の相手からかかってきた電話を識別するには
（INSなりわけサービス／疑似なりわけ）……92

目 次

INSなりわけサービス……92
疑似なりわけ ……93
お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには（通信中着信識別通知）……95
特定の相手からかかってきた電話の着信を拒否するには（迷惑電話防止）……96
迷惑電話を切った直後に設定する ……96
あらかじめ設定しておく ……96
非通知の着信拒否を設定する ……97
3人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）……98
フレックスホン三者通話（切替モード／ミキシングモード）……98
疑似三者通話（切替モード／ミキシングモード）……99
相手を切り替えてお話しする（切替モード）……100
3人で同時にお話しする（ミキシングモード）……101
お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）……103
お話し中に転送する……103
Lモードを利用するには……105
INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには……107

3 ファクスのいろいろな使いかた

ファクスを自動転送するには（FAX自動転送）……109
電話機からファクスへ自動転送する……109
着信音を鳴らさずにファクスを受信するには（FAX無鳴動着信）……111

4 発信者番号の通知と表示

発信者番号の通知について ……112
一般回線からの電話番号も表示するには（INSナンバー・ディスプレイ）…114
INSナンバー・ディスプレイを設定する ……114
電話番号が通知されないときにメッセージで応答する（INSナンバー・リクエスト）……116
キャッチホンと組み合わせて利用する（キャッチホン・ディスプレイ）……116
電話をかけてきた相手の名前を表示するには（ネーム・ディスプレイ）……118

5 電話やファクスの呼び分け

呼び分けのいろいろな方法 ……120
i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには（i・ナンバー）……122
i・ナンバーを設定する ……122
ダイヤルイン／グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには（ダイヤルイン／グローバル着信）……124
1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには（モデムダイヤルイン）……126
i・ナンバーを利用する場合……126
ダイヤルインを利用する場合 ……128
サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには（サブアドレス）……130
HLCの設定で呼び分けるには（HLC・接続機器設定）……131

6 転送／メッセージ録音

電話に出られないときのいろいろな方法 ……132
外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）……134
着信転送（フレックスホン）……134
疑似着信転送 ……134
着信転送または疑似着信転送を設定する ……135
条件を指定して転送するには（INSボイスワープ／INSボイスワープセレクト）……139
INSボイスワープ ……139
INSボイスワープセレクト ……139
INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定 ……139
すべての電話をキャッチするには（INSマジックボックス）……141

7 電話機からの設定

電話機から機能を設定するには ……142

ご参考

1 USBドライバについて

Windows®でUSBドライバを使用できないときは ……162

目 次

USBドライバをアップデートするには……166
Windows®をご利用の場合……166
Mac OS 8.6／9／9.1／9.2をご利用の場合……166
不要になったUSBドライバを削除するには……168
USBドライバを削除する前の準備……168
Windows®をご利用の場合……168
Mac OS 8.6／9／9.1／9.2をご利用の場合……169
USBポートに関するQ&A……170

2 RS-232Cポート用ドライバについて

RS-232Cポート用ドライバを削除するには（Windows®）……173

3 ご参考に

CD-ROMの「参考情報」について……174
お買い求め時の設定に戻すには（初期化）……175
設定ユーティリティで初期化を行う……175
電話機で初期化を行う……176
本商品のバージョンアップを行うには……178
オプションをご利用になるには……182
S/Tユニットを準備する……183
S/Tユニットを取り外す……185
すでにお持ちのDSUを接続する……187
本商品以外のINSネット64用通信機器を接続する……188
INSネット64用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定……189
RS-232Cポートインタフェース……190
故障かな？と思ったら……191
Q&A……197
索引……204
仕様……209
保守サービスのご案内……210

- インターネットについては、別冊「インターネット接続ガイド」をご覧ください。
- 以下については、付属のINSメイトV30Slim専用CD-ROM「参考情報」をご覧ください。

  パソコン活用編
  - 設定ユーティリティの活用
  - パソコンでの設定画面
  - いろいろな通信機能

  手動設定編

  その他
  - ATコマンド
  - 設定記入シート

INSメイトV30Slimでできること

INSメイトV30Slimに今までお使いの電話機やファクスを接続して、いろいろ活用できます。また、パソコンを接続すれば、インターネットも簡単に利用できます。

インターネットも快適

パソコンを接続して、インターネットに簡単にアクセスできます。

インターネット接続ガイド

別冊

いろいろな設定は電話機からOK

パソコンを接続していなくても、電話機から、いろいろな設定をすることができます。
パソコンをお使いの方は、設定ユーティリティを使って簡単に設定できます。

電話機からの設定 P142　**設定ユーティリティからの設定** P73

2台の電話を内線で使う

接続した電話機どうしでお話ししたり、電話を転送することができます。

内線通話 P84　**内線転送** P86

外からの電話を決められた相手に転送する

外の相手からの電話を、決められた別の相手に転送することができます。

疑似着信転送 P134

Lモード対応アナログ通信機器が接続可能

Lモード（電話機でメールのやりとりや、各種情報の閲覧ができるサービス）に対応したアナログ通信機器を接続することができます。

Lモード P105

かけてきた方を音で識別

登録した相手からの電話は、通常と異なる着信音が鳴るようにすることができます。
一般の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

疑似なりわけ P93

お話し中にかかってきた電話もキャッチ

Bチャネル2本を使用して、お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

疑似キャッチホン P89

着信音を鳴らさず自動でファクス受信

無鳴動信号対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。

FAX無鳴動着信 P111

迷惑電話の着信を拒否

INSナンバー・ディスプレイを契約している場合、迷惑電話を受けた直後にその番号を登録し、次回から着信を拒否することができます。また、電話番号が通知されない着信をすべて拒否することもできます。

迷惑電話防止 P96

INSネット64ならではの幅広いサービス

INSネット64には、いろいろなご利用形態があります。

¥ INSネット64の付加サービスの料金が別途必要です。
¥ ご利用形態によって、別途料金が必要となる場合があります。
設定 INSメイトV30 Slimの設定が必要です。
設定 ご利用形態によって、設定が必要となる場合があります。

¥ 設定

かけてきた相手の電話番号や名前を表示
接続した電話機に、かけてきた相手の電話番号や名前を表示することができます。

INSナンバー・ディスプレイ P114
ネーム・ディスプレイ P118

設定

こちらの電話番号を相手に通知
発信者番号を相手に通知することができます。通知しないようにすることもできます。

発信者番号通知 P112

¥ 設定

かけてきた方を音で識別
登録した相手からの電話は、通常と異なる着信音を鳴らすようにすることができます。

INSなりわけサービス P92

¥ 設定

お出かけ先への転送機能
無条件転送、無応答転送、話中時転送の指定ができます。INSボイスワープセレクトは、かかってきた相手によって転送先を変えられます。

INSボイスワープ
INSボイスワープセレクト P139

¥ 設定

1本の契約回線に複数の電話番号
1本の契約で、複数の電話番号を使い分けることができます。
電話とファクスなどを別々の番号で受けられます。

i・ナンバー P122
ダイヤルイン P124

¥ 設定

お話し中にかかってきた電話もキャッチ
お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホン P88

- 呼び分けのいろいろな方法（☛P120）
- 電話に出られないときのいろいろな方法（☛P132）

■ご利用になれる主なサービス

サービス		説明	料金	設定	参照ページ
発信者番号通知		電話をかけたときに、こちらの電話番号を相手に通知することができます。	—	設定	P112
料金情報通知		通話料金、通信料金が通知されます。	—	—	CD-ROM
サブアドレス通知		サブアドレスを通知して、特定の機器に着信させることができます。	—	設定	P121 P130
INSナンバー・ディスプレイ		一般の電話回線からかかってきた電話も、電話番号が通知されます。	¥	設定	P114
ネーム・ディスプレイ		電話をかけてきた相手の名前を電話機等に通知することができます。	¥	設定	P118
i・ナンバー		複数の電話番号を持つことができます。	¥	設定	P120 P122
フレックスホン	INSキャッチホン	お話し中にかかってきた電話に出ることができます。	¥	設定	P88
	三者通話	お話し中に別の相手に電話をかけ、3人でお話しになれます。	¥	設定	P98
	通信中転送	お話し中の電話を別の電話番号へ転送できます。	¥	設定	P103
	着信転送	かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ転送できます。	¥	設定	P132 P134
通信中着信通知サービス		すでに通信中で空きBチャネルがない場合でも、電話がかかってきたことをお知らせします。	—	—	—
代表取扱サービス		あらかじめ決めておいた代表番号に着信があると、代表群から空き回線を選んで着信します。	—	—	—
ダイヤルイン		複数の電話番号を持つことができます。	¥	設定	P120 P124
INSなりわけサービス		あらかじめ登録した電話番号からかかってきたときは、通常と異なる着信音を鳴らします。	¥	設定	P92
INSボイスワープ		かかってきた電話を、指定した条件によって転送します。	¥	設定	P132 P139
INSボイスワープセレクト		INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を選択できます。	¥	設定	P132 P139
INSマジックボックス		メッセージ録音、INSキャッチホン、着信転送の機能を利用できます。	¥	設定	P133 P141

サービス	説明	料金	設定	参照ページ
発着信専用サービス	発信専用または着信専用にすることができます。	—	—	—
Lモード	電話機でメールサービスとブラウザサービスの2つのサービスがご利用になれます。			
INSメッセージ到着お知らせサービス	メッセージセンタにメッセージが届いたときに、本商品のMSGランプを点灯したり、電話機等に通知することができます。			

※ **フレックスホンとは：**INSキャッチホン、三者通話、通信中転送、着信転送の4つの機能の総称です。4つの機能を組み合わせて契約することも、必要な機能だけを契約することもできます。

マニュアルの読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、この「INSメイトV30Slim取扱説明書」、「インターネット接続ガイド」、「接続早わかりガイド」、「サービスガイド」、付属のINSメイトV30Slim専用CD-ROMの「参考情報」を次の順序でお読みください。

取扱説明書 **お使いになる前に** P24

セットを確認してください

箱を開け、付属品がすべてそろっているか確かめます。

接続早わかりガイド 取扱説明書 **お使いになる前に** P29

接続します

本商品とINSネット64回線、電話機などを接続します。

パソコンをお使いの方

取扱説明書 **パソコン準備編** P36

パソコンのOSと接続方法を確認します

パソコンのOS、本商品とパソコンを接続するポート（USBポートまたはRS-232Cポート）を確認します。

取扱説明書 **パソコン準備編** P38 P55 P59

イージーウィザードを利用して、必要なソフトウェアのインストールとアナログポートの設定を行います

イージーウィザードを利用して、設定ユーティリティおよび本商品にパソコンを接続して使用するために必要なソフトウェアをインストールします。
Windows®：（☛P38）
Mac OS：（☛P55）
Mac OS X：（☛P59）
続けてアナログポートの設定をします。

CD-ROM **イージーウィザードをご利用になれない場合** CD-ROM

取扱説明書 **パソコン準備編** P76

カレンダを設定します

設定ユーティリティを使って、本商品のカレンダの日付、時刻を設定します。

インターネット接続ガイド **インターネット接続ガイド** 別冊

インターネットに接続します

インターネットを利用するための設定を行います。

電話／ファクスの使いかた

取扱説明書 電話／ファクス編 P80

すぐに使えます

電話機やファクスは、接続したらすぐにお使いになれます。

取扱説明書 電話／ファクス編 P87

電話機やファクスを活用します

電話機やファクスのいろいろな使いかたを紹介しています。

- 呼び分けのいろいろな方法（☛P120）
- 電話に出られないときのいろいろな方法（☛P132）

取扱説明書 電話／ファクス編 P142

電話機から設定します

電話機からいろいろな機能を設定します。

本商品に接続した電話機で電話やファクスのいろいろな機能を設定できます。

取扱説明書 パソコン準備編 P67 P69 P70

設定ユーティリティを利用して設定します

パソコンから本商品の機能を設定するため、設定ユーティリティを利用します。

Windows®：（☛P67）
Mac OS：（☛P69）
Mac OS X：（☛P70）

設定ユーティリティで電話やファクスのいろいろな機能を設定できます。

CD-ROM 参考情報 CD-ROM

設定ユーティリティや通信機能を活用します

- 機能を設定したとき　：設定記入シートにご記入ください（☛CD-ROM「参考情報」）
- ATコマンドを使うとき　：ATコマンド（☛CD-ROM「参考情報」）

サービスガイド 取扱説明書 サービスガイド P16

INSネット64のサービスを紹介します

INSネット64とINSメイトV30Slimで何ができるか見てみましょう。

取扱説明書 ご参考 P161

こんなときにお使いください

- 機器を増設するとき　：オプションをご利用になるときご覧ください。（☛P182）
- トラブルが発生したとき：修理を依頼される前にご確認ください（☛P191）

マニュアルの読み進めかた

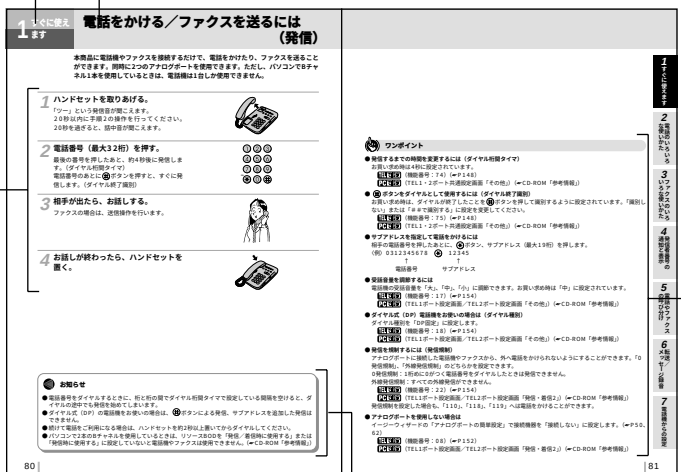
■操作説明のページの構成

電話／ファクス編を例に説明します。

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。



操作手順説明
順番に操作を説明します。

お知らせ
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

お願い
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

〈参照の見かた〉

TEL で設定 ……電話機から設定を行うときに参照してください。

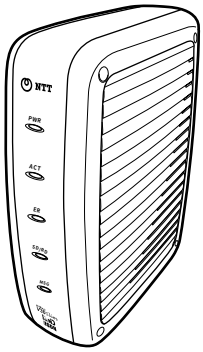
PC で設定 ……パソコンから設定ユーティリティを使って設定するときに参照してください。

お使いになる前に

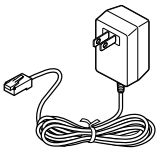
セットを確認してください ……24
各部の名前 ……25
停電になったときのために ……27
接続します ……29

セットを確認してください

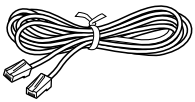
■本体



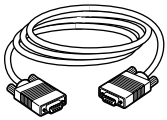
■付属品



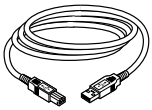
電源アダプタ（1個）



電話機コード（1本：約3 m）



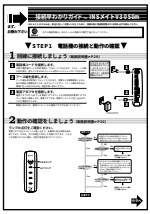
RS-232Cケーブル
（ストレート1本：約1.5 m）



USBケーブル（1本：約1.5 m）

取扱説明書（1部）

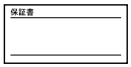
インターネット接続ガイド（1部）



接続早わかりガイド（1部）

サービスガイド（1部）

CD-ROM（1枚）
専用CD-ROMの使い方（1部）



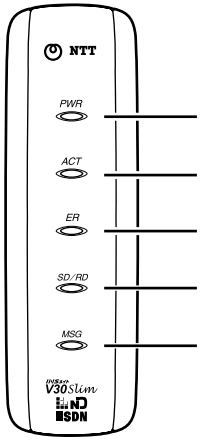
保証書（1枚）

NTT通信機器お取扱
相談センタシール（1枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前

【前面】



PWR（POWER）ランプ

ACT（Active）ランプ

ER（Equipment Ready）ランプ

SD/RD（Send Data/Receive Data）ランプ

MSG（Message）ランプ

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
PWR（POWER）ランプ	点灯（緑）	電源が入っているとき
	遅い点滅（緑）	バージョンアップに失敗したとき
	遅い点滅（赤）	電池動作モードで動作しているとき（☛P199）
	消灯	電源が入っていないとき
ACT（Active）ランプ	点灯（緑）	非同期／同期PPP変換で通信中のとき（☛CD-ROM）
	点灯（赤）	128Kマルチリンク PPPで通信中のとき（☛CD-ROM）
	速い点滅（緑）	RS-232CポートまたはUSBポートで発信・着信中のとき
	遅い点滅（緑）	回線に異常があるとき（☛P199）
	点滅と点灯の繰り返し（緑）	着信転送または疑似着信転送を行っているとき（☛P138）（ただし、回線異常表示およびデータポート状態表示が優先されます。）
	消灯	データポートで通信していないとき、また着信転送・疑似着信転送を行っていないとき
ER（Equipment Ready）ランプ	点灯（緑）	接続されているパソコンのER信号がオンのとき(☛CD-ROM)
	消灯※	接続されているパソコンのER信号がオフのとき
SD/RD（Send Data/Receive Data）ランプ	点灯（緑）	パソコンから本商品へデータを転送しているとき
	点灯（赤）	本商品からパソコンへデータを転送しているとき
	消灯	データ転送を行っていないとき
MSG（Message）ランプ	点灯（緑）	センタにメッセージがあるとき（Lモード、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用の場合）（☛P105、107）
	消灯	センタにメッセージがないとき、またはLモード、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用していないとき

※MacintoshでRS-232Cポートをご利用の場合、ER信号制御の設定（☛CD-ROM）を「常時ON」に設定しますが、お使いの変換コネクタまたはケーブルによっては、ERランプが点灯しない場合があります。

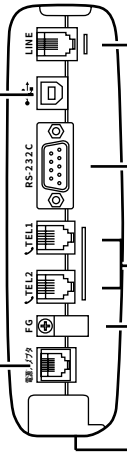
ワンポイント

● ランプの点滅のしかたについて

遅い点滅：1秒間に約1回の点滅　　速い点滅：1秒間に約5回の点滅

各部の名前

【背面】



USBポート
USBケーブルでパソコンを接続します。(☛P36)

回線接続端子（LINE）
INSネット64回線に接続します。(☛P29)

RS-232Cポート
RS-232Cケーブルでパソコンを接続します。(☛P36)

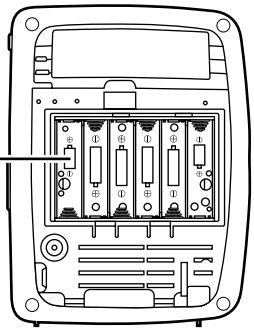
アナログポート
TEL1ポート（ TEL1）、
TEL2ポート（ TEL2）
アナログ通信機器（電話機、ファクスなど）を接続します。(☛P31)

電源アダプタコード端子
電源アダプタコードを差し込みます。(☛P29、31)

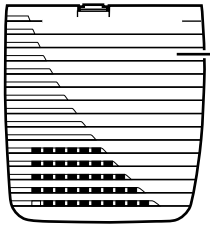
FG端子
アースに接続します。(☛P29)

ボトムカバー
INSネット64用通信機器（ディジタル電話機、G4ファクスなど）や外付けのDSUを使用する際はボトムカバーを開けてオプションのS/Tユニットを取り付けます。(☛P182)

【左側面】



電池ホルダ



電池カバー

ワンポイント

●RS-232CポートとUSBポートについて

- RS-232Cポートは、モデムやターミナルアダプタなどの周辺機器を接続する標準の規格として、多くのパソコンに装備されています。
- USBポートは、周辺機器を接続するための規格です。Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2およびMac OS Xに対応したパソコンに接続できます。

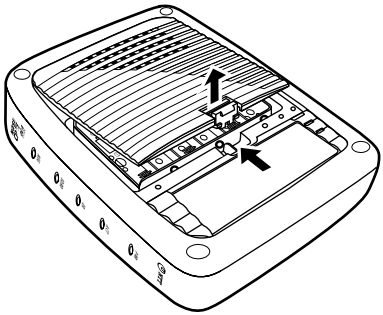
お知らせ

●RS-232CポートとUSBポートを同時に使用することはできません。

停電になったときのために

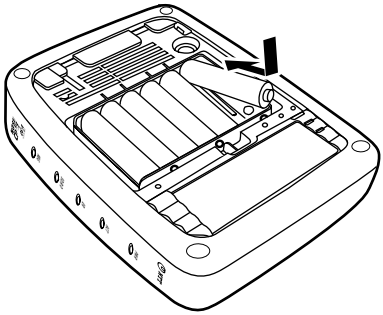
本商品に市販の単3アルカリ乾電池（6本）を入れておくと、停電時には自動的に電池動作モードに切り替わり、電話をかけたり、データ通信をすることができます。乾電池はお客様でご用意ください。
電池動作モード中はPWR（POWER）ランプが赤く点滅し、すべてのポートが使用可能です。

① 電池カバーのツメを内側に押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。

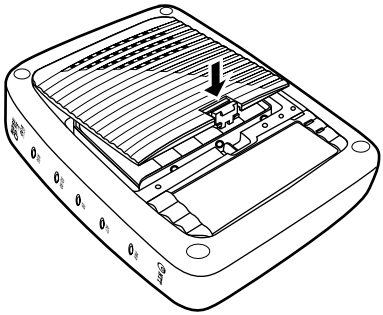


② 単3アルカリ乾電池を6本入れます。

乾電池を入れるときは、プラス（＋）・マイナス（－）の向きを確かめて入れてください。



③ 電池カバーを取り付けます。



（次ページへ続きます）

停電になったときのために

(前ページの続きです)

お知らせ

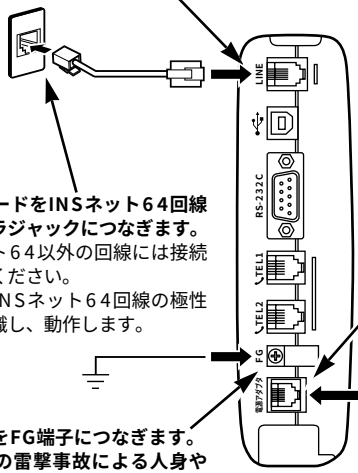
- 新品の乾電池で待ち受け時間約3時間、または1つのアナログポートの通話で通話時間約2時間の動作ができます。乾電池の残量がなくなると、本商品は動作しなくなります。
- パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合は、パソコンの電源を切ると電池動作モードに切り替わり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。
- オプションのS/TユニットのS/T端子にINSネット64用通信機器を接続する場合は、停電時に動作可能な機器をお使いください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子やRS-232CポートまたはUSBポートに接続した機器の種類によっては、乾電池の消耗を早めるものがあります。停電時は、必要でない機器を本商品から外してください。

接続します

本商品をINSネット64回線に接続し、電話機やファクス、パソコンなどを接続します。本商品にはDSUが内蔵されていますが、オプションのS/Tユニットをご利用になると、すでにお持ちのDSUをご使用になることもできます。（☛P182）

1　INSネット64回線の接続

① 付属品の電話機コードを回線接続端子（LINE）につなぎます。



② 電話機コードをINSネット64回線用モジュラジャックにつなぎます。
INSネット64以外の回線には接続しないでください。
本商品はINSネット64回線の極性を自動認識し、動作します。

③ アース線をFG端子につなぎます。落雷などの雷撃事故による人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。
※アース線は、お手元の環境に合った長さのものを、別途お買い求めください。

④ 電源アダプタコードを電源アダプタコード端子につなぎます。

⑤ 電源アダプタを電源コンセント（AC100 V、50 Hzまたは60 Hz）に差し込みます。
これで電源が入ります。

（次ページへ続きます）

ワンポイント

● **すでにお持ちのDSUをご使用になるには（☛P182、187）**
オプションのS/Tユニットをご利用になると、本商品に内蔵のDSUを使用しないで外付けDSUをお使いになることができます。

お知らせ

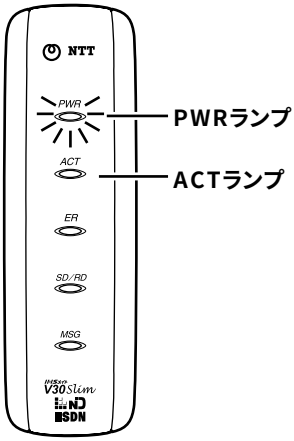
● 電話回線のコンセントがモジュラジャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。
● 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、機器使用料は不要となります。

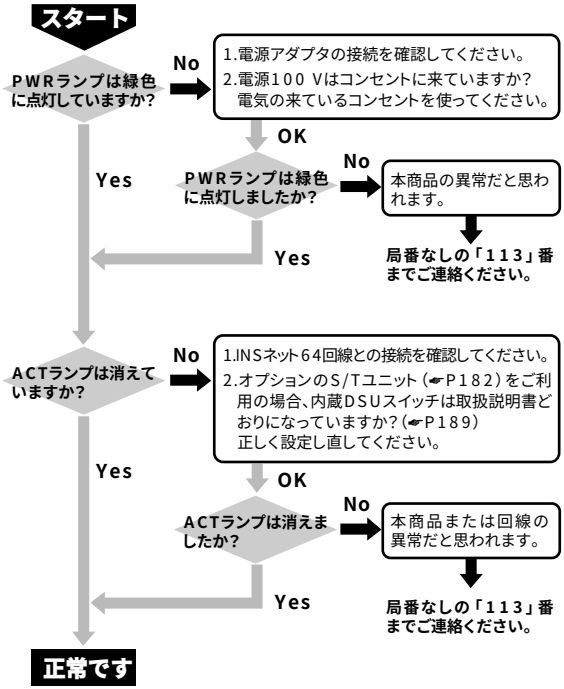
接続します

(前ページの続きです)

2　動作の確認

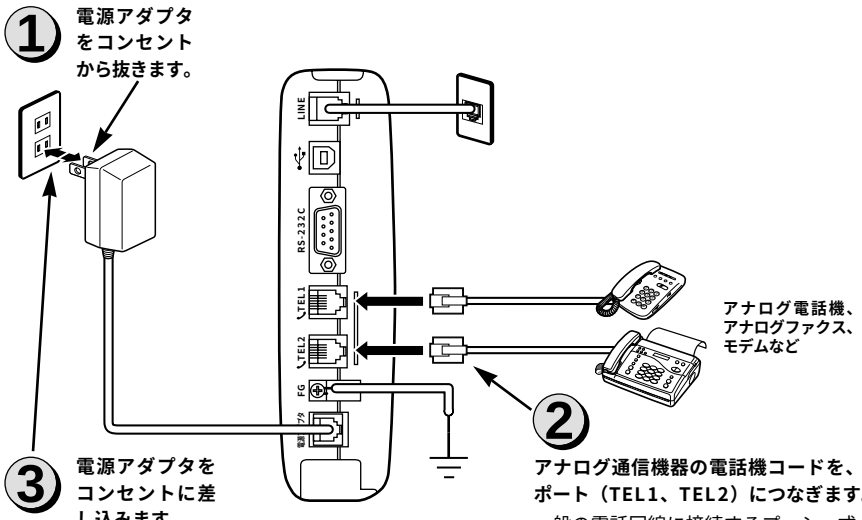
電源アダプタをコンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。
終了すると、PWR（POWER）ランプだけが緑色に点灯した状態になります。このような状態にならない場合は、右図で原因を見つけてください。





3　電話機などの接続

電話機などの機器を接続する前に、必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。



アナログ通信機器の電話機コードを、アナログポート（TEL1、TEL2）につなぎます。

一般の電話回線に接続するプッシュ式（PB）のアナログ通信機器（電話機、ファクスなど）を接続できます。

● アナログ通信機器を1台のみ接続する場合は

TEL1ポートに機器を接続し、TEL2ポートは接続機器の設定を「何も接続しない（使用しない）」に設定します。

TELで設定（ハンドセットを取りあげる→✱✱✱→2 0 8✱0→#→ハンドセットを置く）（☛P152）

PCで設定（☛P50、62）

● ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器をお使いになる場合は

ダイヤル種別を「DP固定」に設定します。

TELで設定（☛P154）

PCで設定（☛CD-ROM）

● Lモード対応のアナログ通信機器を接続する場合は

本商品の設定が必要です。（☛P105）

（次ページへ続きます）

接続します

(前ページの続きです)

ワンポイント

● 本商品以外のINSネット64用通信機器を接続するには（☛P182、188）
オプションのS/Tユニットをご利用になると、本商品以外のターミナルアダプタやINSネット64用通信機器をお使いになることができます。

お知らせ

- （財）電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- 料金管理装置などを接続してご使用になると、通信事業者からの通信料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器の受話音量や自分の声が大きく聞こえる場合は、アナログ通信機器のPADを設定してください。アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください。

お願い

- アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長200 m（0.5 φ）を目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- 1つのアナログポート（TEL1、TEL2ポート）には1台のアナログ通信機器を接続してください。ブランチ接続はできません。1つのアナログポートに複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。アナログ通信機器にブランチ接続用の端子がある場合でも、この端子には何も接続しないでください。

4　電話がかけられることの確認

接続した電話機から、電話がかかることを確認します。つながらない場合は、電話機の接続と、電話機のダイヤル種別が「トーン」（プッシュ対応）に切り替わっているかをご確認ください。

① 電話機のハンドセットを取りあげ、117（時報サービス）などにダイヤルします。

ダイヤル後は、そのままお待ちください。

② 時報などが聞こえることを確認します。

③ ハンドセットを置きます。

お知らせ

● 117番に電話をかけると通話料金がかかります。

• パソコンをお使いの方は
引き続き、「パソコン準備編」へ進みます。（☛P35）
• パソコンをお使いでない方は
「電話／ファクス編」へ進みます。（☛P79）

パソコン準備編

1　通信をする準備 ……36
2　Windows® ……38
3　Mac OS ……55
4　設定ユーティリティの利用 ……67
5　パソコンの活用 ……77

パソコンとの接続について

本商品とパソコンを接続して通信を行うには、ご使用のパソコンに合ったソフトウェアをインストールする必要があります。必要な準備は、付属のV30Slim専用CD-ROMからインストールしたイージーウィザードによって行うことができます。
イージーウィザードをインストールする前に、パソコンと本商品を接続しないでください。

■ パソコンのOSと使用できるデータポート

本商品は、RS-232Cポート、USBポートにそれぞれパソコンを接続することができます。ただし、USBポートはパソコンのOSによって使用できない場合があります。次の表でパソコンのOSと使用できるポートを確認してください。

● Windows®

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法
Windows® XP	USBポート	☛P38、41
	RS-232Cポート	☛P38、46
Windows® Me	USBポート	☛P38、41
	RS-232Cポート	☛P38、46
Windows® 98 Second Edition	USBポート	☛P38、41
	RS-232Cポート	☛P38、46
Windows® 98	USBポート	☛P38、41
	RS-232Cポート	☛P38、46
Windows® 95	RS-232Cポート	☛P38、46
Windows® 2000	USBポート	☛P38、41
	RS-232Cポート	☛P38、46
Windows NT® 4.0	RS-232Cポート	☛P38、46

● Mac OS

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法
Mac OS 8.1、8.5	RS-232Cポート	☛P55
Mac OS 8.6、9、9.1、9.2	USBポート	
	RS-232Cポート	
Mac OS X	USBポート	☛P59
	RS-232Cポート	

ワンポイント

● USBポートをご利用になるには
本商品のUSBポートに接続するパソコンは、以下の条件を備えている必要があります。
- パソコンがUSBポートを備えていること
- 次のいずれかのOSがインストールされていること
  Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS 9.1、Mac OS 9.2、Mac OS X

お知らせ

- Windows® XPではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書での画面では通常表示モードを前提に記述しています。
- 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

ご使用のOSを確認するには

使用しているパソコンの基本ソフト（OS：オペレーティングシステム）がわからない場合は、次の手順で確認してください。

● **Windows® の場合**

①［スタート］ボタンをクリックし、［設定］－［コントロールパネル］をクリックする。
［設定］がない場合は［コントロールパネル］をクリックする。

②［システム］アイコンをダブルクリックする。
［システム］アイコンがない場合は［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックし、［システム］アイコンをクリックする。

③［全般］画面でバージョンを確認する。
※お使いのパソコンによっては、［全般］の部分が［情報］と表示される場合があります。

● **Windows® 98のバージョンについて**

Windows® 98には、Windows® 98 Second EditionとWindows® 98の2つのバージョンがあります。

Windows® 98 Second Editionのとき

Windows® 98のとき

● **Macintoshの場合**

① アップルメニューの［このコンピュータについて］をクリックする。Mac OS Xの場合は、アップルメニューの［この Mac について］をクリックする。

② バージョンを確認する。

Mac OS 9のとき

ユーティリティをインストールするには

本商品の設定を行うために、付属のV30Slim専用CD-ROMからイージーウィザードと設定ユーティリティをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。
ここでは、次の作業を行います。

1 INSネット64回線に接続する（☛P29）

本商品とパソコンは指示があるまで接続しないでください。

2 ユーティリティをインストールする

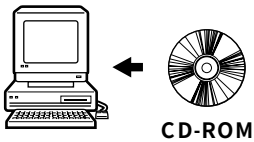
この作業が終わったら、次へお進みください。
・USBポートを使う場合（☛P41）
・RS-232Cポートを使う場合（☛P46）

Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 95、Windows® 2000、Windows NT® 4.0をご利用の場合は、次の手順でインストールします。

1 本商品とパソコンが接続されていないことを確認する。

2 INSメイトV30Slim専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

自動的にV30Slimの案内ページが表示されます。



ワンポイント

● 自動的に案内ページが表示されない場合は
① ［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックする。
② CD-ROMをセットしたドライブの［V30Slim］アイコンをダブルクリックする。
③ ②を行っても案内ページが表示されない場合は、［V30S. exe］をダブルクリックする。
以降は手順3へ進みます。

● ユーティリティをアンインストールするには（☛P203）

お知らせ

● ご使用前に必ず案内ページの「本CD-ROMのお取扱い上の注意」を開いてお読みください。
● このページの内容は一例を示しています。
● Windows NT® 4.0はService Pack3、4、5または6をお使いください。

お願い

● イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
マウスポインタを自動的に移動させるソフトなど、システムに常駐しているもの（［スタートアップ］グループに登録してあるもの）も終了させてください。他のアプリケーションを起動したままイージーウィザードを実行すると、システムが応答しなくなる可能性があります。

3 [ユーティリティのインストール]をクリックする。

インストール確認画面が表示されます。

案内ページ

4 [OK]をクリックする。

セットアッププログラムが起動します。

5 [次へ>]をクリックする。

ここで、パソコンの再起動をうながす画面が出た場合は、画面の説明に従って［再起動］をクリックしてパソコンを再起動したのち、この手順からやり直します。

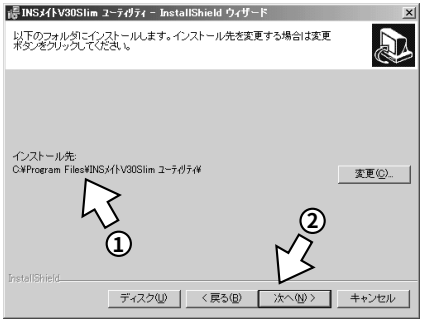
（次ページへ続きます）

ユーティリティをインストールするには

(前ページの続きです)

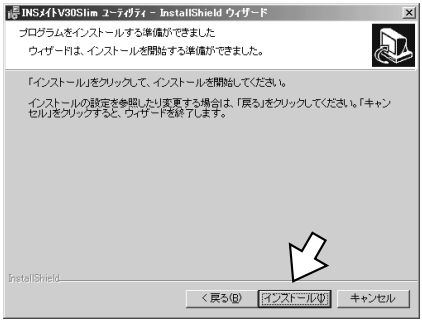
6 インストール先を確認し、[次へ>]をクリックする。

インストール先を変更する場合は［変更］をクリックしてインストール先を指定します。



7 [インストール］をクリックする。

自動的にインストールが行われます。



8 [再起動］をクリックする。

パソコンが再起動します。
ここで［INSメイトV30Slim イージーウィザードを起動する］がチェックされている場合は、パソコンが再起動したのち、イージーウィザードが起動します。

インストールが完了しました。

引き続き必要なソフトウェアをインストールします。

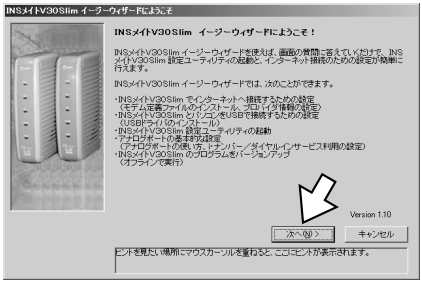
- **USBポートを使う場合（☞P41）**
- **RS-232Cポートを使う場合（☞P46）**

USBポートを使うには

本商品のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うために、イージーウィザードを使って、USBドライバをインストールします。
操作を始める前に、本商品とパソコンが接続されていないことを確認してください。

ユーティリティのインストールの操作（☛P38）に続けてイージーウィザードが起動します。

1 右の画面が表示されたら、[次へ>]をクリックする。



（次ページへ続きます）

ワンポイント

● スタートメニューからイージーウィザードを起動するには
［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）－［INSメイトV30Slim ユーティリティ］－［INSメイトV30Slimイージーウィザード］をクリックします。
起動中の画面が表示され、手順1の画面が表示されます。
起動するまでに時間がかかることがあります。

● イージーウィザードを利用できないときは
イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。（☛CD-ROM「参考情報」の「手動設定編」）

お知らせ

- ご利用のパソコンによっては、本書の画面どおりに進まないことがあります。その場合は、画面の説明に従って進めてください。
- Windows® MeまたはWindows® 98 Second Editionにおいて、［64kbpsで通信（非同期／同期PPP変換）］から［128kbpsで通信（マルチリンクPPP）］に変更する場合、または［128kbpsで通信（マルチリンクPPP）］から［64kbpsで通信（非同期／同期PPP変換）］に変更する場合は、「不要になったUSBドライバを削除するには」（☛P168）の手順に従って、それまでのUSBドライバを削除してから再びインストールを行ってください。

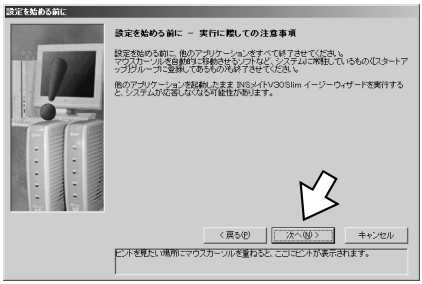
お願い

- Windows® 95、Windows NT® 4.0ではUSBをサポートしていませんので、USBポートに本商品を接続して使うことはできません。
- ご利用のパソコンによっては、イージーウィザードが起動しなかったり、操作の途中で止まる場合があります。このようなときは「イージーウィザードが利用できないときは」（☛CD-ROM「参考情報」）を参照してUSBドライバのインストールを行ってください。

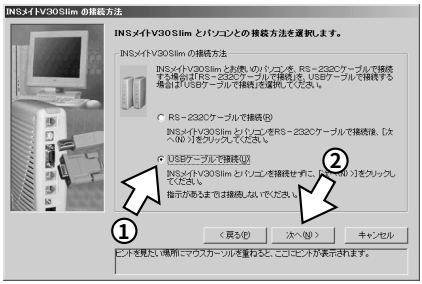
USBポートを使うには

(前ページの続きです)

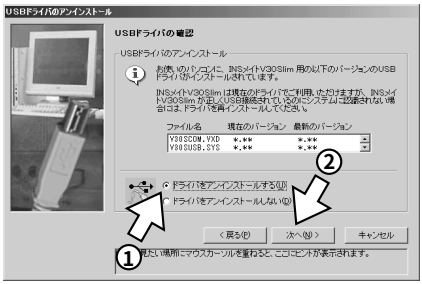
2 **［次へ>］をクリックする。**



3 **［USBケーブルで接続］をクリックし、［次へ>］をクリックする。**



ここで右の画面が表示されたときは、「ドライバをアンインストールする」をクリックして［次へ>］をクリックしたのち、画面の説明に従って、［実行］または［再起動］をクリックします。
パソコンが再起動したら、［スタート］メニューからイージーウィザードを起動して、手順1からやり直します。

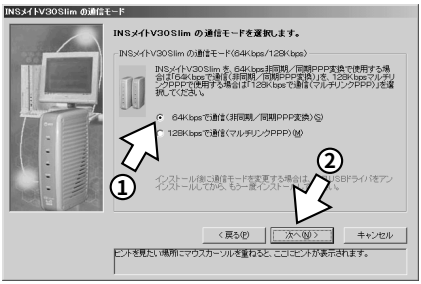


4 ご利用になる通信モード（☞CD-ROM「参考情報」）を選択し、［次へ>］をクリックする。

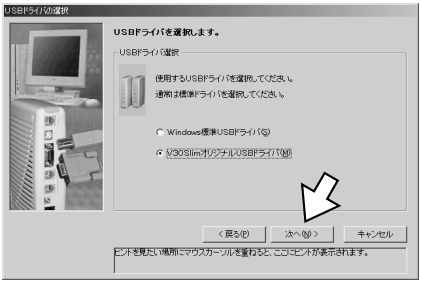
［64kbpsで通信（非同期／同期PPP変換）］［128kbpsで通信（マルチリンクPPP）］のいずれかを選択します。

※Windows® XP、Windows® 98、Windows® 2000の場合は、この画面が表示されませんので、手順5へ進みます。

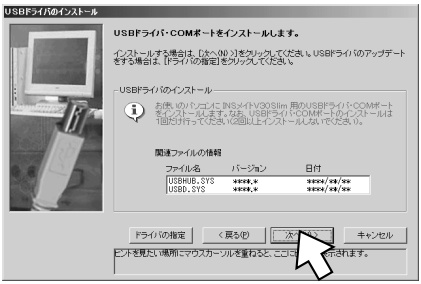
※以前USBドライバをインストールまたはアップデートしたときに［V30Slimオリジナル USBドライバ］を選択した場合は、この画面が表示されませんので、手順5へ進みます。



右の画面が表示されたときは、［Windows標準USBドライバ］と［V30SlimオリジナルUSBドライバ］のいずれかをクリックし、［次へ>］をクリックします。
［Windows標準USBドライバ］を選択した場合は上の画面が表示されますので、ご利用になる通信モードを選択してください。
［V30SlimオリジナルUSBドライバ］を選択した場合は手順5へ進みます。



5 ［次へ>］をクリックする。

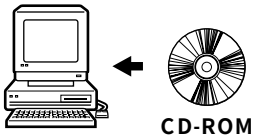


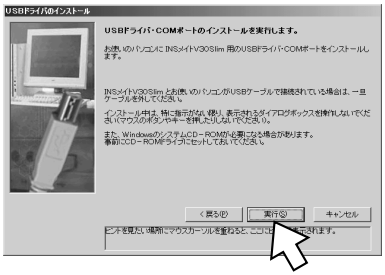
（次ページへ続きます）

USBポートを使うには

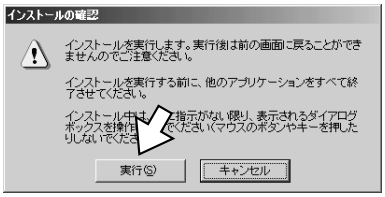
(前ページの続きです)

6 Windows®のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、［実行］をクリックする。



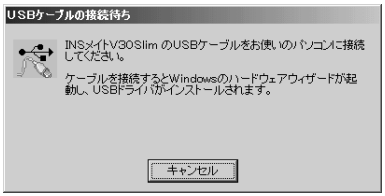


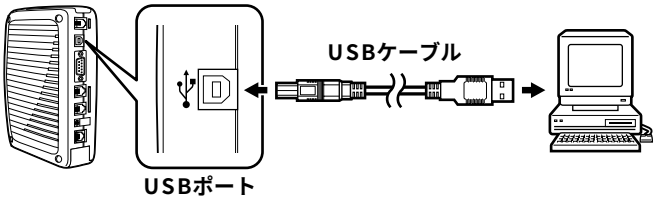
7 ［実行］をクリックする。



8 画面の説明に従って、USBケーブルを接続する。

USBケーブルを接続すると、ドライバのインストールが自動的に行われます。
手順9の画面になるまで、マウスやキーボードにさわらないでください。



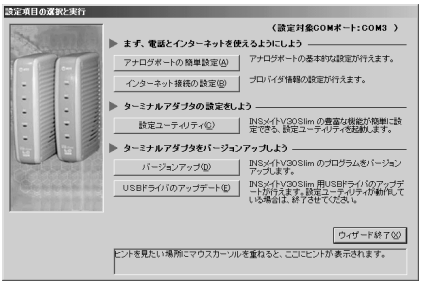


お願い

- ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。

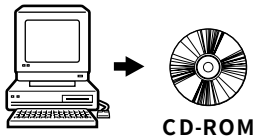
9 [設定終了]をクリックする。

イージーウィザードが起動し、[設定項目の選択と実行]画面が表示されます。
インストール後は、自動的に[アナログポートの簡単設定]、[インターネット接続の設定]が順に起動します。



10 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

インストールが完了しました。



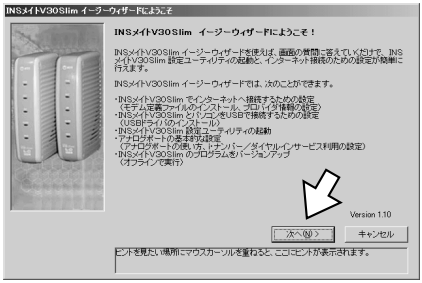
引き続き、「アナログポートの設定を行うには」(☞P50)へ進みます。

RS-232Cポートを使うには

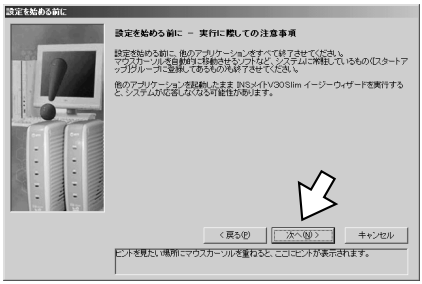
本商品のRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポート（シリアルポート）を接続して使うために、イージーウィザードを使って、モデム定義ファイルとRS-232Cポート用ドライバをインストールします。
操作を始める前に、本商品とパソコンが接続されていないことを確認してください。
Windows NT® 4.0をお使いの場合は、モデム定義ファイルとRS-232Cポート用ドライバのインストールは行われませんので、手順8の後にCD-ROM「参考情報」の手動設定編「RS-232Cポートを使うには（Windows NT® 4.0）」を参照してモデム定義ファイルをインストールしてください。

ユーティリティのインストールの操作（☛P38）に続けてイージーウィザードが起動します。

1 右の画面が表示されたら、[次へ>]をクリックする。



2 [次へ>]をクリックする。



ワンポイント

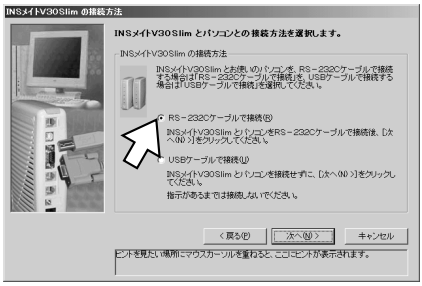
●スタートメニューからイージーウィザードを起動するには
［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）－［INSメイトV30Slim ユーティリティ］－［INSメイトV30Slimイージーウィザード］をクリックします。
起動中の画面が表示され、手順1の画面が表示されます。
起動するまでに時間がかかることがあります。

●イージーウィザードを利用できないときは
イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。（☛CD-ROM「参考情報」の「手動設定編」）

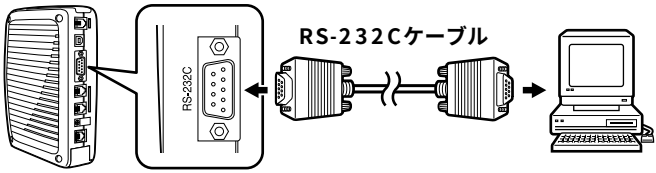
お願い

●Windows® XPまたはWindows® 2000で拡張RS-232Cポートをお使いの場合は、ここで説明しているインストール手順はご利用になれません。
CD-ROM「参考情報」の手動設定編「拡張RS-232Cポートを使うには（Windows® XP）」または「拡張RS-232Cポートを使うには（Windows® 2000）」を参照してインストールしてください。

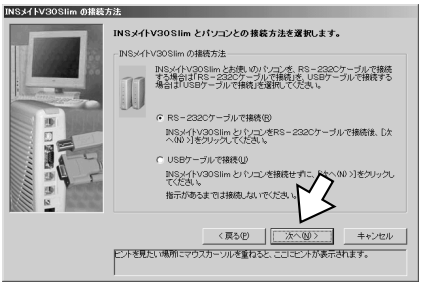
3 [RS-232Cケーブルで接続]が選択されていることを確認する。



4 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続し、[次へ>]をクリックする。



Windows NT® 4.0をお使いの場合は、手順7下側の画面に進みます。



(次ページへ続きます)

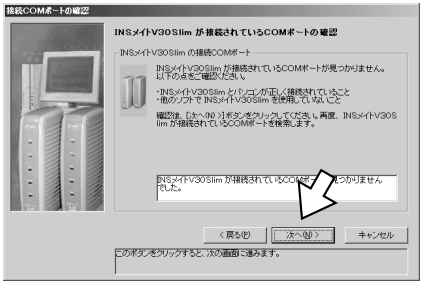
STOP お願い

- ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。
- RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定してください。
- RS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。
- RS-232Cケーブルを接続したままパソコンを起動すると、Windows® のプラグアンドプレイ機能が働きRS-232Cポート用ドライバが正常にインストールされない場合があります。
  このような場合はいったんドライバを削除してから(☛P173)、正しい手順でインストールをやり直してください。
- RS-232Cポートが複数有るパソコンで、接続するRS-232Cポートを変更する場合は、いったんドライバを削除してから(☛P173)、再度インストールをしてください。(Windows NT® 4.0 を除く)

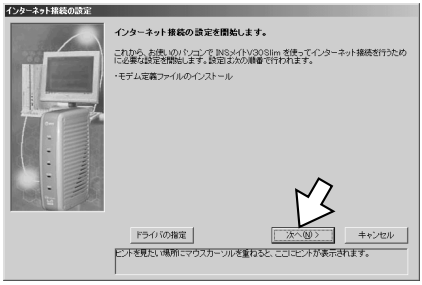
RS-232Cポートを使うには

(前ページの続きです)

右の画面が表示されたときは、本商品とパソコンの接続を再度確認し［次へ>］をクリックします。



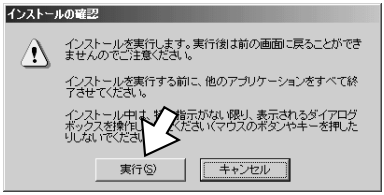
5 ［次へ>］をクリックする。



6 ［実行］をクリックする。

自動的に必要なファイルがインストールされます。

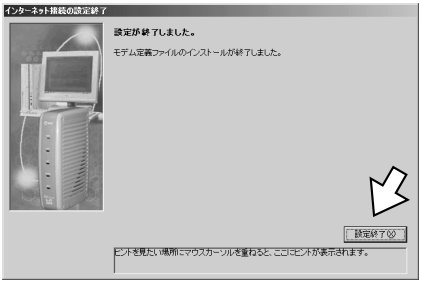
手順7の画面になるまでマウスやキーボードにさわらないでください。



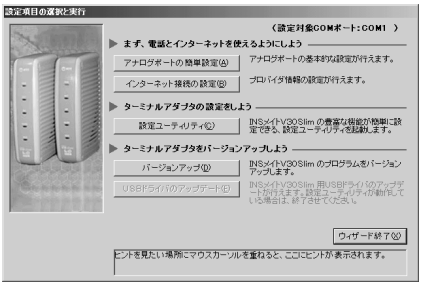
STOP お願い

- Windows® XPまたはWindows® 2000で拡張RS-232Cポートをお使いの場合に、「インストールを正常に終了できませんでした。・・・パソコンに拡張シリアルカードを増設しそのポートを使用している場合・・・」と表示されることがあります。
  このような場合はいったんドライバを削除してから（☛P173）、CD-ROM「参考情報」の手動設定編「拡張RS-232Cポートを使うには（Windows® XP）」または「拡張RS-232Cポートを使うには（Windows® 2000）」を参照してインストールしてください。

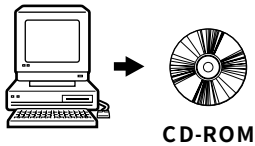
7 [設定終了]をクリックする。



イージーウィザードが起動し、[設定項目の選択と実行]画面が表示されます。
インストール後は、自動的に[アナログポートの簡単設定]、[インターネット接続の設定]が順に起動します。
ただし、Windows NT® 4.0をお使いの場合は、[アナログポートの簡単設定]のみ起動します。



8 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。



インストールが完了しました。

●引き続き、「アナログポートの設定を行うには」(☞P50)へ進みます。
●Windows NT® 4.0をお使いの場合は、CD-ROM「参考情報」の手動設定編「RS-232Cポートを使うには(Windows NT® 4.0)」「モデム定義ファイルをインストールする」の手順1～手順19を行います。

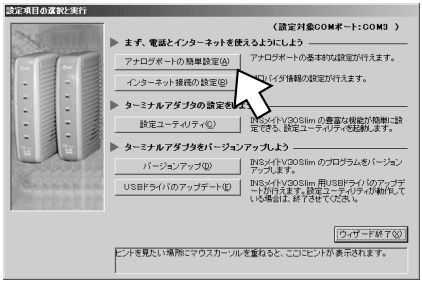
アナログポートの設定を行うには

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で、アナログ通信機器を使うための設定を行います。アナログポートの簡単設定では、アナログポートに接続する機器、キャッチホン（☛P88）、INSナンバー・ディスプレイ（☛P114）、i・ナンバー（☛P122）、ダイヤルイン（☛P124）の設定が行えます。

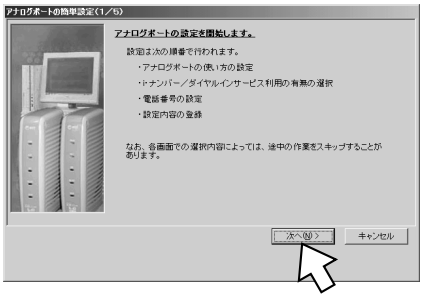
アナログポートの簡単設定を開始する

各設定画面での操作方法は「設定ユーティリティの基本操作」（☛P73）を参照してください。
インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、手順2から開始します。

1 イージーウィザードの［設定項目の選択と実行］画面で、［アナログポートの簡単設定］をクリックする。

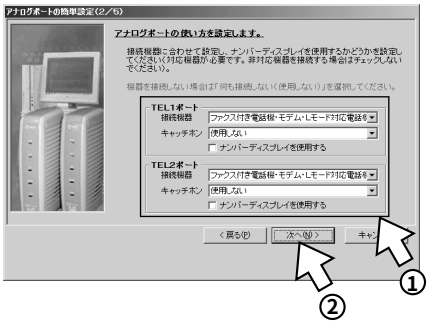


2 ［次へ>］をクリックする。



3 接続する機器、キャッチホン、ナンバー・ディスプレイの設定を行う。設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。

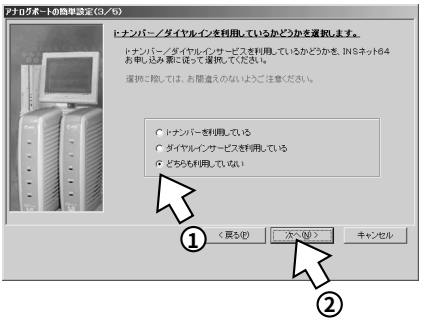
- 接続機器
  ［電話機］［ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機］を選択します。何も接続しない場合は、［何も接続しない（使用しない）］を選択します。



- キャッチホン（☛P88）
  INSキャッチホンを契約している場合は、［INSキャッチホン］、契約していない場合は、［疑似キャッチホン］を選択します。キャッチホンを使用しない場合は、［使用しない］を選択します。
- ナンバー・ディスプレイ（☛P114）
  INSナンバー・ディスプレイを利用する場合は、［ナンバー・ディスプレイを使用する］をチェックします。

4 i・ナンバー、ダイヤルインを利用するかどうかを選択し、［次へ>］をクリックする。

どちらも利用しない場合は、［どちらも利用していない］が選択されていることを確認し、［次へ>］をクリックします。



・i・ナンバーを利用する場合は、「i・ナンバーを設定する」へ進みます。（☛P53）
・ダイヤルインを利用する場合は、「ダイヤルインを設定する」へ進みます。（☛P54）

（次ページへ続きます）

ワンポイント

● 1つ前の画面に戻るには
設定の途中で間違いに気づいたときは、［<戻る］をクリックすると、1つ前の画面に戻ることができます。

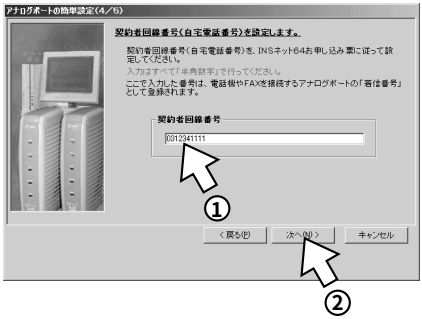
お知らせ

- すでにダイヤルインまたはi・ナンバーを設定している場合でも、手順4では［どちらも利用していない］が選択された画面が表示されます。
- すでにダイヤルインまたはi・ナンバーを設定しているときに、手順4で［どちらも利用していない］を選択し、P52の手順5、6の操作を行うと、以前のダイヤルインまたはi・ナンバーの設定は無効になります。
- すでにダイヤルインを設定しているときに、手順4で［i・ナンバーを利用している］を選択し、「i・ナンバーを設定する」（☛P53）の操作を行うと、i・ナンバーの設定が有効になります。
- すでにi・ナンバーを設定しているときに、手順4で［ダイヤルインサービスを利用している］を選択し、「ダイヤルインを設定する」（☛P54）の操作を行うと、ダイヤルインの設定が有効になります。

アナログポートの設定を行うには

(前ページの続きです)

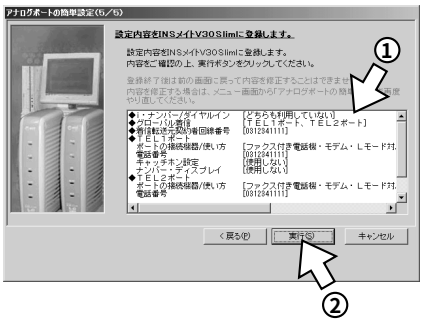
5 契約者回線番号（自宅電話番号）を市外局番から入力し、［次へ>］をクリックする。



6 設定内容を確認し、［実行］をクリックする。

以上でアナログポートの設定は完了です。

インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、アナログポートの簡単設定に続けてインターネット接続の設定を行うことができます。



必要に応じて次のページをご覧ください。

- **インターネットに接続する（☞別冊「インターネット接続ガイド」）**
- **「電話／ファクス編」（☞P79）**

i・ナンバーを設定する

［i・ナンバーを利用している］を選択した場合は、続けてi・ナンバーの設定を行います。

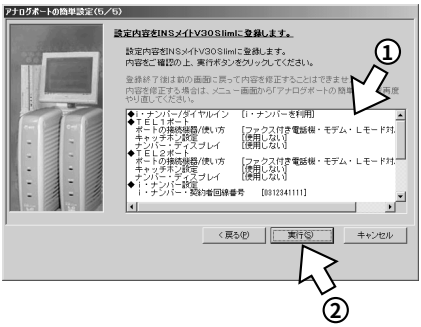
1 **i・ナンバー情報1に契約者回線番号、i・ナンバー情報2～3に追加の電話番号を入力し、割り当てるアナログポートをチェックする。**

設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。

2 **設定内容を確認し、［実行］をクリックする。**

以上でアナログポートの設定は完了です。

インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、アナログポートの簡単設定に続けてインターネット接続の設定を行うことができます。



必要に応じて次のページをご覧ください。

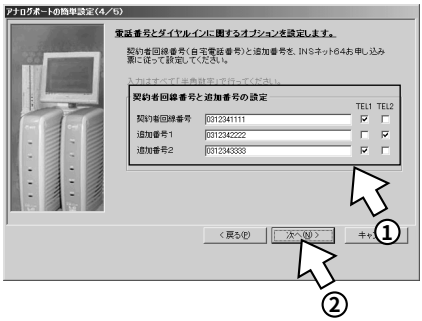
- **インターネットに接続する（☞別冊「インターネット接続ガイド」）**
- **「電話／ファクス編」（☞P79）**

アナログポートの設定を行うには

ダイヤルインを設定する

［ダイヤルインサービスを利用している］を選択した場合は、続けてダイヤルインの設定を行います。

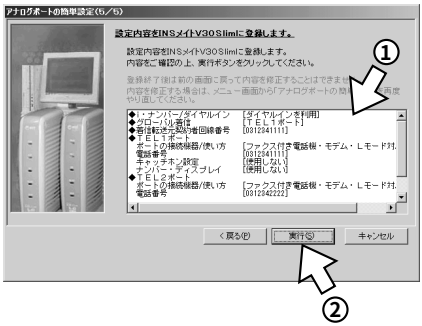
1 契約者回線番号、追加の電話番号を入力し、割り当てるアナログポートをチェックする。設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。



2 設定内容を確認し、［実行］をクリックする。

以上でアナログポートの設定は完了です。

インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、アナログポートの簡単設定に続けてインターネット接続の設定を行うことができます。



必要に応じて次のページをご覧ください。

- **インターネットに接続する（☛別冊「インターネット接続ガイド」）**
- **「電話／ファクス編」（☛P79）**

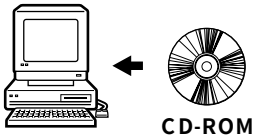
必要なソフトウェアをインストールするには（Mac OS 8.1／8.5／8.6／9／9.1／9.2）

本商品の設定を行うために、付属品のV30Slim専用CD-ROMから必要なソフトウェアをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。Mac OS 8.6、9、9.1、9.2でUSBポートに接続してお使いになる場合は、USBドライバも自動的にインストールされます。
ここでは、次の作業を行います。

1 INSネット64回線に接続する（☛P29）
本商品とパソコンは指示があるまで接続しないでください。

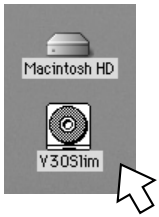
2 必要なソフトウェアをインストールする

1 INSメイトV30Slim専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。



2 [V30Slim] アイコンをダブルクリックする。

[V30Slim] アイコンをダブルクリックする前に、手順3の画面が表示された場合は、手順3に進みます。



（次ページへ続きます）

ワンポイント

●イージーウィザードを利用できないときは
イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。（☛CD-ROM「参考情報」の「手動設定編」）

お知らせ

- ご使用前に必ず案内ページの「本CD-ROMのお取扱い上の注意」を開いてお読みください。
- このページの内容は一例を示しています。

お願い

- インストールを開始する際、パソコンに本商品を接続しないでください。
  接続している場合は、パソコンを起動すると「USB装置“不明装置”を使用するのに必要なソフトウェアが見つかりません。装置に付属のマニュアルを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてください。」などと表示される場合があります。インストールを開始する前に、USBケーブルを外してください。
- イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
  システムに常駐しているものも終了させてください。他のアプリケーションを起動したままイージーウィザードを実行すると、システムが応答しなくなる可能性があります。

必要なソフトウェアをインストールするには（Mac OS 8.1／8.5／8.6／9／9.1／9.2）

(前ページの続きです)

3 **［OS8,9］フォルダをダブルクリックする。**

4 **［V30S］アイコンをダブルクリックする。**

案内ページが表示されます。

5 **［ユーティリティのインストール］をクリックする。**

6 **［OK］をクリックする。**

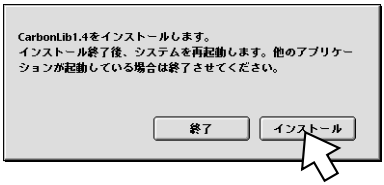
セットアッププログラムが起動します。

7 右の画面が表示されたときは、［インストール］をクリックする。

インストールが終了すると、パソコンが再起動します。

再起動後、手順8へ自動的に進みます。

［終了］をクリックした場合は、手順5から操作し直してください。

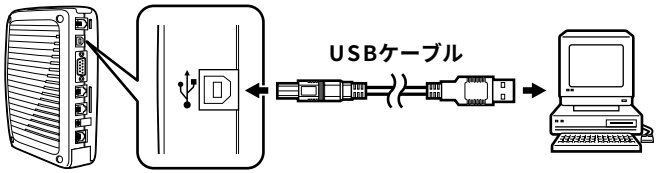


8 インストールする場所を確認し、［インストール］をクリックする。

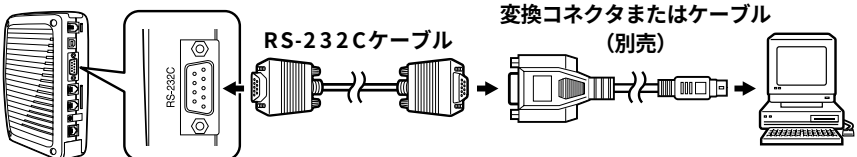
イージーウィザード、設定ユーティリティ、CCLファイル、USBドライバが自動的にインストールされます。

9 ［終了］をクリックし、本商品とパソコンをUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルで接続する。

●USBポートに接続する場合



●RS-232Cポートに接続する場合



※RS-232Cポートで接続する場合はER信号制御の設定を「常時ON」に設定してください。（☛CD-ROM「参考情報」）

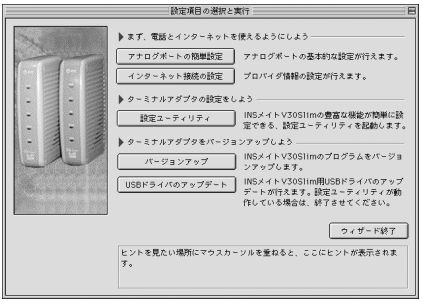
※RS-232Cポートに接続する場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

（次ページへ続きます）

必要なソフトウェアをインストールするには（Mac OS 8.1／8.5／8.6／9／9.1／9.2）

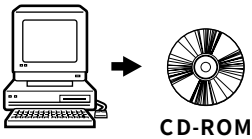
(前ページの続きです)

［INSメイトV30Slimイージーウィザードを起動する］がチェックされていれば、イージーウィザードが起動し、［設定項目の選択と実行］画面が表示されます。



10 案内ページの［END］をクリックし、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

インストールが完了しました。



引き続き、「アナログポートの設定を行うには」（☞P62）へ進みます。

お願い

- ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。
- RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定してください。

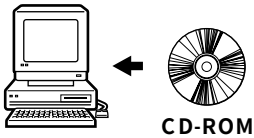
必要なソフトウェアをインストールするには（Mac OS X）

本商品の設定を行うために、付属品のV30Slim専用CD-ROMから必要なソフトウェアをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。
ここでは次の作業を行います。

1 INSネット64回線に接続する（☞P29）
本商品とパソコンは指示があるまで接続しないでください。

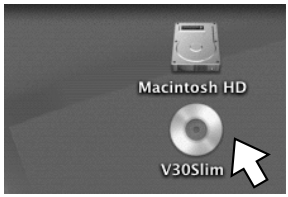
2 必要なソフトウェアをインストールする

1 INSメイトV30Slim専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。



2 [V30Slim] アイコンをダブルクリックする。

［V30Slim］のアイコンをダブルクリックする前に、手順3の画面が表示された場合は、手順3に進みます。



（次ページへ続きます）

ワンポイント

● PDFファイルを開くには
CD-ROMには、本書の内容と「インターネット接続ガイド」,「参考情報」がPDFファイルで収録されています。PDFファイルを開くには、Acrobat Readerが必要です。CD-ROMの［Acrobat5］フォルダをダブルクリックして開き、インストーラアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。Acrobat Readerをインストール後、［Manual］フォルダのアイコンをダブルクリックしてPDFファイルを開いてください。

お知らせ

- Mac OS Xでは、CD-ROMの案内ページは表示されません。必ずこのページの手順でインストールを行ってください。
- ご使用の前に、［readme.rtf］アイコンをダブルクリックし、「本CD-ROMのお取り扱い上の注意」を開いてお読みください。
- 画面はMac OS X（10.0.4）の例です。

お願い

- インストールを開始する際、パソコンに本商品を接続しないでください。
- イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
システムに常駐しているものも終了させてください。他のアプリケーションを起動したままイージーウィザードを実行すると、システムが応答しなくなる可能性があります。

必要なソフトウェアをインストールするには（Mac OS X）

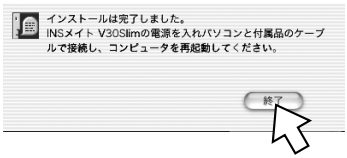
(前ページの続きです)

3 **［OSX］フォルダをダブルクリックする。**

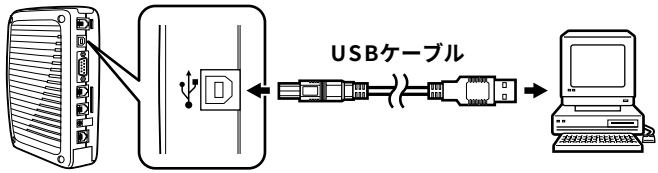
4 **［インストーラ］アイコンをダブルクリックする。**

5 **［インストール］をクリックする。**

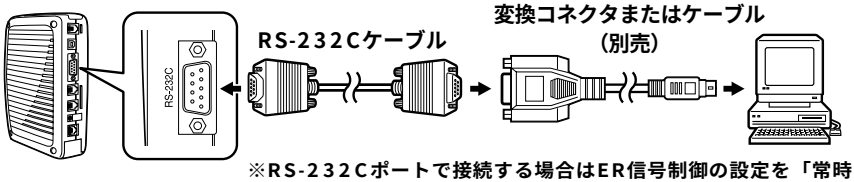
6 **［終了］をクリックし、本商品とパソコンをUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルで接続する。**



●USBポートに接続する場合



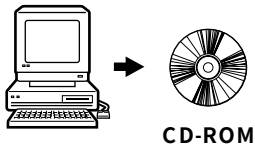
● RS-232Cポートに接続する場合



※RS-232Cポートで接続する場合はER信号制御の設定を「常時ON」に設定してください。（☛CD-ROM「参考情報」）
※RS-232Cポートに接続する場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

7 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

インストールが完了しました。



8 パソコンを再起動する。

お願い

- ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。
- RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定してください。

引き続き、「設定ユーティリティを起動するには」（☛P70）の手順によりイージーウィザードを起動してから、「アナログポートの設定を行うには」（☛P62）へ進みます。

アナログポートの設定を行うには

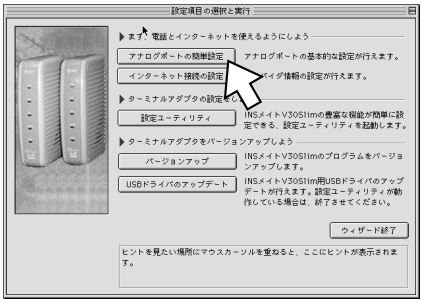
イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で、アナログ通信機器を使うための設定を行います。アナログポートの簡単設定では、アナログポートに接続する機器、キャッチホン（☛P88）、INSナンバー・ディスプレイ（☛P114）、i・ナンバー（☛P122）、ダイヤルイン（☛P124）の設定が行えます。

アナログポートの簡単設定を開始する

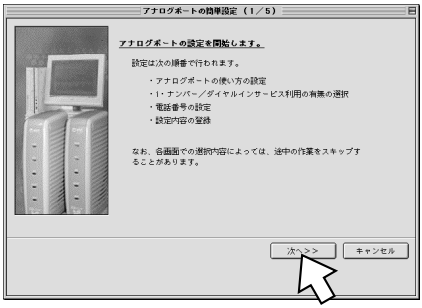
各設定画面での操作方法は「設定ユーティリティの基本操作」（☛P73）を参照してください。

1 イージーウィザードの［設定項目の選択と実行］画面で、［アナログポートの簡単設定］をクリックする。

設定ユーティリティを起動している場合は終了してください。

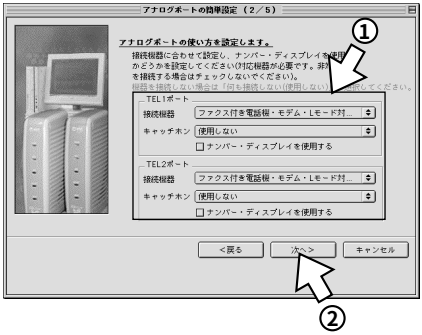


2 ［次へ>］をクリックする。



3 接続する機器、キャッチホン、ナンバー・ディスプレイの設定を行う。設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。

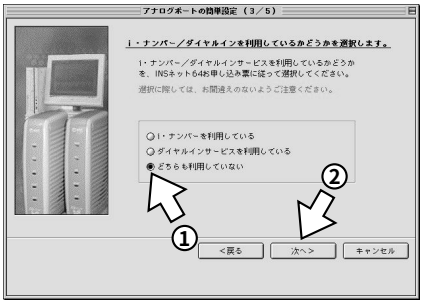
- 接続機器
  ［電話機］［ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機］を選択します。何も接続しない場合は、［何も接続しない（使用しない）］を選択します。



- キャッチホン（☛P88）
  INSキャッチホンを契約している場合は、［INSキャッチホン］、契約していない場合は、［疑似キャッチホン］を選択します。キャッチホンを使用しない場合は、［使用しない］を選択します。
- ナンバー・ディスプレイ（☛P114）
  INSナンバー・ディスプレイを利用する場合は、［ナンバー・ディスプレイを使用する］をチェックします。

4 i・ナンバー、ダイヤルインを利用するかどうかを選択し、［次へ>］をクリックする。

どちらも利用しない場合は、［どちらも利用していない］が選択されていることを確認し、［次へ>］をクリックします。



・i・ナンバーを利用する場合は、「i・ナンバーを設定する」へ進みます。（☛P65）
・ダイヤルインを利用する場合は、「ダイヤルインを設定する」へ進みます。（☛P66）

（次ページへ続きます）

ワンポイント

●1つ前の画面に戻るには
設定の途中で間違いに気づいたときは、［<戻る］をクリックすると、1つ前の画面に戻ることができます。

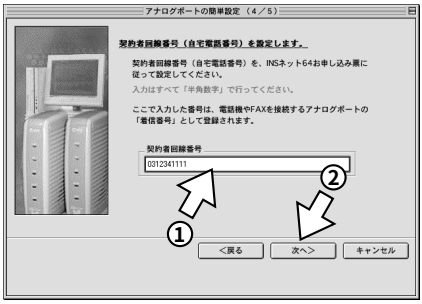
お知らせ

- すでにダイヤルインまたはi・ナンバーを設定している場合でも、手順4では［どちらも利用していない］が選択された画面が表示されます。
- すでにダイヤルインまたはi・ナンバーを設定しているときに、手順4で［どちらも利用していない］を選択し、P64の手順5、6の操作を行うと、以前のダイヤルインまたはi・ナンバーの設定は無効になります。
- すでにダイヤルインを設定しているときに、手順4で［i・ナンバーを利用している］を選択し、「i・ナンバーを設定する」（☛P65）の操作を行うと、i・ナンバーの設定が有効になります。
- すでにi・ナンバーを設定しているときに、手順4で［ダイヤルインサービスを利用している］を選択し、「ダイヤルインを設定する」（☛P66）の操作を行うと、ダイヤルインの設定が有効になります。

アナログポートの設定を行うには

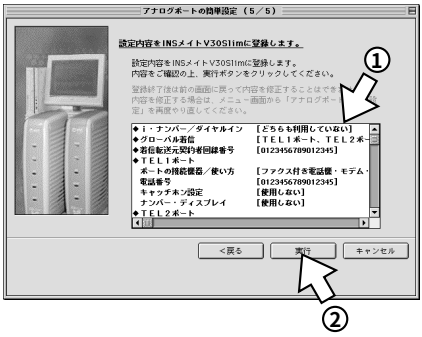
(前ページの続きです)

5 契約者回線番号（自宅電話番号）を市外局番から入力し、［次へ>］をクリックする。



6 設定内容を確認し、［実行］をクリックする。

以上でアナログポートの設定は完了です。



必要に応じて次のページをご覧ください。

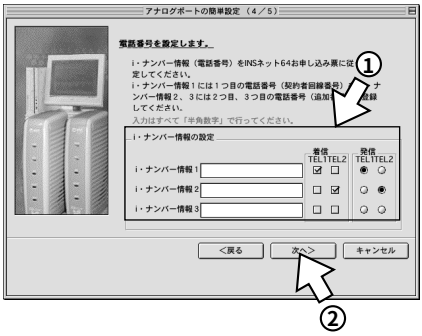
- **インターネットに接続する（☞別冊「インターネット接続ガイド」）**
- **「電話／ファクス編」（☞P79）**

i・ナンバーを設定する

［i・ナンバーを利用している］を選択した場合は、続けてi・ナンバーの設定を行います。

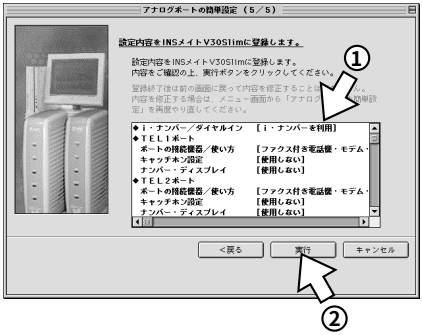
1 **i・ナンバー情報1に契約者回線番号、i・ナンバー情報2～3に追加の電話番号を入力し、割り当てるアナログポートをチェックする。**

設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。



2 **設定内容を確認し、［実行］をクリックする。**

以上でアナログポートの設定は完了です。



必要に応じて次のページをご覧ください。

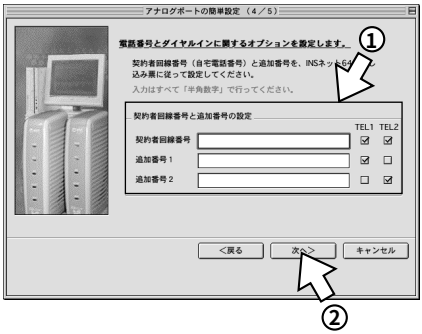
- **インターネットに接続する（☛別冊「インターネット接続ガイド」）**
- **「電話／ファクス編」（☛P79）**

アナログポートの設定を行うには

ダイヤルインを設定する

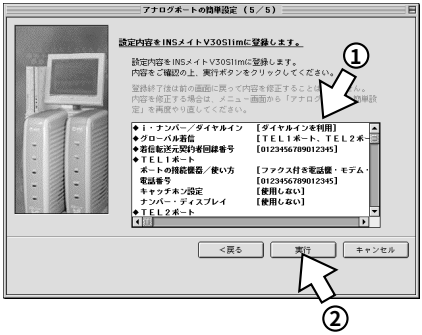
［ダイヤルインサービスを利用している］を選択した場合は、続けてダイヤルインの設定を行います。

1 **契約者回線番号、追加の電話番号を入力し、割り当てるアナログポートをチェックする。設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。**



2 **設定内容を確認し、［実行］をクリックする。**

以上でアナログポートの設定は完了です。



必要に応じて次のページをご覧ください。

- **インターネットに接続する（☛別冊「インターネット接続ガイド」）**
- **「電話／ファクス編」（☛P79）**

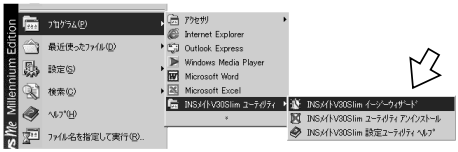
設定ユーティリティを起動するには

イージーウィザードの画面から、本商品のいろいろな機能を簡単に設定するための設定ユーティリティを起動することができます。設定ユーティリティを起動するときは、本商品がパソコンに接続されていることを確認してください。
設定ユーティリティは、他のアプリケーションを終了してから起動してください。

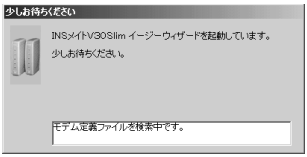
Windows®の場合

1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]－[INSメイトV30Slimユーティリティ]－[INSメイトV30Slimイージーウィザード]をクリックする。

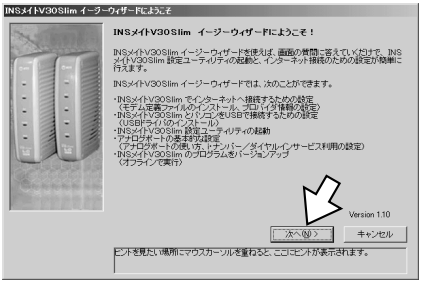
Windows® XPの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[INSメイトV30Slimユーティリティ]－[INSメイトV30Slimイージーウィザード]をクリックします。



イージーウィザードが起動します。（起動するまでに時間がかかることがあります。）
起動中は、右の画面が表示されます。



2 右の画面が表示されたら、[次へ>]をクリックする。



（次ページへ続きます）

ワンポイント

●設定ユーティリティ起動中に着信があると
［COMポートxがオープンできません］または「ATコマンドエラー」と表示されるので、［OK］をクリックします。以降は「設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合」（☞P72）の操作を行ってください。

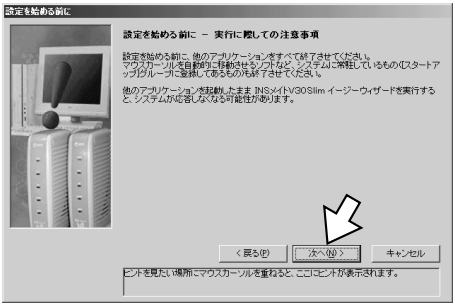
お知らせ

●本商品を接続しないでイージーウィザードを起動すると、［INSメイトV30Slimの接続方法］画面（☞P42）が表示されます。この場合は、［キャンセル］をクリックしていったん終了し、本商品の接続を確認して、もう一度イージーウィザードを起動してください。

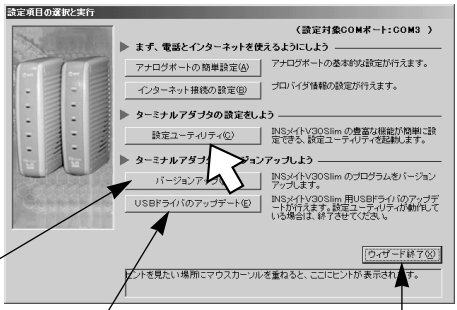
設定ユーティリティを起動するには

(前ページの続きです)

3 **［次へ>］をクリックする。**



4 **［設定ユーティリティ］をクリックする。**



本商品のプログラムをバージョンアップします。(☛P178)

USBドライバのアップデートを行います。(☛P166)
※RS-232Cポートで接続している場合はボタンをクリックできません。

イージーウィザードを終了します。
ボタンをクリックすると、終了確認の画面が出ますので、［終了］をクリックします。

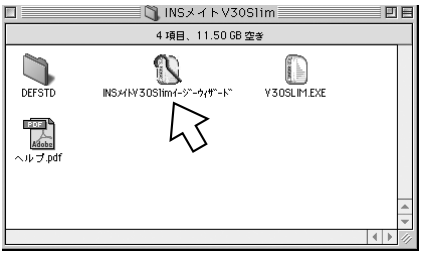
引き続き、設定ユーティリティの基本操作（☛P73）へ進みます。

Mac OS 8.1／8.5／8.6／9／9.1／9.2の場合

1 [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックする。

2 [INSメイトV30Slim] フォルダの [INSメイトV30Slimイージーウィザード] アイコンをダブルクリックする。

イージーウィザードが起動して、イージーウィザードの画面が表示されます。

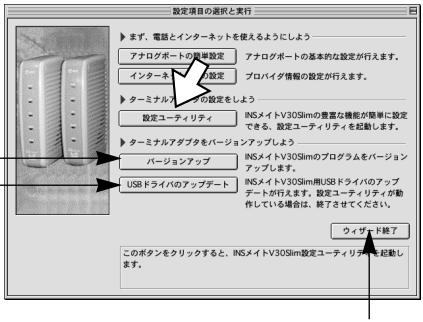


3 [設定ユーティリティ] をクリックする。

本商品のプログラムをバージョンアップします。(☛P178)

USBドライバのアップデートを行います。(☛P166)

※お使いのパソコンによっては、RS-232Cポートで接続している場合でも、このボタンが表示されることがあります。このような場合は、ボタンをクリックしないでください。



イージーウィザードを終了します。

ワンポイント

●イージーウィザードを利用しないで設定ユーティリティを起動するには
[INSメイトV30Slim] フォルダの [V30SLIM.EXE] をダブルクリックします。

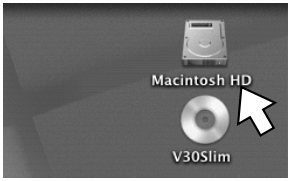
●設定ユーティリティ起動中に着信があると
「ATコマンドエラー」と表示されるので、[OK] をクリックします。手順3の画面が表示されますので、もう一度、[設定ユーティリティ] をクリックします。

引き続き、設定ユーティリティの基本操作（☛P73）へ進みます。

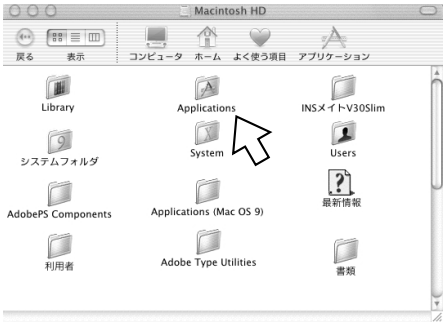
設定ユーティリティを起動するには

Mac OS Xの場合

1 [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックする。



2 [Applications] フォルダをダブルクリックする。

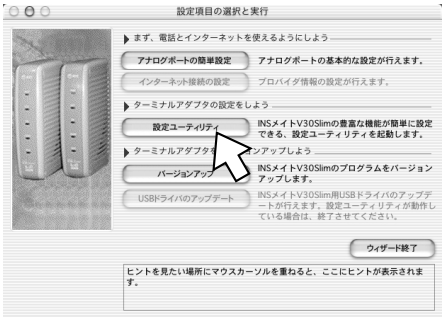


3 [INSメイトV30Slim] フォルダをダブルクリックする。

4 [INSメイトV30Slimイージーウィザード] アイコンをダブルクリックする。

イージーウィザードが起動して、イージーウィザード画面が表示されます。

5 [設定ユーティリティ] をクリックする。



引き続き、設定ユーティリティの基本操作（☛P73）へ進みます。

ワンポイント

- **イージーウィザードを利用しないで設定ユーティリティを起動するには**
  ［INSメイトV30Slim］フォルダの［V30SLIM.EXE］をダブルクリックします。
- **設定ユーティリティ起動中に着信があると**
  「ATコマンドエラー」と表示されるので、［OK］をクリックします。手順5の画面が表示されますので、もう1度［設定ユーティリティ］をクリックします。

お知らせ

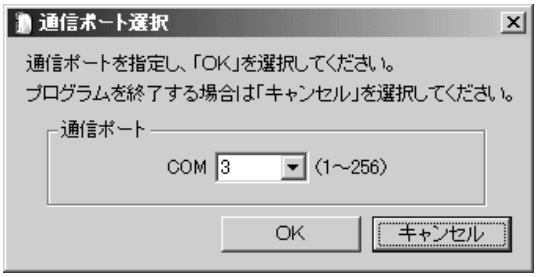
- Mac OS Xでは、Mac OS Xの標準ドライバを使用するため、USBドライバのアップデートはできません。
- 画面はMac OS X（10.0.4）の例です。
- Mac OS X（10.1.X）では、［INSメイトV30Slim］フォルダの［V30SLIM.EXE］をダブルクリックしても設定ユーティリティが起動しない場合があります。

設定ユーティリティを起動するには

設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合

次のような場合は、「COMポートの検索に失敗しました。」（Mac OSでは［通信ポートの検索に失敗しました。］）というエラーメッセージが表示されます。

- **本商品の電源アダプタ、RS-232Cケーブル、USBケーブルが正しく接続されていない場合**
  電源アダプタやRS-232Cケーブル、USBケーブルが正しく接続されていることを確認してください。接続を確認したうえで、エラーメッセージの画面で［OK］をクリックすると、次の画面が表示されます。本商品が接続されているポートを選択して［OK］をクリックすると、設定ユーティリティのメニュー画面が表示されます。
  または、次の画面で［キャンセル］をクリックして再度設定ユーティリティを起動します。



(画面はWindows®の例です)

- **USBドライバが正常にインストールされなかった場合**
  P168の手順に従って一度USBドライバをアンインストールしたあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

設定ユーティリティの基本操作

設定ユーティリティのメニュー画面、各設定画面では次のように操作します。
手順はWindows®、Mac OSとも共通です。画面はWindows®の例です。

メニュー画面からの操作

1 イージーウィザードを起動し、設定ユーティリティを起動する。（☛P67、69、70）

2 設定ユーティリティのメニュー画面で、設定する項目のボタンをクリックする。

各ポートの料金情報（☛CD-ROM）

パソコンで使用している通信ポート

本商品とパソコン間の通信速度

最新の通信開始日時、終了日時、相手先番号

データ通信の詳細履歴が表示されます。（☛CD-ROM）

お買い求め時の設定に戻します。（☛P175）

カレンダの設定を行います。（☛P76）

バージョン情報が表示されます。（☛CD-ROM）

設定内容を本商品に保存し、設定ユーティリティを終了します。（☛P74）

i・ナンバーの設定を行います。（☛CD-ROM）

TEL1ポートの設定を行います。（☛CD-ROM）

TEL2ポートの設定を行います。（☛CD-ROM）

TEL1ポート、TEL2ポート共通の設定を行います。（☛CD-ROM）

データポートの設定を行います。（☛CD-ROM）

ヘルプが表示されます。（☛CD-ROM）
※Macintosh版にはありません。

設定を中止します。設定内容が本商品に保存されずに、設定ユーティリティが終了します。

保存
現在の設定をファイルに保存します。（☛CD-ROM）

読込
以前保存した設定をファイルから読み込みます。（☛CD-ROM）

〈設定ユーティリティのメニュー画面〉

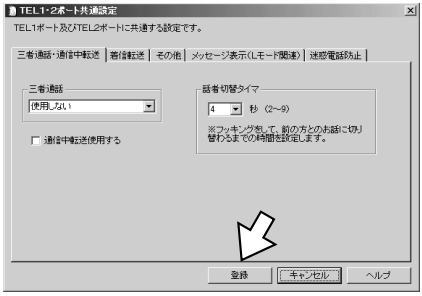
（次ページへ続きます）

設定ユーティリティの基本操作

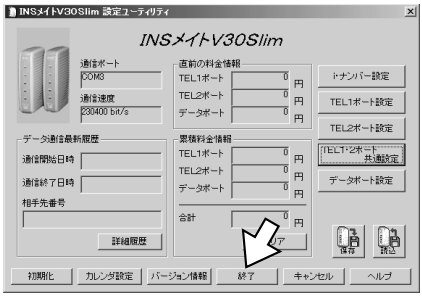
(前ページの続きです)

3 各設定画面で［登録］をクリックする。

右の画面はTEL1・2ポート共通設定画面の場合の一例です。

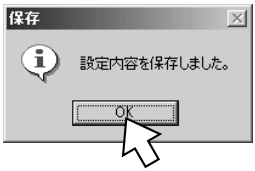


4 ［終了］をクリックする。



5 ［OK］をクリックする。

設定内容が本商品に保存され、終了します。



必要に応じて以下のページをご覧ください。

- **「カレンダを設定するには」（☛P76）**
- **「設定ユーティリティの活用」（☛CD-ROM「参考情報」）**

電話やファクスの機能を設定するときは、「電話／ファクス編」（☛P79）からご覧ください。

お知らせ

- メニュー画面で［キャンセル］をクリックして設定ユーティリティを終了すると、設定内容が本商品に保存されず、データ通信や停電などにより設定が元に戻ってしまうことがあります。

設定画面の基本操作

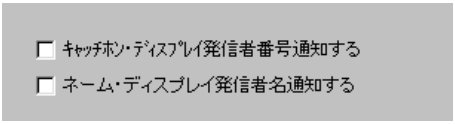
設定ユーティリティの各設定画面では次のように操作します。

●項目に ▼ があるとき

表示されているものが現在の設定内容です。変更するときは、▼をクリックして、一覧から設定するものを選択します。

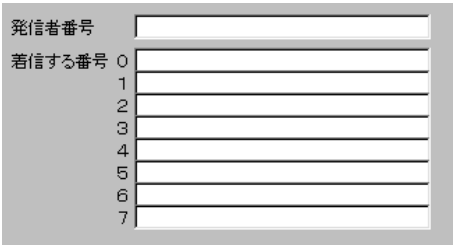
●項目に□があるとき

複数の項目を選択できます。選択するときは□をクリックして☑にします。



●入力欄があるとき

入力欄をクリックして、数値や電話番号を入力します。



●項目に○や◉があるとき

グループ内で1つの項目を選択します。◉が現在選択されているものです。変更するときは、○をクリックして◉にします。

お知らせ

●設定項目を囲む四角い枠 ┈┈ および電話番号などの入力欄のカーソルは、パソコンの［Tab］キーで移動できます。

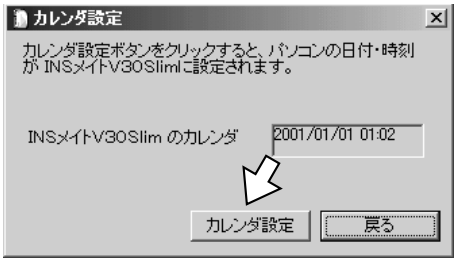
カレンダを設定するには

日付・時刻を設定します。

1 設定ユーティリティのメニュー画面で［カレンダ設定］をクリックする。

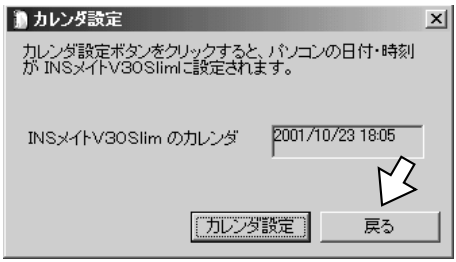
2 ［カレンダ設定］をクリックする。

パソコンに記憶されている日付・時刻が本商品に設定されます。



3 ［戻る］をクリックする。

メニュー画面に戻ります。



お知らせ

- 設定時は、パソコンに記憶された日付・時刻が設定されますが、以後はパソコンの時刻とずれる場合があります。
- 本商品の時刻は目安としてご利用ください。
- 本商品に電池が入っていない状態で電源アダプタを抜くと、カレンダ設定はクリアされます。

「パソコン活用編」について

付属のCD-ROM「参考情報」の「パソコン活用編」は、設定ユーティリティの各画面の詳しい説明、INSメイトV30Slimで利用できるいろいろな通信機能についての説明を収録した電子マニュアルです。必要に応じて参照してください。

「パソコン活用編」の内容

■ 設定ユーティリティの活用

INSメイトV30Slimの設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法について説明しています。

■ パソコンでの設定画面

INSメイトV30Slimの設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

■ いろいろな通信機能

INSメイトV30Slimを使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

電話／ファクス編

1　すぐに使えます ……80
2　電話のいろいろな使いかた ……87
3　ファクスのいろいろな使いかた ‥109
4　発信者番号の通知と表示 ……112
5　電話やファクスの呼び分け ……120
6　転送／メッセージ録音 ……132
7　電話機からの設定 ……142

電話をかける／ファクスを送るには（発信）

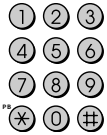
本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に2つのアナログポートを使用できます。ただし、パソコンでBチャネル1本を使用しているときは、電話機は1台しか使用できません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
２０秒以内に手順２の操作を行ってください。
２０秒を過ぎると、話中音が聞こえます。

2 電話番号（最大32桁）を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）



3 相手が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、#ボタンによる発信、サブアドレスを追加した発信はできません。
- 続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約2秒以上置いてからダイヤルしてください。
- パソコンで2本のBチャネルを使用しているときは、リソースBODを「発信／着信時に使用する」または「発信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。（☛CD-ROM「参考情報」）

ワンポイント

● 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：74）（☛P148）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● ＃ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを＃ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定（機能番号：75）（☛P148）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● サブアドレスを指定して電話をかけるには

相手の電話番号を押したあとに、＊ボタン、サブアドレス（最大19桁）を押します。

〈例〉0312345678 ＊ 12345

↑ 電話番号　↑ サブアドレス

● 受話音量を調節するには

電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お買い求め時は「中」に設定されています。

TELで設定（機能番号：17）（☛P154）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● ダイヤル式（DP）電話機をお使いの場合は（ダイヤル種別）

ダイヤル種別を「DP固定」に設定します。

TELで設定（機能番号：18）（☛P154）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 発信を規制するには（発信規制）

アナログポートに接続した電話機やファクスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。

0発信規制：1桁めに0がつく電話番号をダイヤルしたときは発信できません。

外線発信規制：すべての外線発信ができません。

TELで設定（機能番号：22）（☛P154）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☛CD-ROM「参考情報」）

発信規制を設定した場合も、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。

● アナログポートを使用しない場合は

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。（☛P50、62）

TELで設定（機能番号：08）（☛P152）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☛CD-ROM「参考情報」）

電話を受ける／ファクスを受けるには（着信）

アナログポートに接続した電話機で電話を受けたり、ファクスを受信することができます。ほかの1つのポートを使用中でも、着信を受けられます。
2つのアナログポートの両方に電話機やファクスを接続している場合は、両方から着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴る。

2 ハンドセットを取りあげて、相手とお話しする。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

●ファクスに転送するには（内線転送）（☛P86）
相手がファクスのときは、ハンドセットを取りあげると「ポー・ポー」という音が聞こえます。もう一方のアナログポートにファクスを接続している場合は、次の操作でファクスを受信することができます。
フッキングする→✳✳⓪を押す→ハンドセットを置く

●着信音で相手を識別するには（INSなりわけサービス／疑似なりわけ）
あらかじめ登録した相手からの着信は、通常と異なる着信音を鳴らすことができます。（☛P92）

●着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）
着信音を鳴らす電話機のアナログポートを指定することができます。（☛P87）

●着信を拒否するには
着信拒否を「する」に設定すると、発信専用でご利用になれます。アナログポートごとに設定できます。
TELで設定（機能番号：16）（☛P154）
PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☛CD-ROM「参考情報」）
着信拒否を設定していても、内線からの呼び出しを受けることができます。また、TEL2ポートの着信拒否を設定していても、FAX自動転送（☛P109）は着信します。

●アナログポートを使用しない場合は
イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。（☛P50、62）
TELで設定（機能番号：08）（☛P152）
PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☛CD-ROM「参考情報」）

●特定の電話番号からの着信を拒否するには（迷惑電話防止）
あらかじめ登録した電話番号からの着信を拒否することができます。（☛P96）

お知らせ

● パソコンで2本のBチャネルを使用しているときは、リソースBODを「発信／着信時に使用する」または「着信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。(☛CD-ROM「参考情報」)

内線でお話しするには　（内線通話）

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、内線でお話しすることができます。本商品をINSネット64に接続していなくても内線通話は利用できます。
ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
INSネット64回線に接続していない場合は、話中音が聞こえます。

2 フッキングする。

「プップップッ…」という音が聞こえます。
20秒以内に手順3の操作を行ってください。
20秒過ぎると、話中音が聞こえます。

3 ✱✱⓪を押す。

「プルプル、プルプル…」という呼出音が聞こえます。

4 呼び出された方が出たら、お話しする。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

● フッキングとは

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

● フッキングの長さを設定するには（フッキング検出タイマ）

フッキングの長さを「短い」、「普通」、「長い」のいずれかに設定することができます。お買い求め時は「普通」に設定されています。

TELで設定（機能番号：73）（☛P148）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 内線着信の発信者番号を表示するには（内線着信ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定しているときは、TEL1ポートからの発信は「001」、TEL2ポートからの発信は「002」と通知されます。

TELで設定（機能番号：10）（☛P152）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 内線の呼出音を変えるには（内線呼出信号設定）

お買い求め時は「プルプル、プルプル…」（呼出信号2）に設定されています。「プルルル、プルルル…」（呼出信号1）に変更することができます。

TELで設定（機能番号：15）（☛P154）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 内線でお話し中に電話がかかってきたときは

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンをご利用になると、かかってきた電話に出ることができます。（☛P88）

● 内線機能を停止するには

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への発信を停止することができます。

TELで設定（機能番号：64）（☛P146）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

お知らせ

- 手順3で ✱ ✱ 0 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をお使いの場合は、呼出音が鳴るまでにしばらく時間がかかることがあります。
- 接続機器を「接続しない」に設定したアナログポートでは、内線機能をご利用になれません。

外からの電話を取りつぐには（内線転送）

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、外の方とお話し中に、もう一方の電話機に転送することができます。
ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒過ぎると、外の相手との通話に戻ります。

2 ✱ ✱ 0を押す。

「プルプル、プルプル…」という呼出音が聞こえます。
外の相手には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が聞こえます。

3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。

4 ハンドセットを置く。

ワンポイント

- **フッキングとは（☛P85）**
- **内線で呼び出す音を変えるには（内線呼出信号設定）（☛P85）**
- **内線機能を停止するには**
  内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への転送を停止することができます。
  TELで設定（機能番号：64）（☛P146）
  PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）
- **転送を取りやめるには**
  手順1でフッキングしてからハンドセットを置きます。着信音が鳴ってからハンドセットを取りあげると、保留にしていた方ともう一度お話しできます。
- **相手が応答しなかったときは**
  フッキングすると、外の相手とのお話しに戻ることができます。
- **相手が応答する前に転送するには**
  手順2の呼出中に受話器を置くと相手が応答する前に転送することができます。

お知らせ

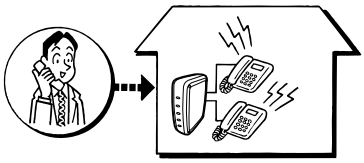
- 手順2で ✱ ✱ 0 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- 内線でお話ししないでハンドセットを置いた場合は、呼び出された方が応答しないと約30秒後に電話が切れます。

着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）

設定

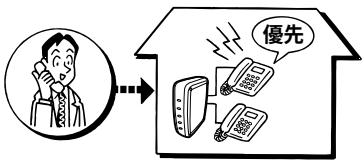
2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合、お買い求め時の設定では電話がかかってくると、両方の電話機を呼び出します。優先着信ポートを指定すると、一方のアナログポートを優先的に呼び出すことができます。

お買い求め時の設定では



両方のアナログポートの電話機を呼び出す

優先着信ポートを指定すると



指定したアナログポートの電話機を呼び出す

●必要な設定

優先的に着信させるアナログポートを指定します。

機　能	TELで設定（☞P146）	PCで設定（☞CD-ROM）	設定内容
優先着信ポート指定	機能番号：62	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」	「TEL1ポート」または「TEL2ポート」を選択する 「TEL1ポート」：TEL1ポートを優先的に呼び出す 「TEL2ポート」：TEL2ポートを優先的に呼び出す 「指定しない」：TEL1ポートとTEL2ポートを呼び出す

ワンポイント

●INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン（☞P88）を利用しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話し中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。

お話し中にかかってきた電話を受けるには（INSキャッチホン／疑似キャッチホン）

外の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。
INSキャッチホンと疑似キャッチホンの2つの方法があります。

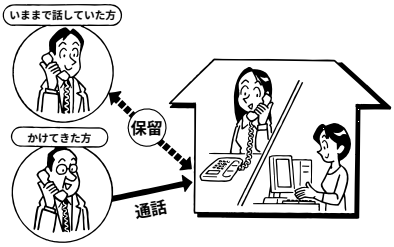
INSキャッチホン

¥ 設定

お話し中で、かつほかのポートを使用中でも、かかってきた電話に出ることができます。

●必要な契約
INSキャッチホンの契約（有料）が必要です。

●必要な設定
INSキャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



ほかのポートを使っていても電話に出られる。
また、キャッチホンでお話し中でも、他のポートに接続した機器で通信することができる。

INSキャッチホンを設定する

TELで設定 （☞P150）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→設定するTELポートの番号（① または②）→⓪②→✱→②→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☞P50、62）

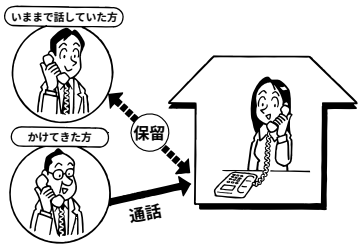
疑似キャッチホン

設定

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

●必要な設定

疑似キャッチホンをご利用になるアナログポートごとに疑似キャッチホンの設定が必要です。



ほかのポートで電話やファクスを使っていたり、インターネットを利用しているときは、応答できない。

疑似キャッチホンを設定する

TELで設定 **（☛P150）**

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→設定するTELポートの番号（① または ②）→⓪②→✱→①→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P50、62）

お話し中にかかってきた電話を受けるには（INSキャッチホン／疑似キャッチホン）

お話し中にかかってきた電話に出る

1 **外の相手とお話し中に「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえる。**

2 **相手に待っていただくように伝え、フッキングする。**

あとからかけてきた方に切り替わります。

3 **あとからかけてきた方とお話しする。**

疑似キャッチホンの場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
INSキャッチホンの場合、最初に話していた方には保留メロディが流れます。

4 **最初に話していた方とお話しするには、もう一度フッキングする。**

ワンポイント

● フッキングとは（☛P85）

● 両方のアナログポートに電話機を接続しているときは
キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話し中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。（☛P87）

● INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン中にハンドセットを置くと
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた相手とお話しができます。

● 特定の相手からの着信のみキャッチホンを可能にするには（通話中着信識別通知）
通信中着信識別通知を利用すると、登録されている相手からの着信のみ、通話中に電話がかかってきたことを知らせるようにすることができます。（☛P95）

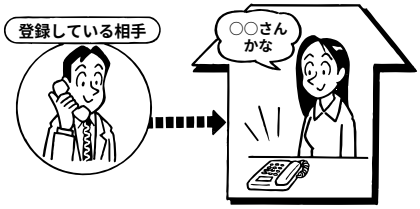
お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 次の場合は、INSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。
  - 接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」で、かつHLC（高位レイヤ整合性）設定が「する」になっているとき
  - 相手の高位レイヤ整合性が「G2／G3ファクス」になっているとき
- FAX自動転送を「する」に設定しているときは、TEL2ポートではINSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。（☛P109）
- 他のアナログポートでフレックスホン（☛P18）のいずれかを利用しているときは、INSキャッチホンをご利用になれません。
- INSキャッチホンの場合、三者通話と通信中転送の設定のいずれかが「使用する」のときは、手順4でフッキングすると「プップップッ…」という音が聞こえたあと、最初に話していた方とお話しができます。
- 通信中着信通知サービス（☛P18）をご契約していて、両方のアナログポートにINSキャッチホンを設定している場合、両方のアナログポートに接続した電話機でお話し中に電話がかかってきたときは、TEL1ポートに接続した電話機から「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえます。
- 疑似キャッチホンのご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。
- 疑似キャッチホンはBチャネル2本を使用するため、以下の制限があります。
  - 2つのアナログポートで同時に利用できません。
  - Bチャネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
  - お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
  - 新たな着信があった場合、フッキングしても応答できません。

特定の相手からかかってきた電話を識別するには（INSなりわけサービス／疑似なりわけ）

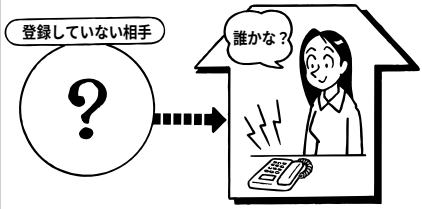
あらかじめ登録した電話番号からの電話は、電話機の着信音を変えてお知らせします。登録していない電話番号からの電話は、通常の着信音を鳴らすか、受け付けないようにするかを選択できます。
なりわけには、INSなりわけサービスと疑似なりわけの2つの方法があります。

特定の相手からかかってきたとき



通常と異なる着信音（プルプル、プルプル…）が鳴る

その他の相手からかかってきたとき



通常の着信音（プルルル、プルルル…）を鳴らす／電話を受け付けない

INSなりわけサービス

¥ 設定

相手が通知してきた発信者番号を、当社の交換機に登録された電話番号リストと照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。すべての着信が識別されます。

●必要な契約

INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。識別する電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。契約者回線番号および追加番号ごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

●必要な設定

INSなりわけサービスを利用するアナログポートごとに、INSなりわけの設定、なりわけ動作の選択が必要です。
i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
INSなりわけ	機能番号：05 (☛P152)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「なりわけ」(☛CD-ROM)	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 (☛P152)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「なりわけ」(☛CD-ROM)	次のどちらかを選択する 「識別リンギング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない
発信者番号（i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合のみ）	機能番号：20 (☛P154)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	INSなりわけサービスを契約している電話番号（最大32桁）を入力する

ワンポイント

●INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは1つのアナログポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。

お知らせ

- INSなりわけサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。

お願い

- i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスを契約した電話番号を必ず発信者番号に設定してください。

疑似なりわけ

相手が通知してきた発信者番号を疑似なりわけ番号と照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。

●必要な契約

一般の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

●必要な設定

疑似なりわけを利用するアナログポートごとに、疑似なりわけの設定、なりわけ動作の選択、疑似なりわけ番号の登録が必要です。

アナログポートごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ	機能番号：06 （☛P152）	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」（☛CD-ROM）	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 （☛P152）	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」（☛CD-ROM）	次のどちらかを選択する 「識別リンギング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない

（次ページへ続きます）

特定の相手からかかってきた電話を識別するには（INSなりわけサービス／疑似なりわけ）

(前ページの続きです)

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ番号	機能番号：90～99 (☛P158)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「なりわけ」(☛CD-ROM)	識別する電話番号（最大32桁）を市外局番から入力する サブアドレス（最大19桁）も登録できる

ワンポイント

●相手が発信者番号を通知しないでかけてきたときは

疑似なりわけを設定していても、電話番号の識別はできません。なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リンギング	セキュリティ（着信拒否）
通常の着信音が鳴る（プルルル、プルルル…）	電話を受け付けない

●INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは、1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは、1つのポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。

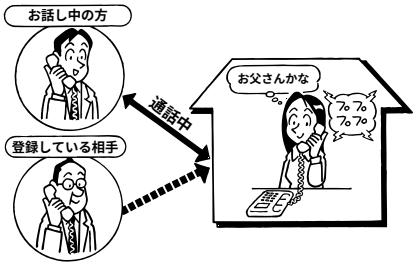
お知らせ

●「110」、「118」、「119」を疑似なりわけ番号として登録しても、設定は無効になります。着信音を変えたり、着信を拒否することはできません。
●アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。
●疑似なりわけ番号にサブアドレスを登録したときは、疑似なりわけ番号と、INSネット64から送られてくる発信者番号／サブアドレスが一致すると識別されます。

お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには（通信中着信識別通知）

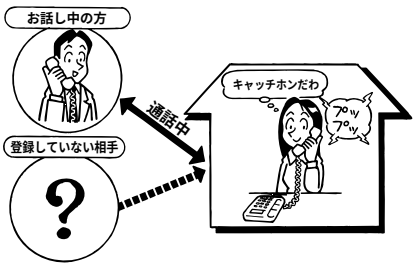
なりわけ（INSなりわけサービスまたは疑似なりわけ）と、キャッチホン（INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン）の機能を組み合わせて利用することができます。
外線または内線でお話し中に、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたとき、通常とは異なるキャッチホン着信音（ププ、ププ…）でお知らせします。

お話し中に、特定の相手からかかってきたとき



通常と異なるキャッチホン着信音（ププ、ププ…）で知らせてくれる

お話し中に、その他の相手からかかってきたとき



通常のキャッチホン着信音（プップッ、プップッ…）で知らせてくれる

●必要な契約

INSなりわけサービスとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約（有料）が必要です。
INSなりわけサービスと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。
疑似なりわけとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、INSキャッチホンの契約（有料）が必要です。

●必要な設定

「なりわけ」と「キャッチホン」の設定を行います。なりわけ動作の設定は「識別リンギング」を選択してください。
INSキャッチホン／疑似キャッチホン（☛P88、89）
INSなりわけサービス／疑似なりわけ（☛P92、93）
TELで設定（☛P150、152、158）
PCで設定（☛CD-ROM「参考情報」）

ワンポイント

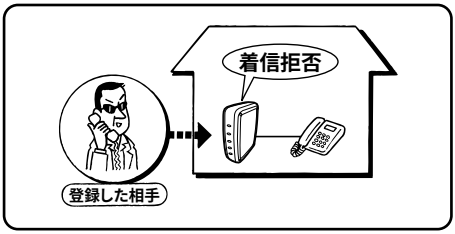
●お話し中に、登録していない相手から電話がかかってきたときは
なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リンギング	セキュリティ（着信拒否）
通常のキャッチホンでお知らせする（プップッ、プップッ…）	電話を受け付けない

特定の相手からかかってきた電話の着信を拒否するには（迷惑電話防止）

¥ 設定

着信履歴に残っている相手の電話番号を迷惑電話番号として登録すると、相手が通知してきた発信者番号と照合して、一致したときは自動的に拒否することができます。このとき、相手には話中音が聞こえます。
迷惑電話番号は、最大20件まで登録できます。電話番号が通知されない「非通知」の電話を拒否することもできます。



●必要な契約
番号を通知してくるのは、INSネット64、携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般の電話回線からかかってくる迷惑電話を防止するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

●必要な設定
迷惑電話を切った直後にその番号を登録する方法、あらかじめ迷惑電話番号を登録しておく方法があります。また、非通知の電話を着信拒否するかどうかを設定することもできます。

迷惑電話を切った直後に設定する

迷惑電話を切った直後に電話機で以下の操作を行うと、直前の電話の相手の番号が迷惑電話番号として登録され、迷惑電話防止をセットすることができます。
キャッチホン（☛P88）で、お話し中にかかってきた電話に出た場合は、迷惑電話番号として登録できません。

TELで設定

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→フッキング→✱→✱①⑧④（「プップッ」という確認音が聞こえ、設定されます）→ハンドセットを置く

あらかじめ設定しておく

迷惑電話番号をあらかじめ設定しておくときは、以下の操作を行います。

TELで設定 （☛P146）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→✱✱✱→⓪→⑥⑦→✱→電話番号（最大32桁）→#→ハンドセットを置く

PCで設定

機　能	PCで設定（☛CD-ROM）	設定内容
迷惑電話防止　電話番号	TEL1・2ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	［着信履歴］の［この番号を登録］をクリックして電話番号を登録する

ワンポイント

● 迷惑電話番号を解除するには

迷惑電話番号を解除すると、登録している電話番号すべてがクリアされます。

TELで設定 ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱ → 0 → 6 7 → ✱ → # →ハンドセットを置く

PCで設定 TEL1・2ポート共通設定画面「迷惑電話防止」（☛CD-ROM「参考情報」）

お知らせ

- 迷惑電話防止機能を便利に利用するためには、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- もう一方のアナログポートに接続した電話機で設定を行っているときは、迷惑電話番号を登録することはできません。
- データポートへの着信に対して、着信拒否を設定することはできません。
- 「110」、「118」、「119」を迷惑電話防止電話番号として登録しても、設定は無効になります。着信を拒否することはできません。

非通知の着信拒否を設定する

電話番号が通知されない着信を拒否することができます。

TELで設定 （☛P146）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱ → 0 → 6 6 → ✱ → 0 → # →ハンドセットを置く

PCで設定

機　能	PCで設定（☛CD-ROM）	設定内容
非通知拒否	TEL1・2ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	非通知の着信拒否をする場合は、「拒否する」をチェックする

お知らせ

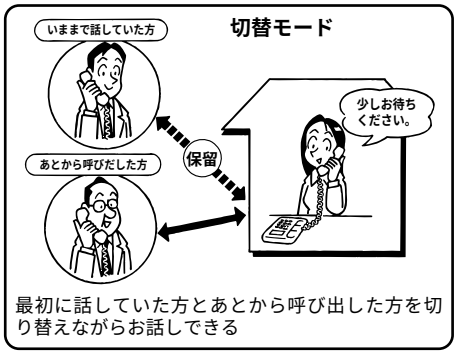
- 非通知拒否を「拒否する」に設定すると、次の着信を拒否します。
  - ・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合に一般の電話回線から着信したとき
  - ・公衆電話からかかってきたとき
  - ・相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
  - ・INSナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

3人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）

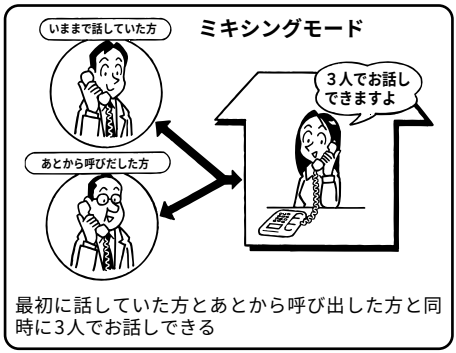
外の相手とお話し中に、お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しすることができます。
フレックスホンの三者通話、疑似三者通話の2つの方法があります。

フレックスホン三者通話（切替モード／ミキシングモード）

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しできます。ほかのポートを使用中でも、三者通話ができます。
最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に3人でお話しする「ミキシングモード」があります。



最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しできる



最初に話していた方とあとから呼び出した方と同時に3人でお話しできる

●必要な契約

フレックスホンの三者通話機能の契約（有料）が必要です。

●必要な設定

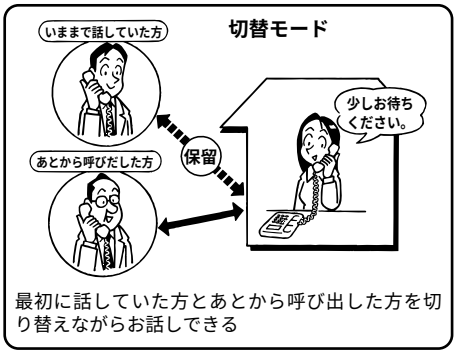
三者通話の設定が必要です。

機　能	TELで設定（☛P144）	PCで設定（☛CD-ROM）	設定内容
三者通話	機能番号：50	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「三者通話する」を選択する

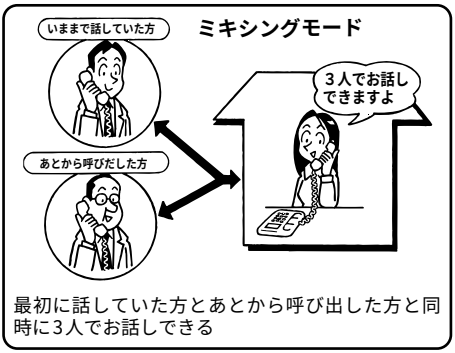
疑似三者通話（切替モード／ミキシングモード）

設定

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しできます。ほかのポートが空いているときに三者通話ができます。
最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、3人同時にお話しする「ミキシングモード」があります。



最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しできる



最初に話していた方とあとから呼び出した方と同時に3人でお話しできる

●必要な設定

疑似三者通話の設定が必要です。

機　能	TELで設定（☞P144）	PCで設定（☞CD-ROM）	設定内容
三者通話	機能番号：50	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「疑似三者通話する」を選択する

（次ページへ続きます）

3人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）

(前ページの続きです)

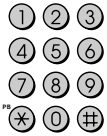
相手を切り替えてお話しする（切替モード）

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。

2 別の相手の電話番号を押す。



最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに ＃ ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
疑似三者通話の場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
フレックスホン三者通話の場合、最初に話していた方には、保留メロディが流れます。

3 相手が出たら、お話しする。

4 お話しする相手を切り替えるには、フッキングする。

フレックスホン三者通話の場合、「プップップッ…」という発信音が聞こえたあと、約4秒後に別の相手に切り替わります。（話者切替タイマ）

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

3人で同時にお話しする（ミキシングモード）

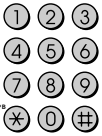
フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。

2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに ＃ ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）

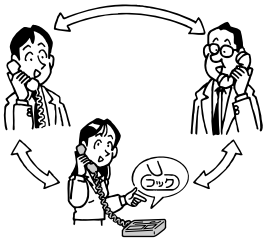


3 相手が出たら、三者通話にすることを伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。
4秒以内に手順4の操作を行ってください。約4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイマ）

4 1回フッキングする。

最初に話していた方とつながり、3人でお話しできます。
お話し中に一方が電話を切っても、もう一方との通話は継続できます。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

（次ページへ続きます）

3人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）

(前ページの続きです)

ワンポイント

● 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TEL で設定（機能番号：74）（☛P148）

PC で設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● ㊋ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを㊋ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。

TEL で設定（機能番号：75）（☛P148）

PC で設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● フッキングとは（☛P85）

● 相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TEL で設定（機能番号：72）（☛P146）

PC で設定（TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 三者通話のモードを変えるには

次の操作でモードを変えることができます。

- 切替モードからミキシングモードへ
  1対1でお話し中にフッキングして、「プップップッ…」という音が聞こえたら、もう一度フッキングします。
- ミキシングモードから切替モードへ
  3人でお話し中にフッキングします。「プップップッ…」という音が聞こえたあと、前の相手に切り替わります。

● 三者通話（切替モード）中にハンドセットを置くと

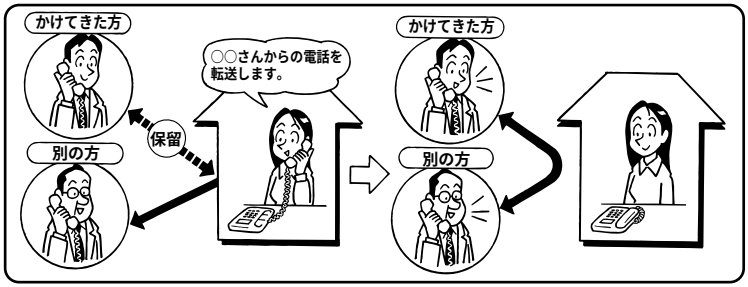
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話しできます。

お知らせ

- 三者通話の料金は、それぞれの発信を行った方に通話料金がかかります。
- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（☛P18）の三者通話をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 三者通話（ミキシングモード）中にハンドセットを置くと、両方の相手との電話が切れます。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、㊋ボタンによる発信はできません。
- ミキシングモードから切替モードにするためにフッキングすると、「プップップッ…」という音が聞こえます。このとき、ハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるとミキシングモードに戻りますが、フレックスホンの三者通話をご利用の場合に、通信中転送（☛P103）の設定が「使用する」になっているときは、電話が転送される場合があります。
- 疑似三者通話と通信中転送（☛P103）を同時に設定した場合は、通信中転送が優先され、疑似三者通話（ミキシングモード）はご利用になれない場合があります。
- 疑似三者通話はBチャネル2本を同時に使用するため、以下の制限があります。
  - 2つのアナログポートで同時に利用できません。
  - Bチャネル2本を同時に利用しているときは利用できません。
  - お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）

外の相手からかかってきた電話を保留にして、別の電話番号へ転送することができます。
あとから呼び出した方が応答する前に転送する方法、応答してから転送する方法があります。



●必要な契約
フレックスホンの通信中転送（有料）の契約が必要です。

●必要な設定
通信中転送の設定が必要です。

機　能	TELで設定（☞P144）	PCで設定（☞CD-ROM）	設定内容
通信中転送	機能番号：51	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「使用する」を設定する

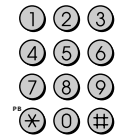
お話し中に転送する

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。

2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに ＃ ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
呼び出した方とお話ししないで転送する場合は、「プルルル、プルルル…」という呼出音が聞こえている間に、ハンドセットを置きます。



（次ページへ続きます）

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）

(前ページの続きです)

3 相手が出たら、転送することを伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。4秒以内に手順4の操作を行ってください。4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイマ）

4 ハンドセットを置く。

転送が完了しました。

ワンポイント

● フッキングとは（☛P85）

● 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：74）（☛P148）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● ㊋ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを㊋ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定（機能番号：75）（☛P148）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：72）（☛P146）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 通信中転送を中止するには

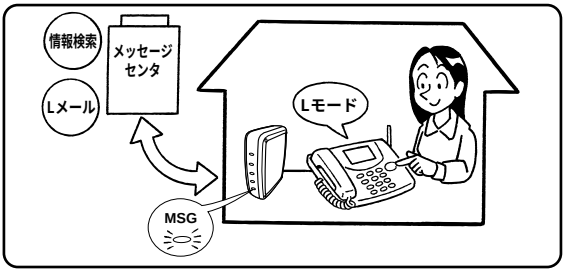
ハンドセットを置きます。着信音が鳴るので、もう一度ハンドセットを取りあげると、最初に話していた方とお話しできます。

お知らせ

- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（☛P18）の通信中転送をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- こちらからかけた電話を転送することはできません。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- 通信中転送と疑似三者通話（☛P99）を同時に設定した場合は、疑似三者通話（ミキシングモード）はご利用になれない場合があります。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、㊋ボタンによる発信はできません。

Lモードを利用するには

本商品は、Lモードに対応した電話機を接続してご利用になれます。Lメールがセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ通信機器のディスプレイに表示させたり、本商品のMSGランプを点灯させたりすることができます。



●必要な契約

Lモードの契約（有料）が必要です。

●必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。
また、Lモードをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。
Lモードに対応したアナログ通信機器が必要です。

・本商品のMSGランプを点灯させる場合

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定（Lモード関連）	機能番号：76（☛P148）	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」（☛CD-ROM）	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20（☛P154）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信･着信1」（☛CD-ROM）	Lモードを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知（Lモード関連）	機能番号：09（☛P152）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「メッセージあり情報通知する」を設定する
発信者番号	機能番号：20（☛P154）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信･着信1」（☛CD-ROM）	Lモードを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01（☛P150）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信･着信2」（☛CD-ROM）	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する

（次ページへ続きます）

Lモードを利用するには

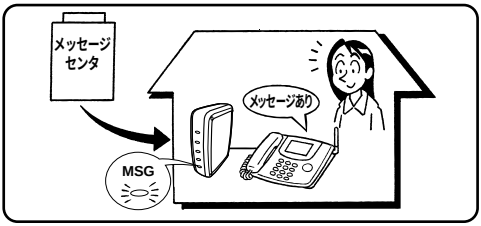
(前ページの続きです)

お知らせ

- メッセージあり情報通知（☛P107）を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- Lモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- Lモードで使用するメッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（☛P126）を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- Lモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- Lモードについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

本商品では、INSネット64のINSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。メッセージがメッセージセンタに届いたときに、本商品のMSGランプを点灯させたり、INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に表示させることができます。



●必要な契約

INSメッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

●必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。
また、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。
INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

・本商品のMSGランプを点灯させる場合

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定（Lモード関連）	機能番号：76（☛P148）	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」（☛CD-ROM）	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20（☛P154）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信･着信1」（☛CD-ROM）	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知（Lモード関連）	機能番号：09（☛P152）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「する」を選択する
発信者番号	機能番号：20（☛P154）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信･着信1」（☛CD-ROM）	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01（☛P150）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信･着信2」（☛CD-ROM）	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する

（次ページへ続きます）

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

(前ページの続きです)

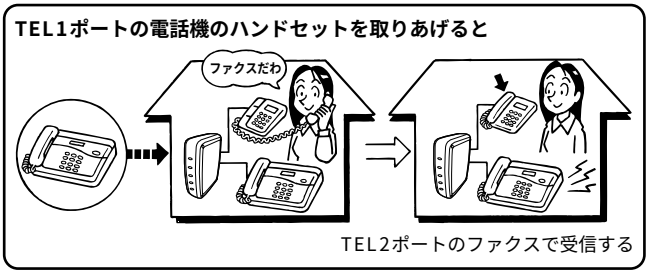
お知らせ

- メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- INSメッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- メッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（☛P126）を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- INSメッセージ到着お知らせサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ファクスを自動転送するには（FAX自動転送）

設定

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートにファクスを接続している場合は、相手がファクスのとき、電話機のハンドセットを取りあげると、自動的にファクスに転送することができます。



●必要な設定

電話機をTEL1ポート、ファクスをTEL2ポートに接続します。
FAX自動転送の設定が必要です。

	TELで設定（☛P146）	PCで設定（☛CD-ROM）	設定内容
FAX自動転送	機能番号：65	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」	「する」を選択する

電話機からファクスへ自動転送する

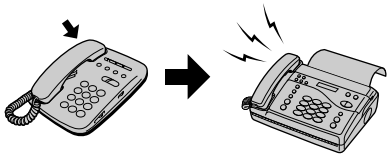
1 電話機の着信音が鳴る。

2 ハンドセットを取りあげる。

相手がファクスのときは、「ポーポー…」という音が聞こえ、TEL2ポートのファクスへ自動転送されます。

3 「プープー…」という話中音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスの着信音が鳴ったあと、ファクスを受信します。



（次ページへ続きます）

ファクスを自動転送するには（FAX自動転送）

設定

(前ページの続きです)

ワンポイント

● ファクスの着信音を鳴らさずに受信するには

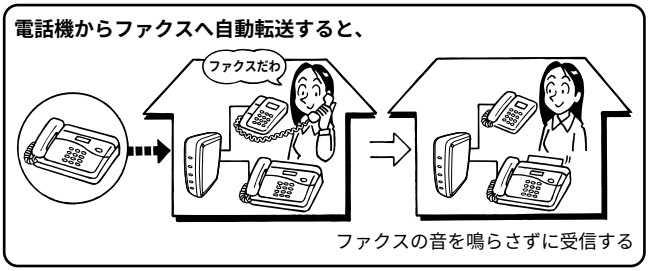
TEL2ポートのFAX無鳴動着信を「する」に設定すると、着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。（☛P111）

お知らせ

- TEL1ポートにファクス、TEL2ポートに電話機を接続した場合、ファクスの自動転送はできません。
- TEL2ポートが使用中の場合、またはTEL1ポートでお話し中にキャッチホンで応答した場合は、自動転送されません。
- 「プープー…」という話中音が聞こえる前にハンドセットを置くと、自動転送されないことがあります。
- TEL2ポートに接続したファクスが約30秒間応答しないと、自動転送を中止して、通信を切断します。このとき、相手には通話料金がかかります。
- TEL2ポートのファクスに自動転送した場合は、転送先のファクスにはナンバー・ディスプレイの発信者番号およびモデムダイヤルインの着信番号は通知されません。
- FAX自動転送を「する」に設定すると、TEL2ポートではキャッチホンはご利用になれません。
- 相手がファクス以外でも、相手先の音声の状態により、まれに自動転送されることがあります。
- 相手からファクス信号が送られていても、まれに自動転送されないことがあります。この場合は、内線転送による手動転送を行ってください。（☛P82）

着信音を鳴らさずにファクスを受信するには　（FAX無鳴動着信）設定

無鳴動信号1300 Hz対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。
この機能をご利用になるには、FAX自動転送または接続機器の設定が必要です。



●必要な設定

アナログポートごとにFAX無鳴動着信の設定が必要です。
無鳴動信号1300 Hzを受信できるファクスが必要です。詳しくはファクスの取扱説明書でご確認ください。
FAX無鳴動着信は、次の場合にご利用になれます。

- FAX自動転送（☛P109）を設定し、TEL2ポートのファクスに自動転送したとき
  FAX無鳴動着信、FAX自動転送の設定が必要です。
- HLC設定（高位レイヤ整合性）を「しない」に設定しているとき、および接続機器の設定を「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」、HLC設定（高位レイヤ整合性）を「する」に設定している場合に、高位レイヤ整合性をG2／G3ファクスに設定した通信機器から着信したとき（☛CD-ROM「参考情報」）
  FAX無鳴動着信、接続機器の設定が必要です。

■ 設定例

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートに無鳴動信号1300 Hz対応のファクスを接続し、ファクスの着信音を鳴らさずに自動転送する場合

FAX自動転送の設定を行います。（☛P109）
TEL2ポートにFAX無鳴動着信の設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
FAX無鳴動着信	機能番号：29（☛P156）	TEL2ポート設定画面「その他」（☛CD-ROM）	「FAX無鳴動着信する」を設定する
FAX自動転送	機能番号：65（☛P146）	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」（☛CD-ROM）	「FAX自動転送」を設定する

お知らせ

●次のような場合は、接続機器の設定によってFAX無鳴動着信を利用することはできません。FAX自動転送によってご利用になることはできます。

- 相手が一般の電話回線からファクスを送信したとき
- 相手の高位レイヤ整合性の設定がG2／G3ファクス以外のとき
- 本商品の接続機器の設定が「電話機」で、かつHLC設定が「する」に設定されているとき

発信者番号の通知について

設定

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INSネット64のご契約者間、一般の電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機との通信でご利用になれます。

■ 通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。
サブアドレスを設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（☛P130）
i・ナンバーやダイヤルインをご利用の場合など、発信者番号を設定しているときはその番号が通知されます。（☛P154、CD-ROM「参考情報」）

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INSネット64ご契約時の内容、本商品の発信者番号通知の設定、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

●INSネット64ご契約時の内容
INSネット64のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

●発信者番号通知の設定
ポートごとに「通知する」、「通知しない」、「INSネット64申込内容に従う」を設定することができます。お買い求め時は、各ポートとも「INSネット64申込内容に従う」に設定されています。

●発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	本商品の設定	ダイヤル操作		
		相手番号（通常の操作）	184＋相手番号	186＋相手番号
通常通知（通話ごと非通知）	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INSネット64申込内容に従う	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INSネット64申込内容に従う	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

●設定の変更

ポートごとに、発信者番号通知の設定を変更することができます。

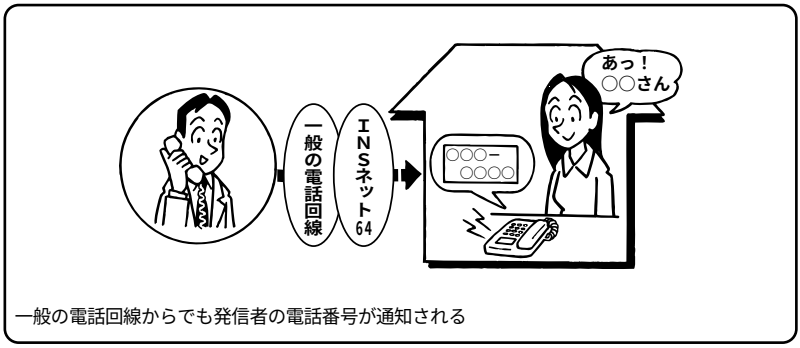
機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号通知	機能番号：21 （☛P154）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」（☛CD-ROM） データポート設定画面「発信・着信」（☛CD-ROM）	次のいずれかを選択する 「通知する」：発信者番号を通知する 「通知しない」：発信者番号を通知しない 「INSネット64申込内容に従う」：INSネット64の契約時の内容（「通常通知」または「通常非通知」）に従って通知する

お知らせ

- 発信者番号通知を「通知する」または「通知しない」に設定し、i・ナンバー（☛P122）を「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号を正しく設定してください。
  - TELで設定（機能番号：20）（☛P154）
  - PCで設定（☛CD-ROM「参考情報」）
- 発信者番号の設定をしなかったり、間違えて設定した場合は、契約者回線番号が通知されます。ただし、i・ナンバー（☛P122）を「使用する」に設定した場合は、発信者番号の設定をしないと、発信ポート番号指定で選択したi・ナンバー情報に対応する電話番号が通知されます。

一般回線からの電話番号も表示するには（INSナンバー・ディスプレイ）

一般の電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



一般の電話回線からでも発信者の電話番号が通知される

●必要な契約

INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。
相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、このサービスを契約していなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。

●必要な設定

アナログポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

INSナンバー・ディスプレイを設定する

TELで設定 （☛P152）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→設定するTELポートの番号（①または②）→①⓪→✱→①→＃→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P50、62）

ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合はナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TEL で設定（機能番号：11）（☞P152）

お知らせ

- INSナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者番号は通知されません。

（次ページへ続きます）

一般回線からの電話番号も表示するには（INSナンバー・ディスプレイ）

(前ページの続きです)

■ 相手の電話番号が通知されない理由（非通知理由）

次の場合は、電話番号は通知されずに非通知理由が通知されます。

- 公衆電話からかかってきたとき
- 相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
- INSナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

電話番号が通知されないときにメッセージで応答する（INSナンバー・リクエスト）

電話番号を通知しないでかけてきた相手に、「こちらは○○○です。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」と音声で伝えることができます。この場合、電話機の着信音は鳴りません。

●必要な契約

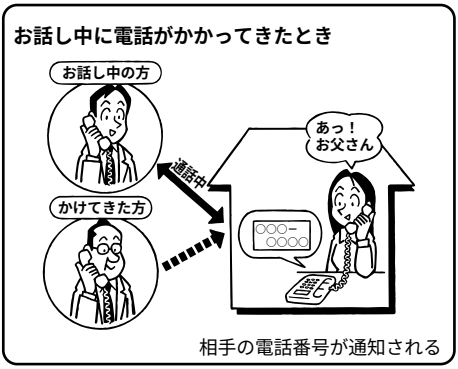
INSナンバー・リクエストの契約（有料）が必要です。ただし、INSナンバー・ディスプレイを契約している場合のみお申し込みいただけます。

●必要な設定

INSナンバー・リクエストをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

キャッチホンと組み合わせて利用する（キャッチホン・ディスプレイ）

INSナンバー・ディスプレイと、キャッチホン（INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン）の機能を組み合わせて利用することができます。
外の相手とお話し中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号または非通知理由を表示させることができます。



●必要な契約

INSナンバー・ディスプレイとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約（有料）が必要です。
INSナンバー・ディスプレイと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。
相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、キャッチホン・ディスプレイをご利用になれます。

●必要な設定

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機、ファクスが必要です。
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、キャッチホンの設定、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10（☛P152）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
キャッチホン	機能番号：02（☛P150）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「INSキャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択する
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：25（☛P156）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する

ワンポイント

●サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

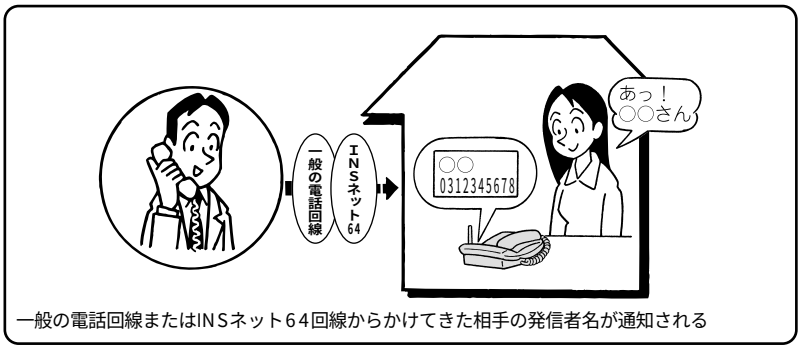
TELで設定（機能番号：26）（☛P156）

お知らせ

- INSナンバー・リクエストについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「プップッ、プップッ…」という音に加えて、「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話し中の音が重なると、電話番号などの表示ができないことがあります。また、1秒程度、通話が途切れます。

電話をかけてきた相手の名前を表示するには（ネーム・ディスプレイ）

本商品では、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであるネーム・ディスプレイをご利用になれます。電話がかかってくると、ネーム・ディスプレイに対応したアナログ通信機器に、電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。
表示される発信者名は、かけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名前になります。



一般の電話回線またはINSネット64回線からかけてきた相手の発信者名が通知される

●必要な契約
INSナンバー・ディスプレイ（有料）と、ネーム・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

●必要な設定
アナログポートに、ネーム・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10（☛P152）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	機能番号：88（☛P158）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	「ネーム・ディスプレイ発信者名通知する」を設定する

ワンポイント

● **キャッチホン・ディスプレイ（☞P116）と組み合わせて利用すると**
外の相手とお話し中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。

お知らせ

- アナログ通信機器によっては、発信者名などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者名は通知されません。
- ネーム・ディスプレイは、2002年7月サービス提供予定です。本商品のネーム・ディスプレイ関連機能は、サービス提供開始後にご利用になれます。
- ネーム・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

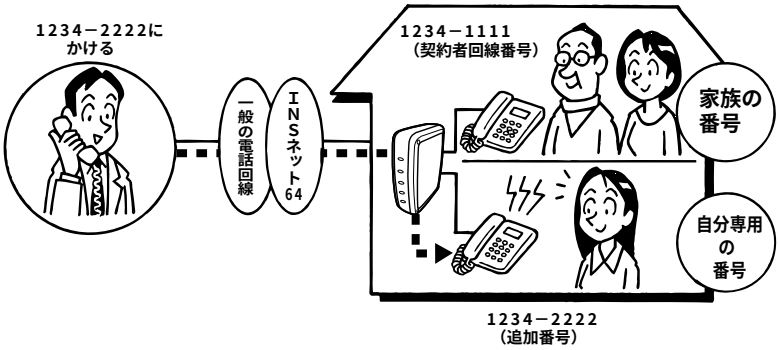
呼び分けのいろいろな方法

アナログポートに複数の機器を接続しているときは、いろいろな方法で呼び分けることができます。

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分ける（☞P122）

¥ 設定

1回線で2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話番号ごとにポートを呼び分けることができます。



ダイヤルインで複数の電話番号を使い分ける（☞P124）

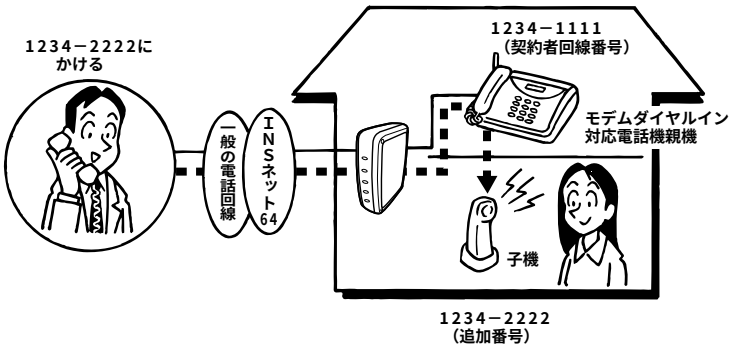
¥ 設定

i・ナンバーと同様に、契約者回線番号のほかに追加番号を持つことができます。3つより多くの電話番号を使い分けたいとき、通信機器ごとに電話番号を使い分けたいときなどは、ダイヤルインを契約します。

1台のアナログ機器で電話番号を使い分ける（☞P126）

¥ 設定

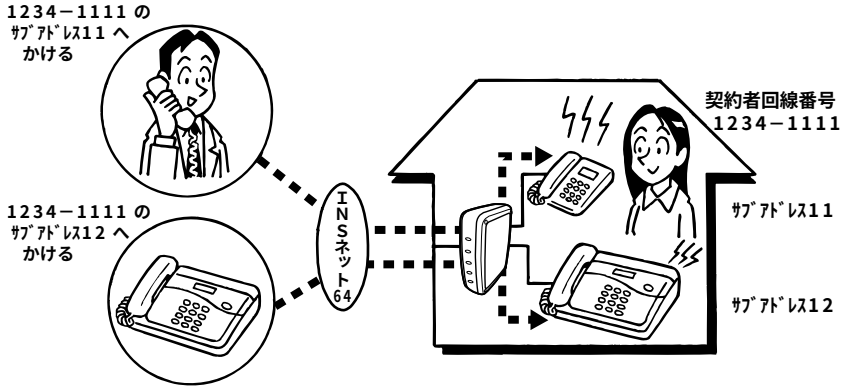
i・ナンバーまたはダイヤルインをご利用の場合、アナログポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の機器で複数の電話番号を使い分けることができます。



サブアドレスを指定して呼び分ける（☞P130）

設定

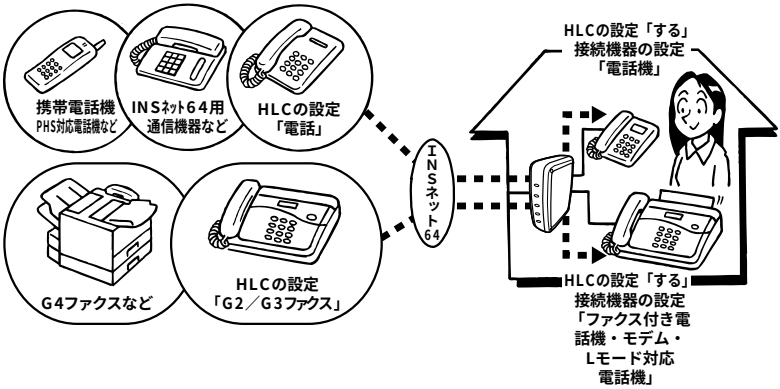
電話をかけるときにサブアドレスを続けてダイヤルすることによって、そのアナログポートを呼び出すことができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



HLCの設定で呼び分ける（☞P131）

設定

INSネット64からの着信は、相手のHLC（高位レイヤ整合性）の設定と一致したアナログポートだけに着信するので、1つの電話番号で呼び分けることができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには　（i・ナンバー）

i・ナンバーをご契約になると、2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けることができます。

●必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

●必要な設定

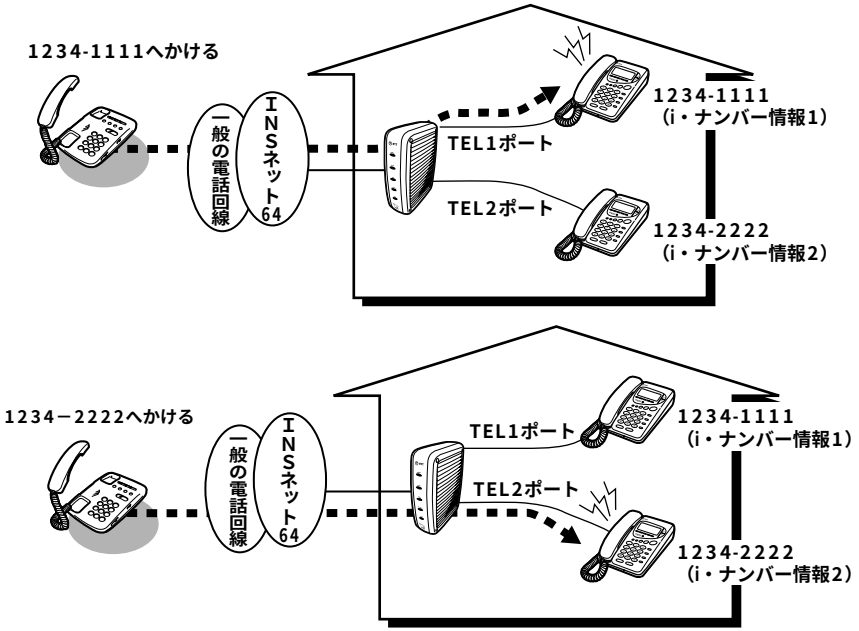
i・ナンバーを「使用する」に設定して、i・ナンバー電話番号を登録します。1つめの電話番号（契約者回線番号）が　i・ナンバー情報1、2つめの電話番号（追加番号）が　i・ナンバー情報2、3つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報3となります。

お買い求め時は、1つめの電話番号はTEL1ポート、2つめの追加番号はTEL2ポートに着信するように設定されています（3つめの追加番号に電話がかかってきた場合には着信しません）。着信するポートを変更するには、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定の変更が必要です。

i・ナンバーを設定する

■設定例

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信させる場合



TELで設定 (☛P150、154)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

●i・ナンバーを「使用する」に設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 8 3 → ✱ → 1 → # →ハンドセットを置く

●i・ナンバー情報1の電話番号を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 8 4 → ✱ →契約者回線番号（例：12341111）→ # →ハンドセットを置く

●i・ナンバー情報2の電話番号を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 8 5 → ✱ →追加番号（例：12342222）→ # →ハンドセットを置く

●TEL1ポートの発信者番号を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 1 → 2 0 → ✱ →契約者回線番号（例：12341111）→ # →ハンドセットを置く

●TEL2ポートの発信者番号を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 2 → 2 0 → ✱ →追加番号（例：12342222）→ # →ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(☛P50、62)
また、設定ユーティリティの「i・ナンバー設定」で、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定を個別に設定することができます。(☛CD-ROM「参考情報」)

ワンポイント

●親機と子機で番号を使い分けるには
モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、 i・ナンバーを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(☛P126)

お知らせ

●i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

お願い

●発信者番号は正しく設定してください。i・ナンバー使用時に相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（☛P112）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。
TELで設定（機能番号：20）（☛P154）　PCで設定（☛CD-ROM「参考情報」）

ダイヤルイン／グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには （ダイヤルイン／グローバル着信）

ダイヤルインをご契約になると、アナログポートに接続した電話機やファクスで複数の電話番号を使い分けることができます。TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれに、最大8個の電話番号を設定することができます。

●必要な契約

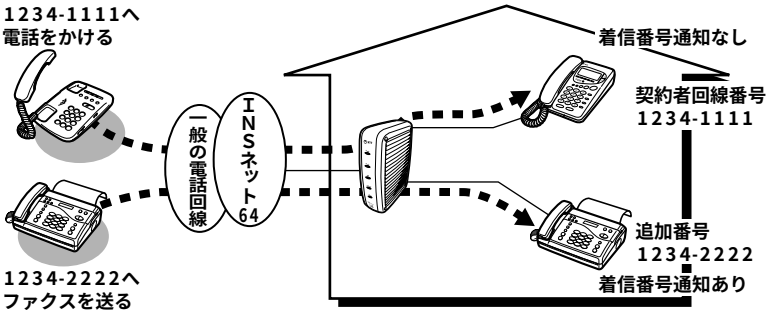
ダイヤルインの契約（有料）が必要です。
INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号（追加番号が1つであれば2つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

●必要な設定

発信者番号の設定、着信する番号の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合は、グローバル着信選択の設定が必要です。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信させる場合



機　能	TELで設定	設定内容
グローバル着信	機能番号：03 （☛P150）	TEL1ポートは「グローバル着信する」に設定する TEL2ポートは「グローバル着信しない」に設定する
発信者番号	機能番号：20 （☛P154）	TEL1ポートは契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2ポートは追加番号（1234-2222）を入力する
着信する番号	機能番号：30～37 （☛P156）	TEL1ポートの着信する番号0に契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2ポートの着信する番号0に追加番号（1234-2222）を入力する

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P50、62）
ダイヤルインの追加番号が3個以上の場合は、設定ユーティリティで設定します。（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」）（☛CD-ROM「参考情報」）

ワンポイント

● グローバル着信とは
契約者回線番号への着信時に、契約者回線番号を通知しない機能です。グローバル着信を契約すると、通常は契約者回線番号に電話がかかってきたとき、すべてのアナログ通信機器の着信音が鳴りますが、本商品は、グローバル着信選択の設定により、着信するかどうかを選択できます。このため、追加番号を1つ契約するだけで2台のアナログ通信機器を呼び分けることができます。

● グローバル着信を利用しないときは
グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

● 1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには
モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、ダイヤルインを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。（☛P128）

お知らせ

- ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン、グローバル着信はご利用になれません。

お願い

- 発信者番号は正しく設定してください。相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（☛P112）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。
  TELで設定（機能番号：20）（☛P154）
  PCで設定（☛CD-ROM「参考情報」）

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには　（モデムダイヤルイン）

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、電話番号を使い分けることができます。コードレス電話機の親機と子機で番号を使い分けたり、ファクス付き電話機で電話とファクスの番号を使い分けたりすることができます。
この機能をご利用になるには、i・ナンバーまたはダイヤルインの契約が必要です。

i・ナンバーを利用する場合

●必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

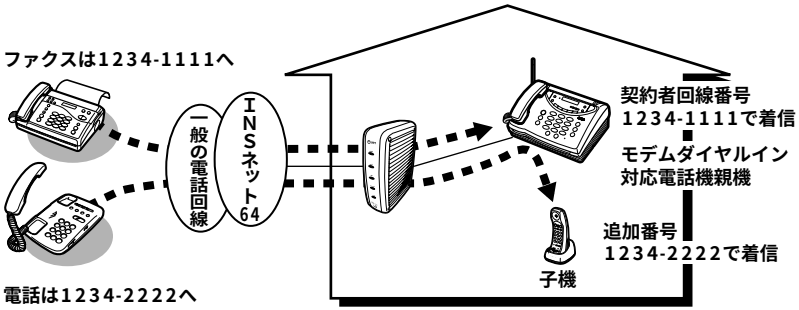
●必要な設定

i・ナンバーの設定、i・ナンバー電話番号の設定、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。
モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から、同じ発信者番号が通知されるように、発信者番号の設定も必要です。
また、モデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（☛P150、CD-ROM「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。

■設定例

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
i・ナンバー	機能番号：83 （☛P150）	i・ナンバー設定画面 （☛CD-ROM）	「使用する」を選択する
i・ナンバー 電話番号 i・ナンバー 情報1	機能番号：84 （☛P150）	i・ナンバー設定画面 （☛CD-ROM）	契約者回線番号（1234-1111）を入力する
i・ナンバー 電話番号 i・ナンバー 情報2	機能番号：85 （☛P150）	i・ナンバー設定画面 （☛CD-ROM）	追加番号（1234-2222）を入力する
i・ナンバー 着信設定	機能番号：24 （☛P156）	i・ナンバー設定画面 （☛CD-ROM）	TEL1ポートのみ i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2着信可
発信ポート 番号指定	機能番号：23 （☛P154）	i・ナンバー設定画面 （☛CD-ROM）	TEL1ポートに i・ナンバー情報1を設定する
発信者番号	機能番号：20 （☛P154）	TEL1ポート設定画面 「発信・着信1」 （☛CD-ROM）	TEL1ポートの発信者番号として、契約者回線番号（1234-1111）または追加番号（1234-2222）を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号：12 （☛P152）	TEL1ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	TEL1ポートは「する」に設定する

●このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（☛P150、CD-ROM「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。

（次ページへ続きます）

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには　（モデムダイヤルイン）

(前ページの続きです)

ダイヤルインを利用する場合

●必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。
INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号（追加番号が1つであれば2つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

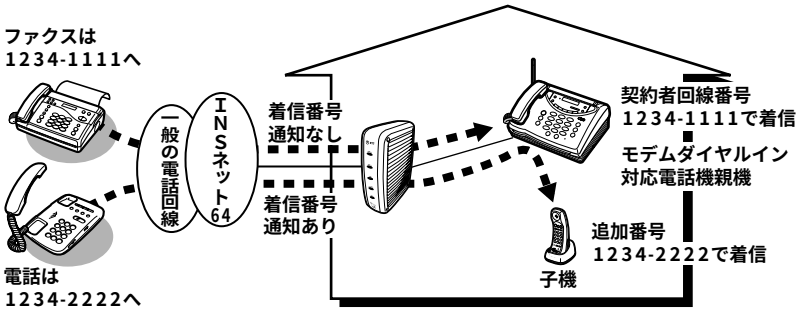
●必要な設定

モデムダイヤルイン用契約者回線番号の設定、着信する番号の設定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合はグローバル着信選択の設定が必要です。
また、モデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
モデムダイヤルイン用契約者回線番号	機能番号：61（☛P146）	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」（☛CD-ROM）	契約者回線番号（1234-1111）を入力する
グローバル着信	機能番号：03（☛P150）	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」（☛CD-ROM）	TEL1ポートは「グローバル着信する」を設定する
着信する番号	機能番号：30～37（☛P156）	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」（☛CD-ROM）	TEL1ポートの着信する番号0に追加番号（1234-2222）を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号：12（☛P152）	TEL1ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛CD-ROM）	TEL1ポートは「する」を設定する

●このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

ワンポイント

● モデムダイヤルインとは

受信した追加番号をモデム信号に変換して、電話機などに送る機能です。モデムダイヤルイン対応の電話機に登録されている追加番号に応じて、該当する機器（親機または子機）で着信します。

● モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレスを通知するには

モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレス受信機能がある場合は、モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、サブアドレスを通知することができます。

TELで設定（機能番号：13）（☛P152）

● グローバル着信を利用しないときは

グローバル着信の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

お知らせ

●外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、ダイヤルインの追加番号またはi・ナンバー電話番号は、アナログ通信機器に通知されません。
●モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知（☛P105、107）を同時に利用することはできません。

お願い

● i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ず i・ナンバー電話番号も設定してください。i・ナンバー電話番号を設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。
●ダイヤルイン、グローバル着信をご利用の場合は、必ずモデムダイヤルイン用契約者回線番号を市内局番から設定してください。設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。

サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには（サブアドレス）

設定

サブアドレスを設定すると、相手が電話をかけるとき、電話番号に続けてサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機やファクスを直接呼び出すことができます。
サブアドレスは、相手がINSネット64に加入している場合のみ利用できます。通知されたサブアドレスと、本商品のサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。

●必要な設定

お買い求め時は、各ポートのサブアドレスは設定されていません。サブアドレスを利用するには、各ポートにサブアドレスを設定する必要があります。
お買い求め時は、相手がサブアドレスを付けなくても着信するように設定されています。サブアドレスなしの着信を受けないようにするには、サブアドレスなし着信の設定を「着信しない」にします。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
サブアドレス	機能番号：38 （☛P156）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」（☛CD-ROM） データポート設定画面「発信・着信」（☛CD-ROM）	ポートごとに任意の番号（最大19桁）を入力する
サブアドレスなし着信（サブアドレスなしの着信を受け付けない場合）	機能番号：04 （☛P152）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」（☛CD-ROM） データポート設定画面「発信・着信」（☛CD-ROM）	サブアドレスなしの着信を受け付けない場合は、「サブアドレス着信しない」を設定する

ワンポイント

●相手が一般の電話回線からかけてきたときは

サブアドレスを指定できない一般の電話回線からの着信は、サブアドレスを設定していても受けることができます。サブアドレスによる呼び分けはできません。

お知らせ

●サブアドレスなし着信を「着信しない」に設定すると、一般の電話回線からの着信やサブアドレスのない着信は受けられません。

HLCの設定で呼び分けるには（HLC・接続機器設定）

設定

接続機器の設定に加えて、HLC設定をすることで電話機とファクスを呼び分けることができます。
相手のHLCの設定と一致したアナログポートに着信するので、同じ電話番号で呼び分けることができます。この機能は、相手がINSネット64から発信した場合、携帯電話機やPHS対応電話機から発信した場合にご利用になれます。

●必要な設定

アナログポートごとに、HLC設定、接続機器設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
HLC設定	機能番号：39 （☛P156）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」 （☛CD-ROM）	HLC設定を「する」に設定する
接続機器設定	機能番号：01 （☛P150）	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」 （☛CD-ROM）	TEL1ポート、TEL2ポートに接続する機器に合わせてどちらかを選択する 「電話機」 ：HLC設定が「電話」の相手からの着信を受ける 「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」 ：HLC設定が「G2／G3ファクス」の相手からの着信を受ける

ワンポイント

●相手が一般の電話回線からかけてきたときは
一般の電話回線からの着信は、HLCが設定されていません。HLCの設定による呼び分けはできません。

●HLCの設定の違いにより着信できないときは
HLCの設定が異なるポートには着信しません。この場合は、HLCの設定を「しない」に設定してください。

お知らせ

●アナログポートにファクス付き電話機を接続したときは、相手が電話でもファクスでも着信を受けられるようにHLCの設定を「しない」にしてください。

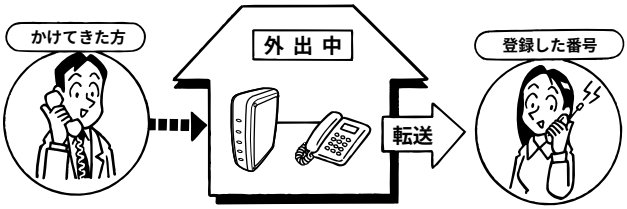
電話に出られないときのいろいろな方法

かかってきた電話に出られないときは、ほかの電話に転送したり、相手にメッセージを録音していただいたりすることができます。

着信転送で指定した番号へ転送する（☞P134）

¥ 設定

フレックスホンの着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。電話をかけてきた方と、転送先の方に、転送していることを知らせるアナウンスを流すことができます。



疑似着信転送で指定した番号へ転送する（☞P134）

設定

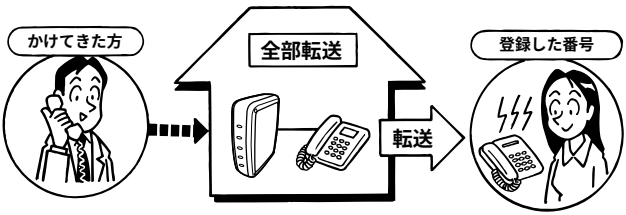
疑似着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。すべてのポートが空いているときだけ利用できます。

INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトで条件を指定して転送する（☞P139）

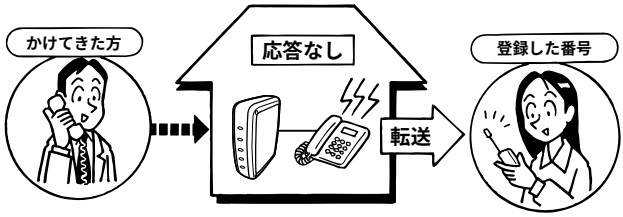
¥ 設定

かかってきた電話を無条件で転送する、設定した時間内に応答できなければ転送する、2つのポートを使用中に転送するの3つの中から、条件を選択して転送します。転送先は5か所まで登録できます。

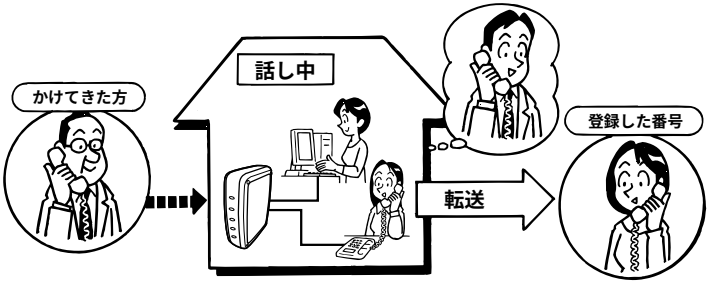
◆無条件転送



◆無応答時転送



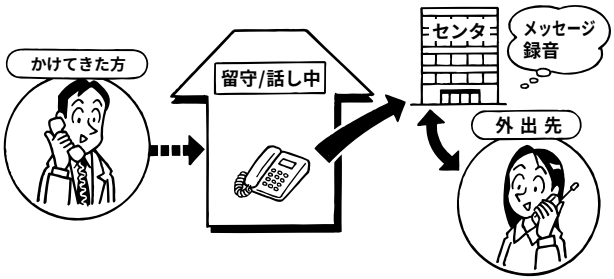
◆話中時転送



INSマジックボックスですべての電話をキャッチする

（☞P141）

お話し中や不在時など、電話に出られないときは、相手に当社のメッセージセンタにメッセージを録音してもらい、あとで聞くことができます。また、あらかじめ登録しておいた電話番号へ転送することもできます。キャッチホンもご利用になれます。



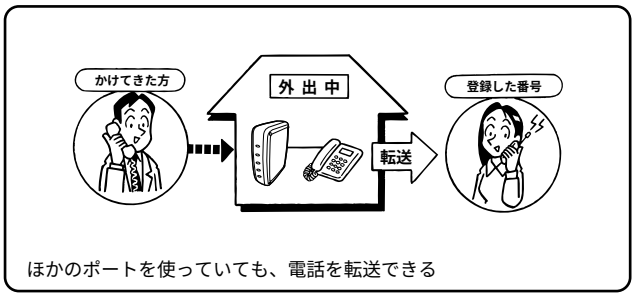
外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）

外からの電話を、あらかじめ登録しておいた別の相手に転送することができます。
フレックスホンの着信転送、疑似着信転送の2つの方法があります。

着信転送（フレックスホン）

¥ 設定

かかってきた電話を転送することができます。
電話をかけてきた相手、転送先の相手に転送することを音声で知らせることができます。（転送トーキ、転送元トーキ）



ほかのポートを使っていても、電話を転送できる

転送中の音声アナウンス（転送トーキ、転送元トーキ）
転送中は、次のような音声アナウンスを流すことができます。音声の内容は、地域によって若干異なる場合があります。

- 電話をかけてきた方へのアナウンス（転送トーキ）
  「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」
- 転送先へのアナウンス（転送元トーキ）
  「電話が転送されてまいりますので、そのままお待ちください。」

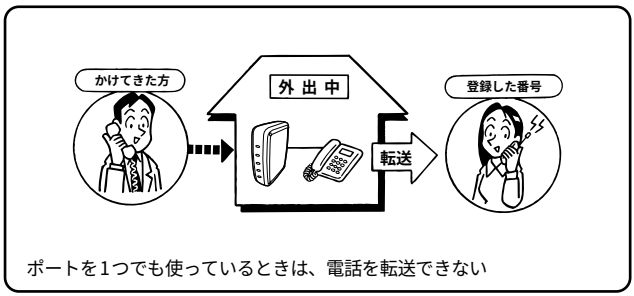
● 必要な契約

フレックスホンの着信転送機能の契約（有料）が必要です。
フレックスホンの他の機能（INSキャッチホン、通信中転送、三者通話）もあわせてご利用になれます。

疑似着信転送

設定

すべてのポートが空いている時に、かかってきた電話を転送することができます。



ポートを1つでも使っているときは、電話を転送できない

着信転送または疑似着信転送を設定する

着信転送の設定、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号の登録が必要です。電話番号は、契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルインの追加番号ごとに設定します。
着信転送（フレックスホン）の場合、転送中に、電話をかけてきた方や転送先へアナウンスを流す場合は、着信転送トーキの設定が必要です。

■ 設定例
契約者回線番号（03-1234-1111）にかかってきた電話を03-XXXX-5555へ転送する場合

TELで設定 **（☞P144、146）**

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

●着信転送または疑似着信転送を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 5 2 → ✱ → 1 または 2（疑似着信転送：1、着信転送：2）→ #→ハンドセットを置く

●着信転送先電話番号（契約者回線番号用）を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 5 4 → ✱ →転送先の電話番号（03-XXXX-5555）→ #→ハンドセットを置く

●着信転送元電話番号（契約者回線番号用）を設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 5 7 → ✱ →転送元の電話番号（03-1234-1111）→ #→ハンドセットを置く

●着信転送（フレックスホン）の場合は着信転送トーキを設定する
ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱→ 0 → 5 3 → ✱ → 0 ～ 3 のいずれか→ #→ハンドセットを置く
0：転送トーキなし、転送元トーキなし
1：転送トーキあり、転送元トーキなし
2：転送トーキなし、転送元トーキあり
3：転送トーキあり、転送元トーキあり

（次ページへ続きます）

外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）

(前ページの続きです)

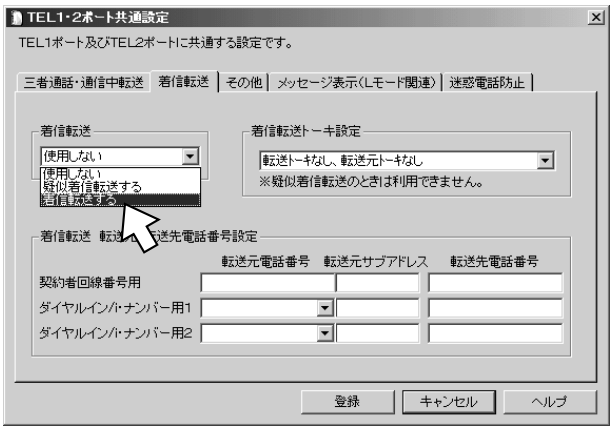
PCで設定 (☛CD-ROM「参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(☛P67、69、70)

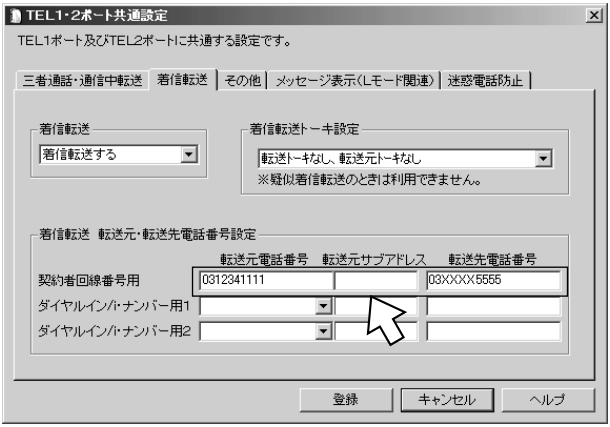
2 [TEL1・2ポート共通設定] をクリックする。

3 [着信転送] をクリックする。

4 [着信転送する] または「疑似着信転送する」を選択する。



5 **契約者回線番号用の転送元電話番号（例：03-1234-1111）、転送先電話番号（例：03-XXXX-5555）を入力する。**



6 **着信転送（フレックスホン）の場合は、着信転送トーキを次のいずれかから設定する。**

- 転送トーキなし、転送元トーキなし
- 転送トーキあり、転送元トーキなし
- 転送トーキなし、転送元トーキあり
- 転送トーキあり、転送元トーキあり

7 **［登録］をクリックする。**

8 **［終了］をクリックする。**

9 **［OK］をクリックする。**

（次ページへ続きます）

外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）

(前ページの続きです)

ワンポイント

●着信転送、疑似着信転送を停止／再開するには

電話機からの操作で、着信転送または疑似着信転送を一時的に停止したり、再開したりすることができます。

- 着信転送または疑似着信転送を停止する
  ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱ 0 5 2 ✱ 0 # を押す
- 着信転送を再開する
  ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱ 0 5 2 ✱ 2 # を押す
- 疑似着信転送を再開する
  ハンドセットを取りあげる→ ✱ ✱ ✱ 0 5 2 ✱ 1 # を押す

●着信転送、疑似着信転送が行われているときは

ACTランプが緑色の点灯と点滅を繰り返します。（☛P25）
ただし、回線に異常がある場合やデータポートで通信している場合は、その表示が優先されます。

お知らせ

- ●フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- ●転送元および転送先の電話番号を登録しないと、転送の設定は無効になります。
- ●転送先としてディスプレイポケットベルの電話番号を登録することはできません。
- ●転送元としてサブアドレスのみを登録することはできません。
- ●転送元に着信があっても、アナログポートに接続した通信機器の着信音は鳴りません。
- ●疑似着信転送では、転送先への通話料金はTEL1ポートに加算されます。
- ●グローバル着信があった場合は、契約者回線番号用の転送元電話番号の設定内容に関係なく、転送先電話番号に転送されます。
- ●ダイヤルインでグローバル着信を利用しない契約をしている場合、契約者回線番号で着信転送するには、ダイヤルイン用1またはダイヤルイン用2の着信転送元電話番号に契約者回線番号を設定してください。
- ●i・ナンバー（☛P122）をご利用の場合、転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号は、i・ナンバー用1または i・ナンバー用2の欄に設定してください。
- ●i・ナンバー（☛P122）をご利用のときに、3つめの電話番号（追加番号）で着信転送を行う場合は、i・ナンバー用1または i・ナンバー用2の欄に設定してください。
- ●i・ナンバー（☛P122）を「使用する」に設定した場合は、転送元の電話番号を必ず i・ナンバー電話番号に設定してください。設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

条件を指定して転送するには（INSボイスワープ／INSボイスワープセレクト）

INSボイスワープおよびINSボイスワープセレクトは、高機能な着信転送サービスです。INSボイスワープをご利用になると、転送する条件を選択することができます。転送先は5か所まで登録できます。
INSボイスワープセレクトをご利用になると、INSボイスワープの機能に加えて、転送する方法を選択することができます。

INSボイスワープ

転送条件を次の中から選択することができます。

- かかってきた電話を無条件で転送する（無条件転送）
- あらかじめ設定した秒数だけ着信を通知し、応答がなければ転送する（無応答時転送）
- 2つのポートを使用中のとき、または着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインなどの設定により、1つのポートが空いていても着信できないときに転送する（話中時転送）

INSボイスワープセレクト

INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を次の中から選択することができます。

- 登録した電話番号からの着信を転送する（登録番号転送モード）
- 登録した電話番号以外からの着信を転送し、登録した電話番号からの着信は転送しない（登録番号着信モード）
- すべての着信を転送する（全番号転送モード）

●必要な契約

INSボイスワープ／ボイスワープセレクトの契約（有料）が必要です。転送先の電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。

●必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。
INSボイスワープ／ボイスワープセレクトをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

（次ページへ続きます）

お知らせ

●INSボイスワープ、INSボイスワープセレクトについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

条件を指定して転送するには（INSボイスワープ／INSボイスワープセレクト）

(前ページの続きです)

TELで設定 **（☛P154）**

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

●発信者番号を登録する

ハンドセットを取りあげる→ ⊛ ⊛ ⊛→設定するTELポートの番号（①または②）→② ⓪ →⊛→電話番号→⊞→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P50、62）

すべての電話をキャッチするには（INSマジックボックス）

INSマジックボックスは、メッセージ録音、着信転送、INSキャッチホンの機能を1つにまとめたサービスです。不在時には、相手にメッセージを録音していただいたり、登録した電話番号へ転送することができます。お話し中にかかってきた電話にも出ることができます。

■ メッセージ録音について

録音されたメッセージは、当社のメッセージセンタに保存されます。外出先からメッセージを聞くこともできます。
メッセージは1件3分まで、最大20件まで録音できます。メッセージの保存期間は7日間です。

●必要な契約

INSマジックボックスの契約（有料）が必要です。ご契約時に転送先の電話番号を登録してください。

●必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSマジックボックスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号	機能番号：20 (☛P154)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	電話番号（最大32桁）を入力する

INSマジックボックスのINSキャッチホンをご利用になる場合は、INSキャッチホンの設定を行ってください。(☛P88)
INSマジックボックスの着信転送をご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

お知らせ

●INSマジックボックスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

電話機から機能を設定するには

本商品のさまざまな機能をご利用になるには、設定が必要です。アナログポート（TEL1ポートまたはTEL2ポート）に接続した電話機を使って、アナログポートのいろいろな機能を設定することができます。
本商品がINSネット64に接続していなくても、設定は行えます。
以下の手順をご確認のうえ、設定一覧（☛P144）の表をご覧ください。
ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

■設定手順

〈例〉TEL1ポートに疑似キャッチホンを設定する

共通の開始操作です。

1 ハンドセットを取りあげる。
「ツー」という発信音が聞こえます。INSネット64に接続していないときは話中音が聞こえます。

2 ✳✳✳と押す。
「プッ」という設定開始音が聞こえます。

✳✳✳

設定一覧の表を参照してください。

3 ポート番号を押す。
⓪：TEL1、TEL2ポート共通設定
①：TEL1ポート設定
②：TEL2ポート設定

〈例〉TEL1ポート設定
①

4 機能番号を押す。

〈例〉キャッチホン
⓪②

5 ✳ボタンを押す。

✳（区切り記号）

6 設定値をダイヤルボタンで押す。

〈例〉疑似キャッチホン
①

共通の終了操作です。

7 #ボタンを押す。
「プップッ」という確認音が聞こえ、設定内容が保存されます。

#

8 ハンドセットを置く。

その他の設定は、設定一覧（☛P144）の表をご覧ください。

ワンポイント

● **続けて設定するには**
手順7の操作のあと、手順3に戻ります。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。

● **操作を間違えたときは**
「プップップップッ」という音が聞こえます。手順3からやり直してください。

● **設定を中止するには**
ハンドセットを置きます。また、何も操作しないまま約60秒過ぎると、設定が中止されます。中止したときは、「プップッ」という確認音が聞こえたところまでの設定が保存されます。

● **リセット処理（お買い求め時の設定に戻す）を行ったときは**
手順7で「プップッ」という確認音は聞こえず、本商品が再起動します。

お知らせ

● 2台の電話機から同時に設定操作をすることはできません。
● 手順7で＃ボタンを押したあと、ハンドセットを置く前に本商品の電源アダプタを抜き差しするなどにより、電源が切断された状態になった場合は、設定内容は保存されません。

電話機から機能を設定するには

■設定一覧

●アナログポート共通の機能

TEL1ポート、TEL2ポート共通の機能です。ポート番号は⓪を押します。設定手順（☛P142）を参考に、左から順に操作します。

●設定した電話番号の消去方法

ハンドセットを取りあげる→✱✱✱→ポート番号→機能番号→✱→#→ハンドセットを置く。

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
50	三者通話（☛P98）	✱✱✱	⓪	⑤⓪
51	通信中転送（☛P103）	✱✱✱	⓪	⑤①
52	着信転送（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤②
53	着信転送トーキ設定（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤③
54	着信転送先電話番号（契約者回線番号用）（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤④
55	着信転送先電話番号（ダイヤルイン／i・ナンバー用1）（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤⑤
56	着信転送先電話番号（ダイヤルイン／i・ナンバー用2）（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤⑥

※下線＿＿は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：使用しない ①：疑似三者通話 ②：三者通話	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：疑似着信転送 ②：着信転送	⊞
⊛	⓪ 転送トーキ：なし／転送元トーキ：なし ① 転送トーキ：あり／転送元トーキ：なし ② 転送トーキ：なし／転送元トーキ：あり ③ 転送トーキ：あり／転送元トーキ：あり	⊞
⊛	転送先の電話番号（最大32桁）	⊞
⊛	転送先の電話番号（最大32桁）	⊞
⊛	転送先の電話番号（最大32桁）	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
57	着信転送元電話番号（契約者回線番号用）（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤⑦
58	着信転送元電話番号（ダイヤルイン／i・ナンバー用1）（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤⑧
59	着信転送元電話番号（ダイヤルイン／i・ナンバー用2）（☛P135）	✱✱✱	⓪	⑤⑨
61	モデムダイヤルイン用契約者回線番号（☛P128）	✱✱✱	⓪	⑥①
62	優先着信ポート指定（☛P87）	✱✱✱	⓪	⑥②
64	内線機能（☛P85）	✱✱✱	⓪	⑥④
65	FAX自動転送（☛P109）	✱✱✱	⓪	⑥⑤
66	非通知拒否（☛P97）	✱✱✱	⓪	⑥⑥
67	迷惑電話防止電話番号（☛P96）	✱✱✱	⓪	⑥⑦
72	話者切替タイマ（☛P102、104）	✱✱✱	⓪	⑦②

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞
⊛	電話番号（最大20桁）	⊞
⊛	⓪：指定しない ①：TEL1ポート ②：TEL2ポート	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：する ①：しない	⊞
⊛	電話番号（最大32桁）	⊞
⊛	②～⑨：話者切替までの時間（2～9秒） （お買い求め時：4秒）	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
73	フッキング検出タイマ (☛P85)	✻✻✻	⓪	⑦③
74	ダイヤル桁間タイマ (☛P81)	✻✻✻	⓪	⑦④
75	ダイヤル終了識別 (☛P81)	✻✻✻	⓪	⑦⑤
76	MSGランプ設定 (Lモード関連) (☛P105、107)	✻✻✻	⓪	⑦⑥
81	RVS-COM転送 (☛CD-ROM)	✻✻✻	⓪	⑧①
82	RVS-COMへの移行時間（☛CD-ROM）	✻✻✻	⓪	⑧②

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
✱	⓪：短い（100～500 ms） ①：普通（300～1000 ms） ②：長い（500～1500 ms）	#
✱	⓪ ②～① ⑤：ダイヤル桁間の空き時間（2～15秒） （お買い求め時：4秒）	#
✱	⓪：識別しない ①：#で識別する ②：##で識別する	#
✱	⓪：メッセージあり状態表示をしない ①：メッセージあり状態表示をする	#
✱	⓪：アナログ機器の操作で転送／指定時間後に自動転送 ①：ただちに自動転送	#
✱	⓪ ⓪：無応答時は転送しない（アナログ機器の操作で転送） ⓪ ①：5秒 ⓪ ②：10秒 ⓪ ③：15秒 ⓪ ④：20秒 ⓪ ⑤：25秒 ⓪ ⑥：30秒 ⓪ ⑦：35秒 ⓪ ⑧：40秒 ⓪ ⑨：45秒 ① ⓪：50秒 ① ①：55秒 ① ②：60秒 ① ③：75秒 ① ④：90秒 ① ⑤：105秒 ① ⑥：120秒	#

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
83	i・ナンバー (☛P122、126)	✱✱✱	⓪	⑧③
84	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報1 (☛P122、126)	✱✱✱	⓪	⑧④
85	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報2 (☛P122、126)	✱✱✱	⓪	⑧⑤
86	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報3 (☛P122、126)	✱✱✱	⓪	⑧⑥
999	リセット処理 (お買い求め時の設定に戻す) (☛P175)	✱✱✱	⓪	⑨⑨⑨

● アナログポート個別の機能

TEL1ポート、TEL2ポートごとに設定が必要です。
TEL1ポートの設定→ポート番号 ① を押す
TEL2ポートの設定→ポート番号 ② を押す

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
01	接続機器設定 (☛P131)	✱✱✱	①または②	⓪①
02	キャッチホン (☛P88、95、117)	✱✱✱	①または②	⓪②
03	グローバル着信 (☛P124)	✱✱✱	①または②	⓪③

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
✱	⓪：使用しない ①：使用する	#
✱	i・ナンバー情報1に対応した電話番号（最大20桁）	#
✱	i・ナンバー情報2に対応した電話番号（最大20桁）	#
✱	i・ナンバー情報3に対応した電話番号（最大20桁）	#
✱	⑨⑨：すべての設定値をお買い求め時に戻す	#

※下線＿は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
✱	⓪：電話機 ①：ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機	#
✱	⓪：使用しない ①：疑似キャッチホン ②：INSキャッチホン	#
✱	⓪：着信する ①：着信しない	#

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
04	サブアドレスなし着信 (☛P130)	✻✻✻	①または②	⓪④
05	INSなりわけ (☛P92)	✻✻✻	①または②	⓪⑤
06	疑似なりわけ (☛P93)	✻✻✻	①または②	⓪⑥
07	なりわけ動作設定 (☛P92、93)	✻✻✻	①または②	⓪⑦
08	アナログポート接続設定（☛P31、81、82）	✻✻✻	①または②	⓪⑧
09	メッセージあり情報通知（Lモード関連） (☛P105、107)	✻✻✻	①または②	⓪⑨
10	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知 (☛P114、117、118)	✻✻✻	①または②	①⓪
11	ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定（☛P115）	✻✻✻	①または②	①①
12	モデムダイヤルイン着信電話番号通知 (☛P126、128)	✻✻✻	①または②	①②
13	モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定 (☛P129)	✻✻✻	①または②	①③

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
✱	⓪：着信する ①：着信しない	＃
✱	⓪：使用しない ①：使用する	＃
✱	⓪：使用しない ①：使用する	＃
✱	⓪：識別リンギング ①：セキュリティ（着信拒否）	＃
✱	⓪：アナログ通信機器を接続しない ①：アナログ通信機器を接続する	＃
✱	⓪：しない ①：する	＃
✱	⓪：しない ①：する	＃
✱	⓪：しない ①：する	＃
✱	⓪：しない ①：する	＃
✱	⓪：しない ①：する	＃

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
15	内線呼出信号設定 (☛P85)	✱✱✱	①または②	①⑤
16	着信拒否（☛P82）	✱✱✱	①または②	①⑥
17	受話音量調整 (☛P81)	✱✱✱	①または②	①⑦
18	ダイヤル種別 (☛P31、81)	✱✱✱	①または②	①⑧
20	発信者番号 (☛P105、107、112)	✱✱✱	①または②	②⓪
21	発信者番号通知 (☛P112)	✱✱✱	①または②	②①
22	発信規制（☛P81）	✱✱✱	①または②	②②
23	発信ポート番号指定 (☛P126)	✱✱✱	①または②	②③

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
✱	⓪：呼出信号1「プルルル、プルルル…」 ①：呼出信号2「プルプル、プルプル…」	#
✱	⓪：する ①：しない	#
✱	⓪：小 ①：中 ②：大	#
✱	⓪：PB固定 ①：DP固定	#
✱	電話番号（最大32桁）	#
✱	⓪：通知しない ①：通知する ②：INSネット64申込内容に従う	#
✱	⓪：規制しない ①：0発信規制 ②：外線発信規制	#
✱	①：i・ナンバー情報1（TEL1ポートのお買い求め時の設定） ②：i・ナンバー情報2（TEL2ポートのお買い求め時の設定） ③：i・ナンバー情報3	#

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
24	i・ナンバー着信設定 (☛P122、126)	✻✻✻	①または②	②④
25	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知 (☛P117)	✻✻✻	①または②	②⑤
26	キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定（☛P117）	✻✻✻	①または②	②⑥
29	FAX無鳴動着信 (☛P111)	✻✻✻	①または②	②⑨
30〜37	着信する番号（0〜7） (☛P124)	✻✻✻	①または②	③⓪〜③⑦
38	サブアドレス (☛P130)	✻✻✻	①または②	③⑧
39	HLC設定 (☛P131)	✻✻✻	①または②	③⑨

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	<table><tr><th></th><th>i・ナンバー情報1</th><th>i・ナンバー情報2</th><th>i・ナンバー情報3</th></tr><tr><td>⓪</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>①</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>②</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>③</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>④</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>⑤</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>⑥</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>⑦</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> お買い求め時の設定　TEL1ポート：① TEL2ポート：②	○＝着信可 ×＝着信不可 ⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	電話番号（最大32桁）	⊞
⊛	サブアドレス（最大19桁）	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
88	ネーム・ディスプレイ 発信者名通知 (☛P118)	✻✻✻	①または②	⑧⑧
90～ 99	疑似なりわけ番号(0～9) (☛P94)	✻✻✻	①または②	⑨⑩～ ⑨⑨

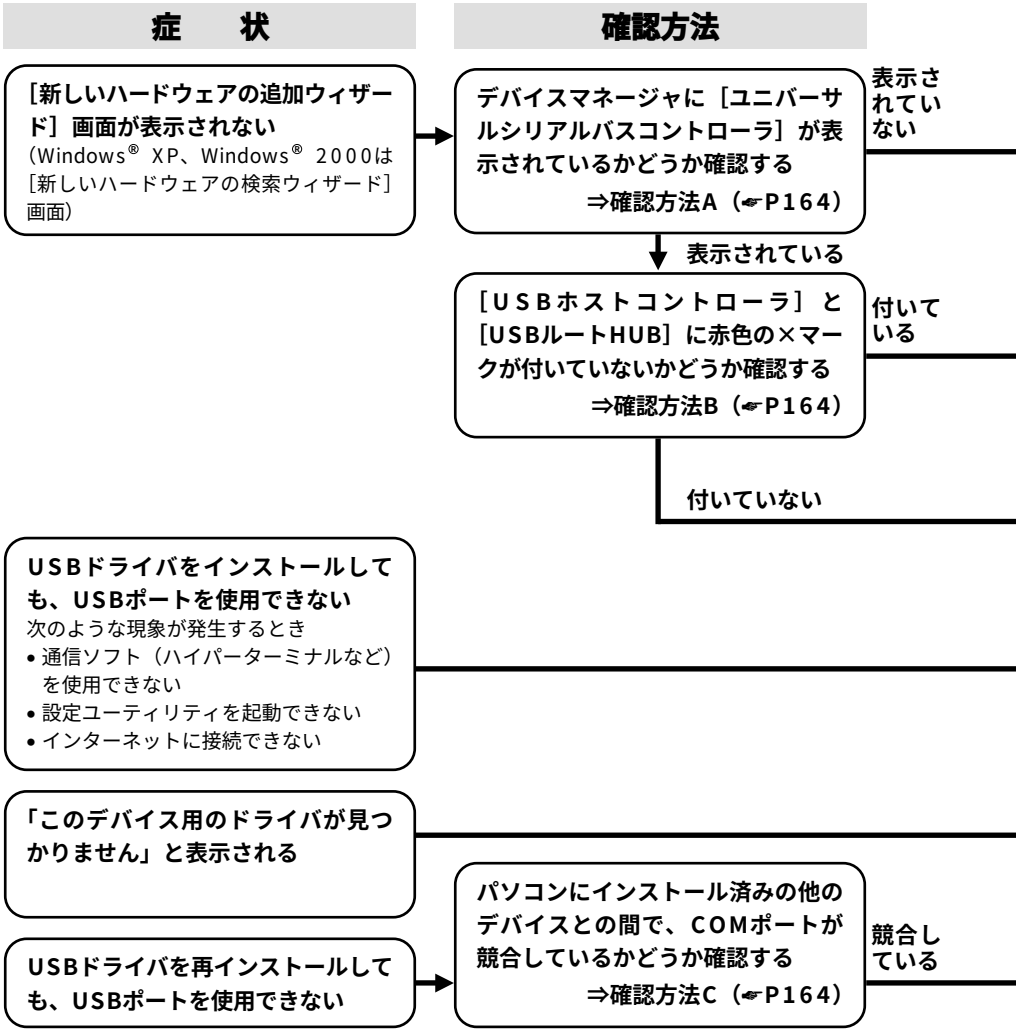
区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
✱	⓪：しない ①：する	#
✱	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに✱、サブアドレス（最大19桁）	#

ご参考

1　USBドライバについて ……162
2　RS-232Cポート用ドライバ
　　について ……173
3　ご参考に ……174

Windows®でUSBドライバを使用できないときは

Windows®でUSBドライバをインストールできないとき、USBドライバをインストールしても使用できないときは、次の図に従って原因を突き止め、対処してください。



原　因	対処方法
パソコンのBIOS設定でUSB機能が無効になっている	パソコンのBIOS設定でUSB機能を有効にする ⇒対処方法1（☛P165）
［USBホストコントローラ］または［USBルートHUB］が使用不可になっている	［USBホストコントローラ］と［USBルートHUB］を使用可能にする ⇒対処方法2（☛P165）
以前にUSBドライバをアンインストールしたとき、正常にアンインストールできなかった	USBドライバを再インストールする ⇒対処方法3（☛P165）
USBドライバのインストールに失敗している	
誤って他のドライバをインストールした	• 他のドライバを削除する • USBドライバを再インストールする ⇒対処方法3（☛P165）
他のデバイスと競合しているため、USBドライバを使用できない	他のデバイスとの競合を回避する ⇒対処方法4（☛P165）

Windows®でUSBドライバを使用できないときは

確認方法

確認方法A

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］を確認する

- Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［設定］－［コントロールパネル］をクリックする。
② ［システム］アイコンをダブルクリックして、［デバイスマネージャ］をクリックする。
③ ［種類別表示］または［種類別に表示］をクリックする。
④ 一覧に［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］が表示されているかどうかを確認する。

- Windows® XPの場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］をクリックする。
② ［ハードウェア］－［デバイスマネージャ］をクリックする。
③ 一覧に［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］が表示されているかどうかを確認する。

- Windows® 2000の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［設定］－［コントロールパネル］をクリックする。
② ［システム］アイコンをダブルクリックして、［ハードウェア］－［デバイスマネージャ］をクリックする。
③ 一覧に［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］が表示されているかどうかを確認する。

確認方法B

［USBホストコントローラ］と［USBルートHUB］を確認する

① ［デバイスマネージャ］の画面で、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックする。
② ［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］内の［USBホストコントローラ］と［USBルートHUB］に赤色の×マークが付いているかどうかを確認する。

確認方法C

COMポートが競合しているかどうかを確認する

● **本商品のUSBドライバ**
- Windows® Me、Windows® 98 Second Editionの場合
  ［コントロールパネル］の［モデム］－［全般］にある［INSMATEV30Slim USB SYNC］または［INSMATEV30Slim USB MP］－［プロパティ］で確認する。
- Windows® 98の場合
  ［コントロールパネル］の［システム］－［デバイスマネージャ］の［ポート(COM/LPT)］内の［INSメイトV30Slim COM(COMx)］のCOMxで確認する。
- Windows® XPの場合
  ［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［電話とモデムのオプション］－［モデム］内のINSメイトV30Slim USBの接続先で確認する。
- Windows® 2000の場合
  ［コントロールパネル］の［電話とモデムのオプション］－［モデム］内のINSメイトV30Slim USBの接続先で確認する。

● **拡張RS-232Cポート**
［デバイスマネージャ］画面の［ポート(COM/LPT)］で確認する。

● **赤外線デバイス**
［コントロールパネル］の［赤外線モニタ］－［オプション］で確認する。

※ ［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］は、［USB（Universal Serial Bus Controller)］と表示される場合もあります。
※ ［USBホストコントローラ］の名称は、パソコンの種類により異なります。名称の最後が［Host Controller］または［ホストコントローラ］となっているのが一般的です。
※ ［USBルートHUB］は、［USBルートハブ］などと表示される場合もあります。
※ ここに記載しているものは、あくまで確認方法の例ですので、装置またはパソコンの種類によっては、手順が異なる場合があります。

対処方法

対処方法1

BIOS設定でUSB機能を有効にする

BIOSの設定方法は、パソコンの種類によって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカにお問い合わせください。

対処方法2

[USBホストコントローラ]と[USBルートHUB]を使用可能にする

＜例＞［USBルートHUB］に赤色の×マークが付いている場合

① ［USBルートHUB］をダブルクリックして、プロパティ画面を開く。
② ［デバイスの使用］の［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］のチェックを外し、［OK］をクリックする。
＊Windows® XP、Windows® 2000の場合は、［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使う（有効）］を選択する。
③ 赤色の×マークが消えていることを確認する。
④ パソコンを再起動する。
＊［USBホストコントローラ］に赤色の×マークが付いている場合も同様の手順を行ってください。

対処方法3

USBドライバを再インストールする

①「不要になったUSBドライバを削除するには」（☛P168）の手順に従って、インストールしたUSBドライバを削除する。
② USBドライバをインストールする。

対処方法4

他のデバイスとの競合を回避する

COMポートの競合を回避する手順としては、以下の2つがあります。

1. 競合している他のデバイス(拡張RS-232Cボードや赤外線デバイス)を使用不可にする

① ［デバイスマネージャ］画面の［ポート(COM/LPT)］で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックする。
② ［デバイスの使用］の［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする。
＊Windows® XP、Windows® 2000の場合は、［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使わない(無効)］を選択する。
③ 競合しているポートのデバイスに赤色の×マークが付く。
④ パソコンを再起動する。

2. 他デバイスの使用COMポート番号の設定を、本商品のUSBドライバと競合しない番号に変更する

他デバイスのCOMポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧になるか、その製品のメーカまたはパソコンメーカにお問い合わせください。

USBドライバをアップデートするには

本商品では、イージーウィザードを利用してUSBドライバを最新のものにアップデートすることができます。バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは以下のホームページを参照してください。

当社のホームページ　http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

Windows®をご利用の場合

1 イージーウィザードを起動する。（☛P67）

2 ［設定項目の選択と実行］画面で［USBドライバのアップデート］をクリックする。

3 ［ドライバの指定］をクリックする。

4 ダウンロードしたドライバを保存してあるフォルダを指定し、［コピー］をクリックして、［OK］をクリックする。

5 ［次へ］をクリックする。

6 「ドライバをアンインストールする」をチェックし、［次へ］をクリックする。

7 以降は画面の指示に従い、［実行］または［再起動］をクリックします。
パソコンが再起動したあとは、P41からの手順に従ってインストール操作を行います。

Mac OS 8.6／9／9.1／9.2をご利用の場合

1 イージーウィザードを起動する。（☛P69）

2 ［USBドライバのアップデート］をクリックする。

3 ［ドライバの指定］をクリックする。

4 ダウンロードしたファイルを保存してあるフォルダを指定し、［選択］をクリックする。

5 **画面の指示に従い、［アップデート］をクリックする。**

6 **［OK］をクリックする。**

お知らせ

- Mac OS Xでは、Mac OS Xの標準USBドライバを使用するため、USBドライバのアップデートはできません。

不要になったUSBドライバを削除するには

USBポートを使用しなくなった場合は、インストールしたUSBドライバを削除することができます。

USBドライバを削除する前の準備

1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。

2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続しておく。

3 Windows®をご利用の場合は、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。

CD-ROMをセットした際に、案内ページが起動した場合は、［END］をクリックして案内ページを閉じてください。

Windows®をご利用の場合

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

2 CD-ROMの中の［USB］フォルダにある［UNINST］フォルダの［Uninst.exe］を実行する。

3 画面の説明に従って、［OK］をクリックする。

4 本商品とパソコンのUSBケーブルの接続を外し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、パソコンを再起動する。

Mac OS 8.6／9／9.1／9.2をご利用の場合

1 ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックする。

2 ［システムフォルダ］内にある［機能拡張］フォルダを開き、［USB INSMATE V30Slim］を［ごみ箱］にドラッグする。

3 本商品とパソコンのUSBケーブルの接続を外し、パソコンを再起動する。

お知らせ

- Windows®をご利用の場合にUSBドライバの削除を行った場合、RS-232Cポート用のモデム定義ファイルとドライバも削除されます。
- Mac OS Xをご利用の場合は、USBドライバはMac OS Xの標準USBドライバを使用しますので削除しないでください。

USBポートに関するQ&A

●インストールに関して

Q.USBポートを使用できるパソコンのOSは何ですか。

A.Windows®では、Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000です。
Macintoshでは、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2およびMac OS Xです。

［Windows®］

Q.USBドライバのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。

A.以下の手順で、もう一度インストールをしてください。

①パソコンを再起動します。
②「不要になったUSBドライバを削除するには」の「Windows®をご利用の場合」（☛P168）の手順に従い、USBドライバを削除します。
③［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］－［INSメイトV30Slimユーティリティ］－［INSメイトV30Slimイージーウイザード］をクリックします。
起動中の画面が表示され、P41手順1の画面が表示されます。
④「USBポートを使うには」（☛P41）の手順でUSBドライバをインストールします。

Q.イージーウィザードを用いてのUSBドライバのインストールに失敗したのですが。

A.イージーウィザードを用いてのUSBドライバのインストール、またはUSBドライバのアップデートに失敗した場合は、パソコンを再起動してやり直してください。
それでも失敗する場合は、付属のCD-ROM「参考情報」の「イージーウィザードが利用できないときは」の手順に従って、手動でUSBドライバのインストールを行ってください。

［Macintosh］

Q.USBドライバが正常にインストールできたかどうかの確認方法を教えてください。

A.以下の手順で確認できます。

①パソコンと本商品の電源が入っていることを確認します。
②パソコンと本商品がUSBケーブルで接続されていることを確認します。
③システムプロフィール画面の「デバイスとボリューム」のUSBの欄（USB0/USB1など）に［通信］と表示されていることを確認します。
④［通信］をクリックします。
⑤ドライバ名に［USB INSMATE V30Slim］が表示されていることを確認します。

●データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q.通信ソフトウェアやV30Slim設定ユーティリティ動作中にUSBケーブルの抜き差しや本商品の電源のOFF→ONを行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A.お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以下のようなことを行うとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。そのような場合にはパソコンを再起動してください。

・USBケーブルの抜き差し（パソコンのUSBポート、本商品のUSBポートどちらでも）
・本商品の電源をOFF→ONしたとき
・通信ソフトウェア上で、本商品のリセット処理（ATZ98）を行ったとき
・電話機からの設定で、リセット処理を行ったとき

Q.パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信（インターネット接続）や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A.パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。
また、パソコンの省電力機能によりUSBの使用が制限されることがありますので、コントロールパネルの［パワーマネジメント］または［電源の管理］などで、パソコンの省電力機能を停止させてください。
さらに、パソコンによっては起動時のBIOS設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

Q.インターネット接続を切断したとき、パソコンがフリーズしたのですが。

A.お使いのパソコンによっては、データの送受信中に切断すると、まれにパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。
Windows®をご利用の場合は、以下の操作をしてください。

①「不要になったUSBドライバを削除するには」の「Windows®をご利用の場合」（☛P168）の手順に従い、USBドライバを削除します。
②［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］－［INSメイトV30Slimユーティリティ］－［INSメイトV30Slimイージーウィザード］をクリックします。
起動中の画面が表示され、P41手順1の画面が表示されます。
③P41手順1からP43手順4の操作を行います。
④P43手順4で［USBドライバの選択］画面が表示されますので、［V30SlimオリジナルUSBドライバ］を選択し［次へ>］をクリックします。
⑤P43手順5からP45手順10までの操作を行います。

USBポートに関するQ&A

●その他

Q.パソコン動作中にUSBケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生する。

A.お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中にUSBケーブルの抜き差しや、本商品の電源OFF→ONを行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。
その場合はパソコンを再起動してください。

Q.他のUSBデバイスと同時に使用できますか。

A.1台のパソコンに本商品と他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが1つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、本商品の通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。
このような場合には、他のUSBデバイスと同時に接続しないようにしてください。

Q.Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000のパソコンで、USBポートが使用できないのですが。

A.パソコンによってはUSBポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカにお問い合わせください。

Q.USBポートを使用する場合のCOMポートはどこですか。

A.一般的にはCOMポート3以降です。
COMポートはパソコンのOSが自動的に決定します。パソコンに接続する周辺機器によっては使用するCOMポートが重複し、USBポートが使用できない場合があります。
このような場合には周辺機器の接続を外し、周辺機器用に使用するドライバ類を削除してください。

Q.本商品のERランプが点灯したままになってしまったのですが。

A.回線を切断するのに失敗するなどして、本商品のERランプが点灯したままになっている場合は、パソコンを再起動してください。

Q.Windows® 2000、Windows® XPで、USBケーブルを別のUSBポートにつなぎ替えると新しくUSBドライバがインストールされ、その後設定ユーティリティが起動できなくなる。

A.Windows® 2000、Windows® XPでは、接続しているUSBポートを変更した場合、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されたり、COMポートの番号割付が変わることがあります。接続しているUSBポートを変更する場合は、「不要になったUSBドライバを削除するには」（☛P168）の手順に従って、いったんUSBドライバを削除してから再度インストールをしてください。

Q.Windows® XPで、USBケーブルを抜き差しするとインターネット接続ができないのですが。

A.USBケーブルの抜き差しを行うとモデムの認識に時間がかかりますので、しばらく待って（約20秒）からもう一度インターネット接続を行ってください。

Q.Windows® XPを利用していますが、USBケーブルを抜き差ししたり、INSメイトV30Siimの電源を切ったり入れたりすると、ダイヤルアップ接続の設定が128 K（マルチリンクPPP）から64 K（非同期／同期PPP変換）に変更されてしまうのですが。

A.Windows® XPでは、USBケーブルを抜き差ししたり、本商品の電源を切ったり入れたりすると、ダイヤルアップ接続の設定が初期化されてしまう場合があります。このような場合は、ダイヤルアップ接続のプロパティ画面を開き、モデムの構成を再度設定し直してください。

RS-232Cポート用ドライバを削除するには（Windows®）

Windows®をご利用の場合は、RS-232Cポート用ドライバを削除することができます。

1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。

2 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続しておく。

3 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。

CD-ROMをセットした際に、案内ページが起動した場合は、［END］をクリックして案内ページを閉じてください。

4 ［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

5 CD-ROMの中の［USB］フォルダにある［UNINST］フォルダの［Uninst.exe］を実行する。

6 画面の説明に従って、［OK］をクリックする。

7 本商品とパソコンを接続しているRS-232Cケーブルを外し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、パソコンを再起動する。

お知らせ

- RS-232Cポート用ドライバの削除を行った場合、モデム定義ファイルとWindows®用のUSBドライバも削除されます。

CD-ROMの「参考情報」について

以下の項目については、付属のINSメイトV30Slim専用CD-ROMの「参考情報」（PDFファイル）をご覧ください。

パソコン活用編

■ 設定ユーティリティの活用

INSメイトV30Slimの設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法について説明しています。

■ パソコンでの設定画面

INSメイトV30Slimの設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

■ いろいろな通信機能

INSメイトV30Slimを使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

手動設定編

イージーウィザードが利用できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法、インターネット接続の設定を行う方法について説明しています。

その他

■ ATコマンド

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモデムを制御するコマンドで、多くのモデムで採用されています。INSメイトV30Slimは、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。ATコマンドで行う設定の主な項目は、設定ユーティリティをご利用になると簡単に設定することができます。（☛P67、69、70）

■ 設定記入シート

「参考情報」に、設定記入シート（PDFファイル）を収録してあります。PDFファイルをプリントアウトして設定内容を記入し、保守のための資料としてご利用ください。

お知らせ

- PDFファイルをご覧になるには、Adobe® Acrobat® Readerのインストールが必要です。
- Windows®およびMac OS 8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2をご利用の場合は、案内ページの「Adobe Acrobat Readerのインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。（すでにAdobe® Acrobat® Reader4.0または4.05がインストールされている場合は、不要です。）
- Mac OS Xをご利用の場合は、CD-ROMの［Acrobat5］フォルダをダブルクリックして開き、インストーラアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。（すでにAdobe® Acrobat® Reader 5.0がインストールされている場合は不要です。）

お買い求め時の設定に戻すには（初期化）

本商品の設定をお買い求め時の状態に戻すことができます。設定ユーティリティを使う方法、電話機から操作する方法があります。設定ユーティリティで初期化した場合は、設定内容の一部はそのまま残りますが、電話機の操作で初期化した場合は、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

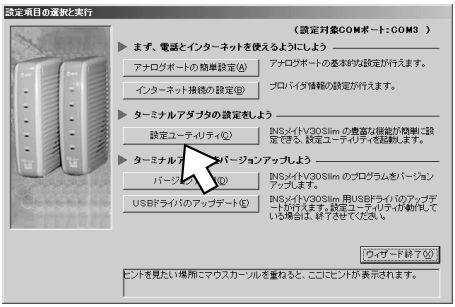
設定ユーティリティで初期化を行う

初期化を行っても、以下の設定内容はそのまま残ります。

・発信者番号、i・ナンバー電話番号、各ポートの着信する番号、各ポートのサブアドレス、モデムダイヤルイン用契約者回線番号、疑似なりわけ番号、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号、着信転送元サブアドレス、迷惑電話防止電話番号、通信履歴、アナログポートの着信履歴、カレンダ

1 イージーウィザードを起動する。（☞P67、69、70）

2 [設定項目の選択と実行]画面で[設定ユーティリティ]をクリックする。



3 [初期化]をクリックする。

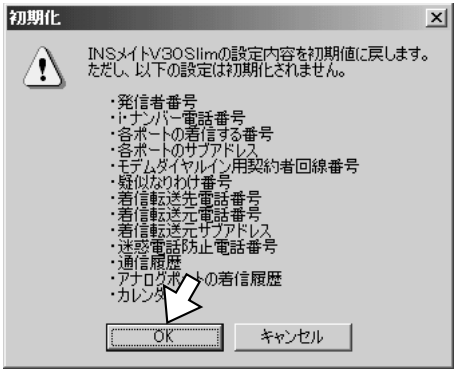
（次ページへ続きます）

お買い求め時の設定に戻すには（初期化）

(前ページの続きです)

4 **［OK］をクリックする。**

設定内容が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。



電話機で初期化を行う

電話機の操作で初期化を行うと、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

1 **ハンドセットを取りあげる。**

「ツー」という発信音が聞こえます。
INSネット64に接続していない場合は、話中音が聞こえます。

2 **⑧⑧⑧と押す。**

「プッ」という設定開始音が聞こえます。

3 **⓪を押す。**

4 **⑨⑨⑨と押す。**

5 ⑧ボタンを押す。

6 ⑨⑨と押す。

7 ⑪を押す。

本商品が再起動します。

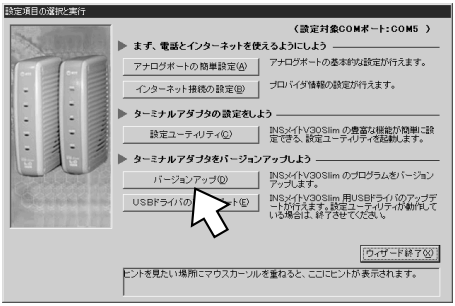
8 ハンドセットを置く。

本商品のバージョンアップを行うには

イージーウィザードを利用して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページを参照してください。
当社のホームページ　http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/
バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。
Windows® Meの場合を例に説明します。

1 イージーウィザードを起動する。（☛P67、69、70）

2 [バージョンアップ] をクリックする。



ワンポイント

●バージョンアップにかかる時間は
本商品とパソコン間の通信速度や、お使いのパソコンの能力によって異なりますが、約3～10分で終了します。通信速度が19.2 kbit/sの場合は、約10分です。

●バージョンアップに失敗したときは
バージョンアップ失敗の画面が表示されますので、いったん電源アダプタおよび乾電池を抜いてください。RS-232CケーブルまたはUSBケーブルが正しく接続されていることを確認して、電源アダプタを差し込み、乾電池を入れ直して、もう一度バージョンアップを実行してください。

お知らせ

●バージョンアップを正常に終了させないと、PWRランプが遅い点滅（緑）し、以下の機能を除き本商品が動作できなくなります。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器での発信、着信
- データポートに接続したパソコンからの同期64 kbit/sのインターネット接続

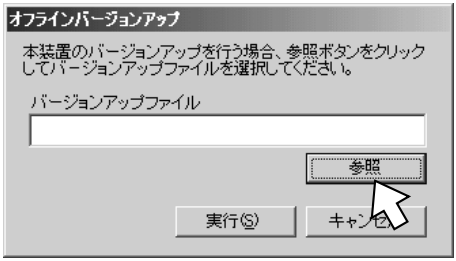
●バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保存されません。
- カレンダ設定　- 直前の料金情報　- 累積料金情報　- データ通信履歴

お願い

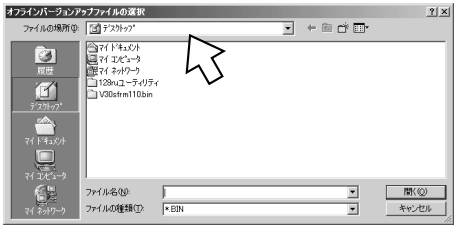
●バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

3 ［オフライン］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックする。

4 ［参照］をクリックする。



5 ［ファイルの場所］で、バージョンアップファイルを保存したフォルダを選択する。



6 バージョンアップファイルを選択して［開く］をクリックする。

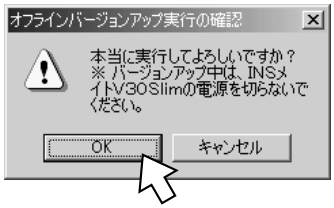
（次ページへ続きます）

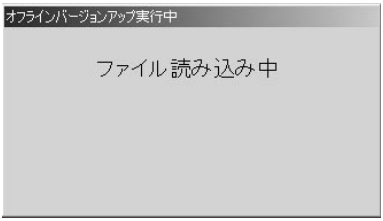
本商品のバージョンアップを行うには

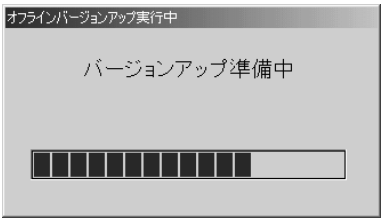
(前ページの続きです)

7 [実行] をクリックする。

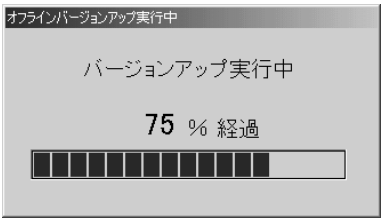
8 [OK] をクリックする。





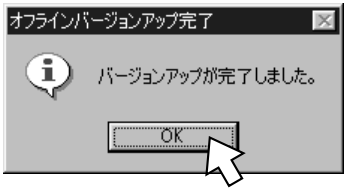


バージョンアップが始まります。



9 完了画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

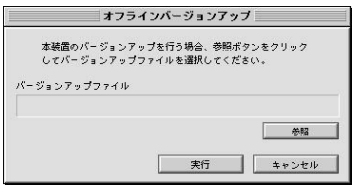
バージョンアップが終了し、本商品は自動的にリセットされます。



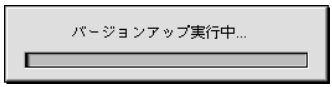
お知らせ

● Macintoshでは以下の画面が異なります。

• バージョンアップファイルの選択画面



• バージョンアップファイル進行中の画面

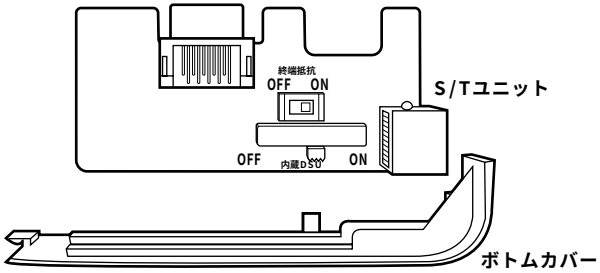


オプションをご利用になるには

本商品のオプションとして、INSメイトV30S/Tユニットを別売しています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●INSメイトV30S/Tユニット

本商品以外のINSネット64用通信機器を接続したり、すでにお持ちのDSUをご利用になることができます。



S/Tユニットを準備する（☞P183）

お願い

- S/Tユニットのスイッチを設定する場合は、S/Tユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットに付属のボトムカバーは1個（1色）です。

⚠注意

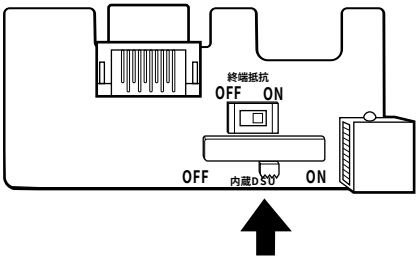
●S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

S/Tユニットを準備する

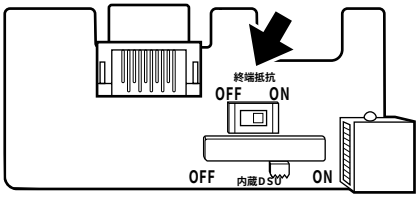
S/Tユニットを装着することにより、外付けDSUを使用したり、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続することができます。
INSネット64用通信機器を接続する台数によって、終端抵抗スイッチの設定、配線方法が異なります。あらかじめS/Tユニットの設定を行ってください。

① S/Tユニットの内蔵DSUスイッチを設定します。

・内蔵DSUをご使用になる場合はONにします。
・外付けDSUをご使用になる場合はOFFにします。



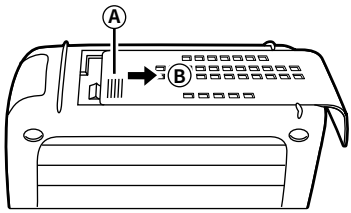
② 接続するINSネット64用通信機器の台数、配線方法に合わせて、S/Tユニットの終端抵抗スイッチを設定します。(☞P189)



③ 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

④ 本商品のボトムカバーを取り外します。

Ⓐの部分を押しながら、Ⓑの方向へスライドさせます。



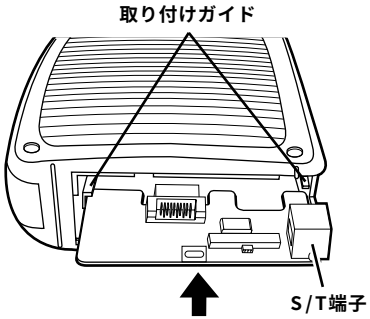
(次ページへ続きます)

オプションをご利用になるには

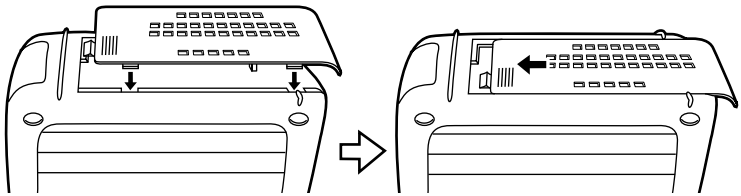
(前ページの続きです)

⑤ S/TユニットのS/T端子を持ち、S/Tユニットの中央白色部分を押して、本商品に取り付けます。

取り付けガイドに沿って取り付けてください。
無理に押し込まないでください。



⑥ S/Tユニットに付属のボトムカバーを取り付けます。



必要に応じて次のページへ進みます。

- **すでにお持ちのDSUを接続する（☞P187）**
- **本商品以外のINSネット64用通信機器を接続する（☞P188）**
- **S/Tユニットを取り外す（☞P185）**

お願い

- S/Tユニットのスイッチを設定する場合は、S/Tユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットに付属のボトムカバーは1個（1色）です。

⚠注意

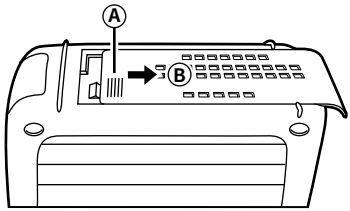
●S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

S/Tユニットを取り外す

① 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

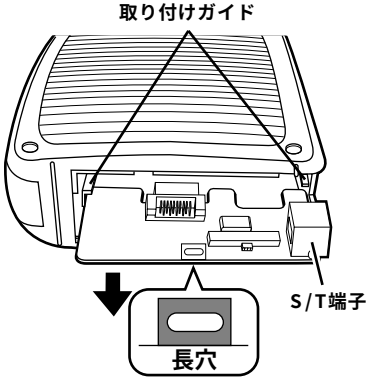
② S/Tユニットのボトムカバーを取り外します。

Ⓐの部分を押しながら、Ⓑの方向へスライドさせます。



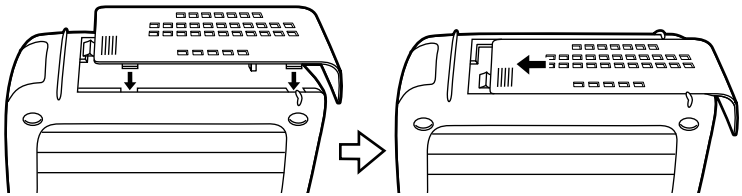
③ 本商品を押さえながら、S/Tユニットの S/T端子を持って、まっすぐ手前に引きます。

ななめ方向に傾けて引くと、S/Tユニットが外れません。
外しにくいときは、S/Tユニットの中央白色部分の長穴にドライバなどを差し込んで手前に引いてください。



④ 本商品に付属のボトムカバーを取り付けます。

ボトムカバーは、S/Tユニットを取り付ける前に本商品に取り付けられていたものを使用してください。



（次ページへ続きます）

オプションをご利用になるには

(前ページの続きです)

お願い

- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットの長穴にドライバなどを差し込んだまま、ねじったりひねったりしないでください。

⚠注意

●S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

すでにお持ちのDSUを接続する

すでにDSU、DSU内蔵の機器など（外付けDSU）をお持ちの場合は、S/Tユニットを取り付けることにより、外付けDSUをお使いになることができます。

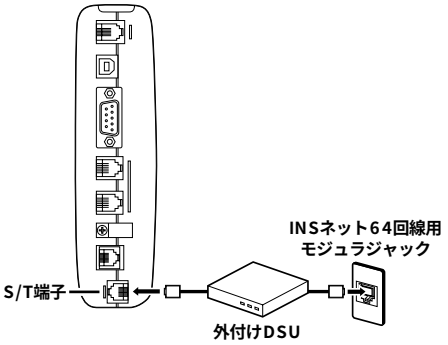
① S/Tユニットの内蔵DSUスイッチをOFFにします。

② 配線方法に合わせて、S/Tユニットの終端抵抗スイッチを設定し（☛P189）、本商品に取り付けます。（☛P183）

・DSUに終端抵抗の設定がある場合は、終端抵抗スイッチをOFFに設定してください。

③ S/T端子に外付けDSUを接続します。

④ INSネット64回線用モジュラジャックに外付けDSUを接続します。



⑤ 以降は、内蔵DSUをご利用の場合と同様に、通信機器、パソコンなどを接続して電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。（☛P29）

オプションをご利用になるには

本商品以外のINSネット64用通信機器を接続する

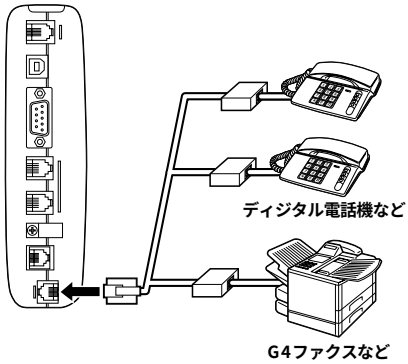
S/T端子にケーブル（別売）を接続します。

① **S/Tユニットの内蔵DSUスイッチをONにします。**

② **接続する台数、配線方法に合わせて、S/Tユニットの終端抵抗スイッチを設定し（☛P189）、本商品に取り付けます。（☛P183）**

③ **INSネット64用通信機器をS/T端子につなぎます。**

接続ケーブルは別途ご用意ください。



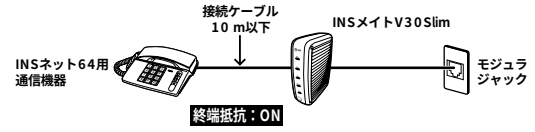
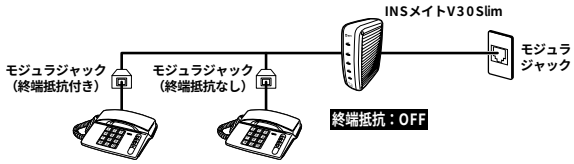
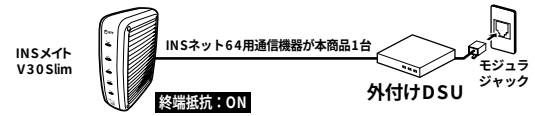
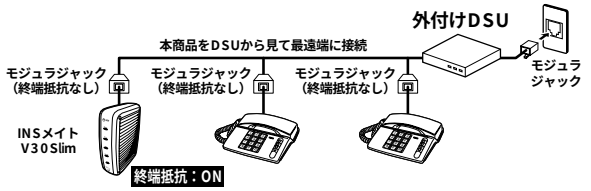
④ **電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。**

STOP お願い

●INSネット64用通信機器の接続は、配線が全長で150 m以下となるようにしてください。

INSネット64用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定

本商品のほかに、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続して使用できます。
接続方法によって内蔵DSUスイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なりますので、次の表でご確認ください。

接続方法		内蔵DSUスイッチ	終端抵抗スイッチ	接続図
内蔵DSU	本商品にINSネット64用通信機器を1台接続する場合で、接続ケーブルが10m以下の場合	ON（お買い求め時の状態）	ON（お買い求め時の状態）	
	INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10m以上の場合、および2～7台接続する場合	ON（お買い求め時の状態）	OFF	 ※本商品から見て、S/T端子に接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗つきモジュラジャックを使用してください。
外付けDSU	本商品のみを接続する場合	OFF	ON（お買い求め時の状態）	
	本商品がDSUから最遠端の場合	OFF	ON（お買い求め時の状態）	
	本商品がDSUから最遠端でない場合	OFF	OFF	

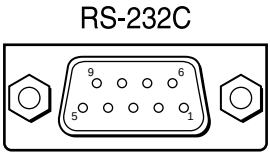
※モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

RS-232Cポートインタフェース

本商品のRS-232Cポートにパソコンなどを接続する場合は、付属品のRS-232Cケーブルを使用してください。RS-232Cポートのインタフェースは次のようになっています。

■ コネクタ形状

9ピンコネクタ（オス型）



■ RS-232Cポートインタフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン　V30 Slim	名　称	機　能
シェル	(FG)		保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	←	キャリア検出	INSメイトV30Slimが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON　：パソコンにデータ受信を要求します OFF：パソコンにデータ受信を要求しません
2	RD	←	受信データ	INSメイトV30SlimからパソコンへINSメイトV30Slimへ送られるデータです。
3	SD	→	送信データ	パソコンからINSメイトV30Slimへ送られるデータです。
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON　：パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF：パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG		信号用接地	相互接続回路に基準電位を与えます。
6	DR	←	データセットレディ	INSメイトV30Slimの動作準備ができているかどうかを示します。 ON　：パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF：パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON　：データ送信許可を要求します OFF：データ送信許可を要求しません
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON　：データ送信が可能です OFF：データ送信できません
9	CI	←	被呼表示	着信していることをパソコンに示します。 ON　：着信があることを示します OFF：着信がないことを示します

■ 通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4（kbit/s）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☛P29
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	☛P29
	S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☛P183、189
	外付けDSUに接続していて、S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがONになっている	内蔵DSUスイッチをOFFにしてください	☛P183、189
停電時に動作しない	停電時動作用の乾電池が消耗しているか、乾電池の向きが逆になっている	新品のアルカリ乾電池を正しい向きに入れてください。	☛P27
ACTランプが遅い点滅をしている	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☛P183、189
PWR（POWER）ランプが赤く点滅している	停電動作中のため	故障ではありません 停電になっていない場合、電源アダプタの接続を確認してください	—
PWR（POWER）ランプ、ERランプ、ACTランプが点滅している	バージョンアップ時正常に終了できなかった	再度バージョンアップ操作を行ってください	☛P178
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—
電源アダプタがあたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—

●アナログ通信機器／INSネット64機器

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P31
	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	停電中のため	故障ではありません 停電時動作用の新品のアルカリ電池を入れてください	☛P27
	発信規制の設定が「0発信規制」または「外線発信規制」に設定されている	発信規制の設定を「規制しない」に設定してください	☛P81、154、CD-ROM
	接続機器の設定が「接続しない」になっている	接続機器の設定を「接続しない」以外に設定してください	☛P31、50、62、152

（次ページへ続きます）

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	128KマルチリンクPPP（☛CD-ROM）でデータ通信中で、かつリソースBOD（☛CD-ROM）を「使用しない」に設定している	データ通信を中断してください またはリソースBODを「使用する」に設定してください	☛CD-ROM
アナログ通信機器の着信ができない	なりわけ動作設定が「セキュリティ（着信拒否）」に設定されている	なりわけ動作設定を「識別リンギング」に設定してください	☛P92、152、CD-ROM
	サブアドレスなし着信の設定が「着信しない」に設定されている	サブアドレスなし着信を「着信する」に設定してください	☛P130、152、CD-ROM
	着信拒否の設定が「する」に設定されている	着信拒否を「しない」に設定してください	☛P82、154、CD-ROM
	グローバル着信の設定が「着信しない」になっている	グローバル着信を「着信する」に設定してください	☛P124、150、CD-ROM
	データポート設定のRVS-COM転送の設定が「ただちに自動転送」に設定されている	データポート設定のRVS-COM転送を「アナログ通信機器の操作で転送」に設定してください	☛CD-ROM
	着信転送または疑似着信転送が設定されている	着信転送を「使用しない」に設定してください	☛P134、144
INSネット64用通信機器の発信、着信ができない	S/T端子にINSネット64用通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P188
	S/Tユニットの終端抵抗スイッチが正しく設定されていない	終端抵抗スイッチを正しく設定してください	☛P183、189
アナログポートに接続したファクスの着信応答ができない	ファクスを接続したアナログポートのHLCの設定が「する」で、かつ接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」の場合に、発信側が携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などから発信した	携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などからの着信は、HLCの設定が「電話」となるため着信しません 電話もファクスも着信を受けるようにするときは、HLC設定を「しない」に設定してください	☛P131、156、CD-ROM
	FAX自動転送（☛P109）の設定が「する」に設定されていてファクスがTEL1ポートに接続されている	ファクスをTEL2ポートに接続してください	—

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
着信時に内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P50、62、114、152
	モデムダイヤルイン未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、モデムダイヤルイン着信電話番号通知が「する」に設定されている	モデムダイヤルイン着信電話番号通知を「しない」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P126、152、CD-ROM
通話中に着信があるとモデム音が聞こえる	キャッチホン・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P116、156、CD-ROM
通話後、ハンドセットを置くと着信音が鳴ったり、発信しようとしてハンドセットを取りあげると「プップップッ…」という発信音が聞こえる	ハンドセットを置いてから取りあげるまでの間隔が短いため、内線機能がはたらいている	ハンドセットの操作をゆっくり行ってください	☛P80
		フッキング検出タイマを「長い」に設定してください	☛P85、148、CD-ROM
		内線機能の設定を「使用しない」に設定してください	☛P85、146、CD-ROM
TEL1ポートにファクスを接続しているが、ファクス受信時1〜2秒で切断されてしまう	FAX自動転送機能がはたらき、TEL2ポートへ転送されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☛P109、146、CD-ROM
アナログ通信機器で相手の声や自分の声が大きく聞こえる	アナログ通信機器によっては受話音量が大きくなる場合がある	アナログ通信機器のPADを設定してください アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください	—
		アナログ通信機器のPAD設定がない場合は、本商品の受話音量調整を「小」に設定してください	☛P81、154、CD-ROM

（次ページへ続きます）

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器で通話中に雑音が入る	本商品のFG端子がアースに接続されていない	本商品のFG端子にアースを接続してください アナログ通信機器にFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	☛P29
	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品に近づけて使用している	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品から離してください	—
アナログポートに接続した料金表示機能付き電話機の料金表示と本商品の通信料金表示が一致しない	電話番号案内（104）や携帯電話機、PHS対応電話機に電話をした場合は正しく課金されない	故障ではありません	—
INSキャッチホンが利用できない	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☛P109､146、CD-ROM
疑似キャッチホンが利用できない	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☛P109､146、CD-ROM
INSナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイが利用できない	INSナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイを契約していない	INSナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイを契約してください	☛P114、118
	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知またはネーム・ディスプレイ発信者名通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知またはネーム・ディスプレイ発信者名通知を「する」に設定してください	☛P50、62、114、118、152、158、CD-ROM
	ナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☛P114、118
キャッチホン・ディスプレイが利用できない	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P50、62、114、152、CD-ROM
	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P116､156、CD-ROM
	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☛P116
INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトが利用できない	発信者番号が登録されていない	TEL1ポートまたはTEL2ポート設定画面の発信者番号欄にINSボイスワープ／INSボイスワープセレクトを行う電話番号を登録してください	☛P139､154、CD-ROM

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
INSメッセージ到着お知らせサービスが利用できない	メッセージありランプ表示またはメッセージあり情報通知が「しない」になっている	メッセージありランプ表示またはメッセージあり情報通知を「する」にしてください	☛P107、148、152、CD-ROM
	INSメッセージ到着お知らせサービス対応のアナログ通信機器が接続されていない	INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P107
INSネット64用通信機器で通話中に雑音が入る	本商品のFG端子がアースに接続されていない	本商品のFG端子にアースを接続してください 接続したパソコンにFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	☛P29

故障かな？と思ったら

●パソコン接続

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
設定ユーティリティが開けない インターネットに接続できない	RS-232Cポートをご利用のとき本商品とパソコンの端末速度が合っていない	パソコンの通信速度設定を確認してください	—
	MacintoshでRS-232Cポートをご利用のとき、ER信号制御を「常時ON」に設定していない	ER信号制御を「常時ON」に設定してください	☛CD-ROM
	USBポートをご利用のときUSBドライバをインストールしていない	USBドライバをインストールしてください	☛P41、55、59、CD-ROM
	本商品とパソコンが接続されていない	本商品とパソコンの接続を確認してください	—
	インターネット接続時に、接続の設定が正しく設定されていない	別冊「インターネット接続ガイド」の「インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント」を参照してください	☛別冊
	RS-232Cポートをご利用のとき、RS-232Cポート用ドライバが正常にインストールされていない	RS-232Cポート用ドライバをアンインストールしてください	☛P173
		アンインストール後、RS-232Cポートを使うための設定を再度行ってください	☛P46
	RS-232Cポートをご利用のとき、パソコンを起動してからRS-232Cケーブルを接続した、または本商品の電源を入れた	本商品の電源を入れ、RS-232Cケーブルで接続してから、パソコンを起動してください	—
パソコン内蔵のモデムが使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線を接続していない	パソコンの回線接続端子と本商品のTEL1ポートまたはTEL2ポートを接続してください	—
USBポートが使用できない	USBドライバをインストールしていない	USBドライバをインストールしてください	☛P41、55、59、CD-ROM
	OSのバージョンがUSBに対応していない	使用しているパソコンのOSのバージョンを確認してください	☛P36、37
	COMポートが開いていない	COMポートが開いているか確認してください	☛P72、162
	USBケーブルが正しく接続されていない	USBケーブルの接続を確認してください	☛P41、55、59、CD-ROM
USBドライバをインストールしたが動作しない（「デバイスマネージャ」画面のUSBドライバに「！」が付いている）	USBドライバが正しく設定されていない	USBドライバを正しく設定してください	☛P162
本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続してからパソコンを起動すると「新しいハードウェアを検出しました」と表示され、ハードウェアの追加ウィザードが起動する	モデム定義ファイルやRS-233Cポート用ドライバのインストールが完了していない	手順に従ってインストールを完了してください	☛P46 CD-ROM
	以前にインストールしたRS-232Cポートと異なるRS-232Cポートに接続している	以前にインストールしたRS-232Cポートに接続してください 接続するRS-232Cポートを変更する場合は、いったんドライバを削除してから再度インストールしてください	☛173

Q&A

●OS関連

Q.添付されているCD-ROM内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルが対応しているOSの種類は？

A.Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98 Second Edition、Windows® Me、Windows® XP、Windows® 2000、Windows NT® 4.0、Mac OS 8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2、Xに対応しています。

Q.添付されているCD-ROM内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルは英語版OS（Windows®、Mac OS）に対応していますか？

A.英語版OS（Windows®、Mac OS）には対応していません。

Q.設定ユーティリティはWindows® 3.1に対応していますか？

A.対応していません。設定を行う場合はパソコンのターミナルモードからATコマンドで設定してください。

Q.モデム定義ファイルはWindows® 3.1に対応していますか？

A.対応していません。専用CD-ROM内のATコマンド一覧の中から使用するコマンドを選択して、ご使用のPPPダイヤルソフトに設定してください。

Q.USBポートでデータ通信をしたいのですが？

A.Windows® 98、Windows® 98 Second Edition、Windows® Me、Windows® XP、Windows® 2000、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2またはMac OS Xがインストールされていることが必要です。

●設置／接続

Q.内蔵のDSUを使用しないようにできますか？

A.INSメイトV30S/Tユニット（オプション）をご利用になることにより、内蔵DSUを使用しないようにできます。

Q.極性反転スイッチはついていますか？

A.本商品はINSネット回線の極性が反転していても自動認識して正常動作を行います。お客様が極性を意識する必要はありません。

Q.リセットスイッチ、電源スイッチはありますか？

A.ありません。本商品をリセットする場合は電源プラグをコンセントから抜いて（乾電池を入れている場合は電池も一度取り外して）、再度差し込んでください（再度乾電池を取り付けてください）。この場合、設定内容は変更されません。なお、本商品のすべての設定内容をリセットするにはパソコンのターミナルソフトからATコマンドでATZ98と入力してください。または、電話機からリセット処理（機能番号：999 ☛P150、176）を行ってください。

Q.乾電池は必ず入れないといけないのでしょうか？

A.乾電池を入れていなくても通電状態の時は問題ありません。乾電池を入れていると不意の停電の際でも、すべてのポートが使用できます。なお、乾電池はお客様でご準備願います。

（次ページへ続きます）

(前ページの続きです)

Q.乾電池には何を使ってもいいのですか？

A.公称電圧1.5 Vのアルカリ単3乾電池に限ります。電圧の低い1.2 Vのニカド電池や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。また、定期的に乾電池を交換してください。

Q.停電時に使用できる機能は何ですか？

A.パソコンなどがバッテリで動作をしていれば、すべての機能が使用できます。

Q.停電になって電池動作モードに切り替わったあと、何時間の動作ができますか？

A.アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で待ち受け時間約3時間、または1つのアナログポートの通話で通話時間約2時間の動作ができます。

Q.INSメイトV30S/Tユニット（オプション）のS/T端子に他のDSU内蔵INSネット64用通信機器を接続することができますか？

A.DSUを未使用にできるタイプ（当社製：INSメイトV70G-MAX、本商品など）が接続できます。DSUを未使用にできないタイプの場合は、そのINSネット64用通信機器にS/T端子があれば、本商品のDSUを未使用にすることにより接続することができます。

Q.S/T端子に他のINSネット64用通信機器を何台接続することができますか？

A.INSメイトV30S/Tユニット（オプション）を取り付けると、INSネット64用通信機器を、最大7台まで接続して使用できます。接続のしかたによって終端抵抗スイッチの設定が異なります。
INSネット64用通信機器を1台接続する場合、接続ケーブルが10 m以下であれば、終端抵抗スイッチが「ON」の状態で使用できます。
INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10 m以上の場合、および2～7台接続する場合は、終端抵抗スイッチを「OFF」に設定してください。また本商品から見てINSネット64用通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックをご使用ください。（☛P189）

Q.電話機を本体から離れた場所に設置する場合、アナログポートからの配線は何mまで可能でしょうか？

A.使用する電話機により異なりますが、配線するケーブルが0.5 φの場合で約200 mを目安としてください。

Q.アナログポートから屋外に配線することはできますか？

A.できません。雷などによる故障の原因になりますので屋外配線は行わないでください。

Q.アナログポートはすべてのアナログ通信機器で使用できますか？

A.一般のアナログ回線（電話回線）との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もありますのでご注意願います。

Q.購入時にRS-232Cケーブルや USBケーブルは添付されていますか？

A.パソコン接続のためのケーブル類としてRS-232Cケーブル、USBケーブルがそれぞれ1本（1個）添付されています。

Q.USBポートしかないMacintosh（iMac、PowerMac、iBook、PowerBookなど）が接続できますか？

A.できます。

●ランプ表示

Q.ACTランプが遅い点滅をしています。何が原因でしょうか？
A.回線に異常があります。本商品は電源プラグを電源コンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。自己診断中はPWR、ACTおよびERランプが点灯します。自己診断が終了するとACTランプおよびERランプが消灯します。自己診断が終了したあとでもACTランプが遅い点滅のままのときは、INSネット64回線が接続されているか確認してください。それでもACTランプが遅い点滅をする場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

Q.PWRランプが赤く点滅しています。何が原因でしょうか？
A.乾電池で動作中です。パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、電池動作モードに切り替わる場合があり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

Q.インターネットに接続していますが本商品のERランプが点灯しています。これは正常でしょうか？
A.ERランプのERはデータ端末レディの意味であり、パソコンが通信開始の準備ができていることを表しますので正常動作です。

Q.パソコン、電話機を使用していない状態で、本体のACTランプが点灯と点滅の繰り返しとなっています。なぜでしょうか？
A.フレックスホンサービスの着信転送または疑似着信転送を起動中です。着信転送を起動しない場合は解除してください。

●アナログポート

Q.着信時にアナログポートに接続した電話機のベルが最初の5回ほどは短いサイクルで鳴り、その後普通の呼び出し音に変わります。何か設定が必要でしょうか？
A.アナログポートにナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない状態で、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない場合は、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定を「しない」にしてください。
詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

Q.相手側が先に終話した場合、切断信号（新たな切断信号）は出力されますか？
A.出力されません。

Q.アナログポートに接続した電話機から発信しようとして、ダイヤルボタンを押してもツーという発信音が止まらずに発信できません。着信はできますがなぜでしょうか？
A.電話機のダイヤル種別と本商品のダイヤル種別の設定を合わせる必要があります。本商品の設定はPB固定（初期値）またはDP固定のいずれかです。

Q.1つのアナログポートに複数の電話機をブランチ接続することができますか？
A.1つのアナログポートには1台のアナログ通信機器を接続してください。

（次ページへ続きます）

Q&A

(前ページの続きです)

Q.アナログポートに接続した電話機からアナログポートの設定ができますか？
A.TEL1、TEL2どちらのポートからでも設定できます。ただし同時にはできません。

Q.インターネットに接続するのに「ISDNの場合はターミナルアダプタのアナログポートにモデムを接続してください」といわれましたがどうすればよいのですか？
A.パソコンにモデムが内蔵されている場合は、本商品のアナログポートとパソコン内蔵モデムの回線ジャックの間をパソコンに添付の電話機コードや市販の電話機コードで接続してください。

●データポート

Q.無通信監視機能とは？
A.データポート通信中に通信相手とデータのやりとりがないとき（無通信状態）に通信を切断する機能です。監視時間を分単位で設定（0～10分：0は監視しない／初期値10分）することができます。ただし、インターネットサービスプロバイダによっては監視パケットなどを定期的に発信する場合があり、この場合は切断されませんので必ずパソコンから切断操作を行うか、強制切断タイマとの併用でご利用ください。

Q.強制切断タイマとは？
A.データポート通信中に通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に通信を切断させることができます。無通信監視機能と異なり、インターネットサービスプロバイダから監視パケットが送出されても、強制的に通信を切断します。強制切断タイマは時間単位で設定（0～10時間：0は切断しない／初期値10時間）することができます。うっかりした切断忘れ防止のためにも、設定しておくことをおすすめします。

Q.本商品を2台対向でパソコン通信を行おうとしていますが、うまく接続できません。なにが原因でしょうか？
A.パソコン通信ソフトは非同期専用ではありませんか。本商品は非同期／同期PPP変換、128Kマルチリンク PPP（発信のみ）での通信が可能です。非同期用のパソコン通信ソフトでは接続できません。

Q.データポートに接続したパソコンからFAXモデムを使用してファクス送受信することができますか？
A.できません。パソコンからFAXモデムを使用してファクス送受信する場合はアナログポートに接続してご利用ください。

Q.PIAFSでの発着信ができますか？
A.PIAFSには対応していません。

Q.128Kマルチリンク PPPでプロバイダに接続できません。非同期／同期PPP変換（64 kbit/s）では接続できます。なぜでしょうか？

A.以下の点をご確認ください。

①加入されているプロバイダは128KマルチリンクPPPに対応していますか？また128Kマルチリンク PPP対応のアクセスポイントの電話番号に接続されていますか。

②モデム定義ファイルは「INSMATEV30Slim MP」または「INSMATEV30Slim USB MP」を選択されていますか。

③本商品とパソコン間の通信速度は230.4 kbit/sで使用することをおすすめします。Windows対応機種で使用する場合、お使いになるパソコンが230.4 kbit/sに対応していないときは、230.4 kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cボードを別途ご用意ください。Macintoshで使用する場合、230.4 kbit/s対応の機種をお使いください。115.2 kbit/sで使用する場合は、十分な通信速度が出ない場合があります。

④リソースBODを使用しない状態でアナログポートを使用していませんか。

Q.128Kマルチリンク PPP接続時は料金が高くなりますか？

A.非同期／同期PPP変換の倍の料金が必要です。ただしINSテレホーダイご利用の場合は、INSテレホーダイによる料金となります。

Q.リソースBODの設定をして128Kマルチリンク PPP接続を利用しています。アナログポートから発信する時は正常に発信できますが（Bチャネル1本削除）、着信時は話中となります。なぜでしょうか？

A.当社との契約で通信中着信通知サービスが必要です（月額料金：無料）。着信時すでにBチャネルの空きがない（インターネット接続でBチャネル2本使用中）状態でもDチャネルを通じて、着信があったことを通知します。

Q.スループットBODを利用して時間帯によりBチャネル接続数を自動変更することはできますか？

A.時間帯による自動変更はできません。データ量による自動変更のみ可能です。

Q.Windows®パソコンのモデムの詳細情報またはモデムの照会を参照するとATI1～4以外が「ERROR」表示等となりますが正常でしょうか？

A.正常です。本商品は「ATI1～4」以外はサポートしておりませんので「ERROR」をパソコンに返します。

Q.メガソフト社RVS-COMが利用できますか？

A.Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98 Second Edition、Windows® Me、Windows® 2000、Windows NT® 4.0をご利用の場合は利用できます。（☛CD-ROM）
Windows® XPをご利用の場合は、メガソフト社のホームページをご覧ください。

Q.データポートのコールバック機能はありますか？

A.ありません。

Q.非同期／同期PPP変換で接続したとき、どこで確認できますか？

A.ACTランプが緑色に点灯することで確認できます。

（次ページへ続きます）

Q&A

(前ページの続きです)

Q.128KマルチリンクPPPは利用しないように設定できますか？
A.モデム定義ファイルとして「INSMATEV30Slim SYNC」または「INSMATEV30Slim USB SYNC」を選択すれば、128KマルチリンクPPP接続はできなくなります。

Q.RS-232Cの信号線のER信号を「常時ON」にすることはできますか？
A.できます。設定ユーティリティのデータポート設定内にある「ER信号制御」で「常時ON」としてください。また、ATコマンドのAT&D0でも可能です。

Q.INSなりわけサービスの機能がわからないのですが？
A.アナログポートへの着信時、登録されている電話番号から着信があった場合に通常とは異なる着信音を鳴らしたり、登録されている電話番号以外から着信があった場合は着信を拒否することができる機能です。INSなりわけサービスは当社との契約（有料）が必要です。また疑似なりわけ機能を利用して一般の電話回線からの電話を識別するには当社とのINSナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

Q.ATコマンドで発信する場合、相手の電話番号と着サブアドレスの区切り子は何でしょうか？
A.区切り子は／です。（例）ATD＊＊＊＊＊＊＊＊/＊＊

Q.Macintosh用フリーウェア利用時のダイヤルアップ初期化コマンドを教えてください。
A.非同期／同期PPP変換（同期：64 kbit/s）ATQ0V1$N9=10$N11=0&D0X0
128KマルチリンクPPP（同期：128 kbit/s）ATQ0V1$N9=10$N11=1&D0X0
※0は数字です。

●S/T端子（オプション）

Q.S/T端子とデータポートの同時利用はできますか？
A.それぞれBチャネル1本の利用であれば可能です。

Q.S/T端子に接続した機器をダイヤルイン番号で呼ぶことはできますか？
A.できます。ダイヤルイン番号の設定はS/T端子に接続した機器に設定してください。

Q.S/T端子に接続したINSネット64用通信機器でリソースBODが使えますか？
A.使えません。リソースBODは本商品のアナログポートの発着信時に使用できます。

Q.データポートに接続したパソコンとS/T端子に接続したターミナルアダプタに接続されているパソコンで同時にインターネット接続ができますか？
A.できます。ただしINSネットのBチャネルが2本とも空きの場合です。

●バージョンアップ／設定ユーティリティ／モデム定義ファイル／CCLファイル

Q.ファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？
A.本商品に添付されているCD-ROMの中のイージーウィザードをパソコンにインストールして、イージーウィザードの［バージョンアップ］をクリックします。またはイージーウィザードの［設定ユーティリティ］をクリックして、設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「ファームウェアバージョン」にて確認することができます。また、本商品のファームウェアバージョンアップにともない設定ユーティリティもバージョンアップされることがあります。その場合の設定ユーティリティのバージョン確認は設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「設定ユーティリティバージョン」にて確認することができます。

Q.ファームウェアバージョンアップを行ったあと、通信料金、詳細履歴を確認したらすべてクリアされていましたがなぜですか？
A.ファームウェアバージョンアップを行う際、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダ設定」の内容はクリアされます。

Q.ファームウェアバージョンアップを行う際、設定内容がクリアされることはないでしょうか？
A.バージョンアップを行う前の状態で保持されます。ただし、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダ設定」の内容はクリアされます。

Q.INSタイムプラスを利用していますが、設定ユーティリティの「料金情報」で確認すると3分9円で累積されていますがなぜでしょうか？
A.本商品の「料金情報」表示の内容は通信切断時の交換機からの料金情報をもとにしています。現在INSタイムプラスを考慮した料金情報が交換機から送出されないためこのようになっております。もちろん料金ご請求の際にはINSタイムプラスの料金を反映した料金となっておりますのでご安心ください。

Q.他のINSメイトシリーズの設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルはINSメイトV30Slimでも利用可能ですか？
A.利用できません。設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルは機器に添付されている物をご利用ください。

Q.モデム定義ファイルをなくしてしまいました。ホームページからダウンロードできますか？
A.ダウンロードできます。

Q.アップルリモートアクセス（ARA）用の非同期CCLファイルは準備されていますか？
A.本商品は非同期通信に対応しておりませんので準備されておりません。

Q.ユーティリティをアンインストールしたいのですが？
A.Windowsの場合、［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］（または［すべてのプログラム］）―［INSメイトV30Slim ユーティリティ］―［INSメイトV30Slim ユーティリティアンインストール］をクリックします。その後、画面の説明に従い操作します。
Macintoshの場合、［INSメイトV30Slim］フォルダをごみ箱にドラッグします。
なお、USBドライバ、モデム定義ファイル、CCLファイルは削除されません。

索　引

アルファベット

ACT（Active）ランプ……25
ATコマンド……174
CD-ROM……20,174
COMポート
　通信ポート選択……72
DP固定……31
DSU……29
　すでにお持ちのDSUを
　　ご使用になるには……187
ER（Equipment Ready）ランプ……25
FAX自動転送……109
FAX無鳴動着信……111
FG端子……26
HLC設定……131
　HLCの設定で呼び分ける ……121,131
INSキャッチホン……88
　すべての電話をキャッチする…133,141
　優先着信ポート指定と組み合わせて
　　使う……91
INSなりわけサービス……92
INSナンバー・ディスプレイ……114
　相手の名前を表示するには……118
　アナログポートの簡単設定で
　　設定する……50,62
　キャッチホンと組み合わせて
　　利用する……116
INSナンバー・リクエスト……116
INSネット64のサービス……17
　INSキャッチホン……88
　INSなりわけサービス……92
　INSナンバー・ディスプレイ……114
　INSボイスワープ……132,139
　INSボイスワープセレクト…132,139
　i・ナンバー……120,122
　三者通話……98
　着信転送……132,134
　通信中転送……103
　ネーム・ディスプレイ……118
　発信者番号通知……112
　フレックスホン……18
INSボイスワープ……132,139
　無応答時転送……133
　無条件転送……132
　話中時転送……133
INSボイスワープセレクト……132,139
INSマジックボックス……133,141
INSメッセージ到着お知らせサービス…107
i・ナンバー……120,122
　アナログポートの簡単設定で
　　設定する……53,65
　モデムダイヤルイン……126
Lモード……105
MSG（Message）ランプ…25,105,107
OS
　Q&A……197
　パソコンのOSと使用できる
　　データポート……36
PWR（POWER）ランプ……25
Q&A……197
RS-232Cケーブル……24
RS-232Cポート……26
　RS-232Cポート用ドライバを
　　削除する……173
　インタフェース……190
　パソコンとの接続……36
RVS-COM……201
S/T端子……184,202
S/Tユニット……182
**SD/RD（Send Data/
　Receive Data）ランプ**……25
TEL1ポート……26
TEL2ポート……26
USBケーブル……24

USBドライバ
Windows®でUSBドライバを
使用できないとき……162
アップデートする……166
インストールする ……41,55,59
イージーウィザードが
利用できないとき……174
削除する……168
USBポート……26
パソコンとの接続 ……36
Windows® 98のバージョン ……37

五十音

【ア行】

アナログポート……26
Q&A ……199
アナログポートの簡単設定……50,62
電話機から機能を設定する……142
イージーウィザード ……41,46,62
インストール
Mac OS ……55
Mac OS X ……59
Windows®……38
インターネット接続ガイド……20
オプション ……182
音量
受話音量を調節する ……81

【カ行】

回線接続端子……26
カレンダ設定……76
乾電池……27
疑似キャッチホン……89
アナログポートの簡単設定で
設定する……50,62
疑似三者通話……99
疑似着信転送 ……132,134
疑似なりわけ……93
機能……16
キャッチホン……88
INSキャッチホン……88
INSナンバー・ディスプレイと
組み合わせて利用する……116
アナログポートの簡単設定で
設定する……50,62
疑似キャッチホン ……89
すべての電話をキャッチする……141
なりわけと組み合わせて利用する …95
両方のアナログポートに電話機を
接続しているとき ……91
キャッチホン・ディスプレイ ……116
切替モード ……98、100
グローバル着信 ……124
故障かな？と思ったら ……191
コネクタ形状 ……190

【サ行】

サービス
INSネット64のサービス……17
サービスガイド……16
サブアドレス ……130
サブアドレスも表示する……115
サブアドレスを指定して
電話をかける ……81
特定の電話機を呼び出す……121,130
参考情報 ……77,174
三者通話……98
疑似三者通話 ……99
フレックスホン三者通話 ……98
識別リンギング ……94,95
自己診断……30
終端抵抗スイッチ ……189
手動設定 ……174
受話音量調節……81
仕様 ……209

索　引

初期化……175
セキュリティ（着信拒否）……94,95
接続……29
　INSネット64回線の接続……29
　Q&A……197
　アナログ通信機器を１台のみ
　　接続する……31
　外付けDSUを使う……187
　ダイヤル式（DP）のアナログ通信
　　機器を接続する……31
　他のINSネット64用通信機器を
　　接続する……188
　電話機などの接続……31
　パソコンとの接続……36
接続機器の設定……131
接続早わかりガイド……20
設定
　設定一覧……144
　設定をお買い求め時の状態に
　　戻す……175
　電話機から機能を設定する……142
設定記入シート……174
設定ユーティリティ
　カレンダ設定……76
　起動……67
　基本操作……73
　通信ポート選択……72
　メニュー画面……73
セット内容……24
外付けDSU……187

【タ行】

ダイヤルイン……120,124
　アナログポートの簡単設定で
　　設定する……54,66
　モデムダイヤルイン……128
ダイヤル桁間タイマ……81
ダイヤル式（DP）……31,81
ダイヤル終了識別……81
ダイヤル種別……31,81
着信……82
　お話し中にかかってきた電話に出る…90
着信音
　キャッチホン着信音で相手を
　　識別する……95
　着信音が鳴る電話機を指定する……87
　着信音で相手を識別する……92
　着信音を鳴らさずにファクスを
　　受信する……111
着信拒否……82,96
　非通知の着信を拒否する……97
着信転送
　疑似着信転送……132,134
　着信転送（フレックスホン）…132,134
　停止／再開……138
通信中着信識別通知……95
通信中転送……103
通信料金
　各ポートの料金情報……73
停電……27
データ通信
　詳細履歴……73
データポート
　Q&A……200
　設定……73
電源アダプタ……24
電源アダプタコード端子……26
転送
　お話し中に別の電話番号に
　　転送する……103
　外からの電話を別の相手に
　　転送する……134
　電話機からファクスへ
　　自動転送する……109
　内線で転送する……86

電池
電池カバー ……26
電池動作モード ……27
電池ホルダ ……26
電話機コード……24
電話番号
電話番号が通知されない着信を拒否する ……97
電話番号が通知されないときにメッセージで応答する……116
電話番号の通知のされかた……112
電話を受ける……82
お話し中にかかってきた電話に出る ……90
電話に出られないときのいろいろな方法 ……132
電話をかける……80
電話がかけられることの確認 ……33
同期64 kbit/s……43
動作の確認……30

【ナ行】

内線機能の停止……85
内線着信ナンバー・ディスプレイ……85
内線通話……84
内線転送……86
電話機からファクスに転送する ……82
内線呼出信号設定……85
内蔵DSUスイッチ ……183,189
なりわけ
INSなりわけサービス……92
キャッチホンと組み合わせて利用する ……95
疑似なりわけ ……93
なりわけ動作設定 ……92,93
ナンバー・ディスプレイ ……51,63
INSナンバー・ディスプレイ ……114
アナログポートの簡単設定で設定する……50,62
ネーム・ディスプレイ ……118

【ハ行】

バージョン ……203
設定ユーティリティのバージョンを確認する ……73
バージョンアップ ……178,203
パソコン活用編 ……77,174
パソコンとの接続……36
発信……80
発信規制 ……81
発信者番号 ……112
一般回線からの電話番号も表示する……114
発信者番号通知 ……112
非通知 ……112
非通知の着信を拒否する ……97
非通知理由……116
非同期／同期PPP変換 ……43
ファクス
着信音を鳴らさずに受信する……111
電話機からファクスへ自動転送する……109
電話機からファクスに転送する ……82
ファクスを受ける ……82
ファクスを送る ……80
フッキング……85
フレックスホン……18
INSキャッチホン……88
三者通話 ……98
着信転送……132,134
通信中転送……103
ヘルプ……73
保守サービスのご案内 ……210
ボトムカバー……26

索　引

【マ行】
マルチリンクPPP ……43
ミキシングモード ……98、101
迷惑電話防止……96
モデムダイヤルイン ……120,126
　i・ナンバーを利用する場合 ……126
　ダイヤルインを利用する場合……128
【ヤ行】
優先着信ポート指定……87
呼出音
　内線の呼出音を変える ……85
呼び分け ……120
【ラ行】
ランプ表示 ……25,199
　センタにメッセージが
　　あるとき……105,107
　着信転送、疑似着信転送が
　　行われているとき……138
リセット処理 ……150
【ワ行】
話者切替タイマ ……102,104

仕　様

回線	適用回線	INSネット64	
	通信交換方式	Bチャネル回線交換	
	接続インタフェース	6ピンモジュラジャック	
	インタフェース形態	P－MP接続	
	レイヤ1起動種別	呼毎起動または常時起動	
RS-232Cポート	電気的条件	ITU-T勧告　V.28準拠	
	論理的条件	ITU-T勧告　V.24準拠	
	物理的条件	D-SUB9ピンコネクタ	
	端末速度（kbit/s）	非同期	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4) （　）内はV.28規格外
	通信速度（kbit/s）	非同期／同期変換	64/128
	接続手順	ATコマンド	
	フロー制御	RS/CS	
USBポート	端末速度	非同期12 Mbit/s	
アナログポート		6ピンモジュラジャック×2 約－48 V給電（待機時）極性反転あり ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応	
使用電源※		AC100 V±10 V（50／60 Hz） 乾電池によるDC9 V（停電時）	
消費電力		約9 W	
外形寸法		約174 mm（高さ）×約134 mm（奥行）×約49 mm（幅）	
質量		約0.6 kg（電源アダプタ含む）	
使用条件		温度0～40 ℃　湿度20～85 % RH（結露しないこと）	

S／T点インタフェース（オプション）：8ピンモジュラジャック

※本商品に使用可能な電源アダプタは、▽ 91-54860　または ▽ 91-58582
（定格入力：AC100 V 10 VA50/60 Hz　出力：DC11 V 450 mA）です。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120-109217（トークニィーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

911728A2

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2002 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2237-2(2002.5)
INSメイトV30SLIMトリセツ